

入札参加者用

宮城県建設工事総合評価落札方式  
(簡易型・標準型)の手引き

平成24年10月15日

宮 城 県

# 目次

1	総合評価落札方式の概要	
1-1	総合評価落札方式の意義	1
1-2	総合評価落札方式の種類及び適用区分	1
1-3	入札契約方式における技術力評価のしくみ	3
2	実施手順	
2-1	総合評価落札方式（簡易型・標準型）実施手順	5
3	総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価	
3-1	総合評価算定基準	
1	総合評価点の算定方法	7
2	価格評価点の算定方法	8
3	価格以外の評価点の算定方法	9
4	落札者の決定方法	10
※	評価項目の錯誤及び虚偽の判断基準の例	13
別紙1	価格以外の評価項目及び評価点	15
別紙2	価格以外の評価項目における評価基準	35
別紙3	価格以外の評価項目における提出資料・確認方法	47
3-2	総合評価技術資料作成要領	
1	入札参加時	49
2	落札候補者となった時	56
別紙1	総合評価技術資料等 様式	57
4	評価内容の担保	
4-1	履行確認	73
5	中立かつ公正な審査・評価の確保（学識経験者）	
5-1	中立かつ公正な審査・評価の確保（学識経験者）	79
6	技術提案に関する秘密の保持	
6-1	技術提案に関する秘密の保持について	81
7	入札及び契約の過程に関する苦情処理	
7-1	入札及び契約の過程に関する苦情処理について	81
8	評価結果等の公表	
8-1	評価結果等の公表	83
	参考資料	
・	建設労働者モデル条件通知	87
・	特殊法人等の範囲	92

# 1 総合評価落札方式の概要

## 1-1 総合評価落札方式の意義

総合評価落札方式の適用により、公共工事の施工に必要な技術的能力を有する者が施工することとなり、工事の品質の確保や向上が図られ、工事目的物の性能の向上、長寿命化・維持修繕費の縮減・施工不良の未然防止等による総合的なコストの縮減、交通渋滞対策・環境対策、事業効果の早期発現等が効率的かつ適切に図られることにより、現在かつ将来の県民に利益がもたらされる。

また、民間企業が技術力競争を行うことによりモチベーションの向上が図られ、技術と経営に優れた健全な企業が育成されるほか、価格以外の多様な要素が考慮された競争が行われることで、適切な公共調達の実行環境が整備されることも期待される。

## 1-2 総合評価落札方式の種類及び適用区分

### (1) 総合評価落札方式の種類

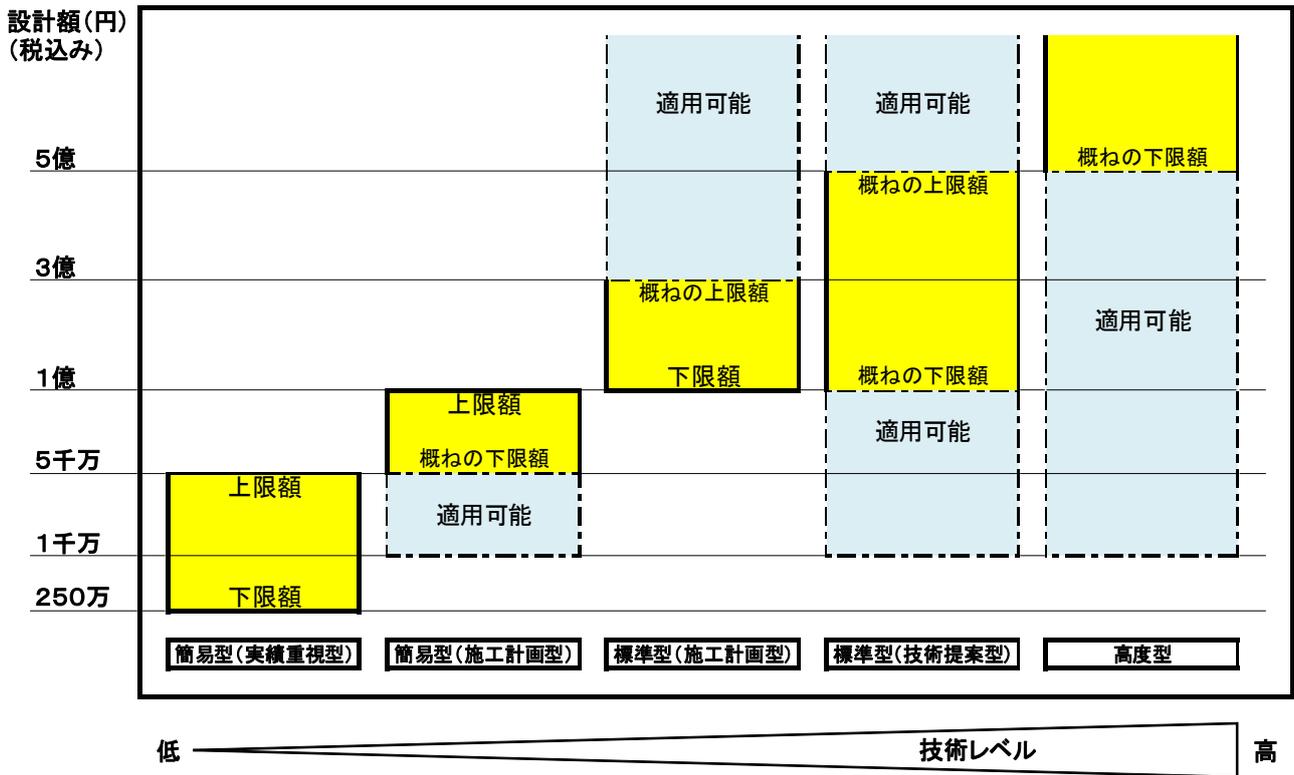
型式	簡易型		標準型		高度型
	実績重視型	施工計画型	施工計画型	技術提案型	
技術特性	技術的工夫の余地の比較的小さい工事で、工程管理や施工上配慮すべき事項、品質管理方法等の施工計画、同種・類似工事の施工経験、工事成績等と入札価格を一体として評価することが妥当であると認める工事		高度な技術力を審査・評価する必要がある工事で、環境の維持、交通の確保、特別な安全対策、リサイクル対策等と入札価格を一体として評価することが妥当であると認める工事又は設計額が1億円以上の工事		技術的工夫の余地の大きい工事で、入札に参加を希望する者に構造上の工夫や特殊な施工方法等を含む高度な技術提案を求める工事
適用範囲	設計額(税込み)が2百50万円以上5千万円未満の工事	設計額(税込み)が1千万円以上1億円未満の工事	設計額(税込み)が1億円以上概ね3億円未満の工事	設計額(税込み)が1千万円以上概ね5億円未満の工事	設計額(税込み)が1千万円以上の工事(概ね5億円以上)
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業評価</li> <li>配置する技術者の評価</li> <li>労働福祉</li> <li>地域貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業評価</li> <li>配置する技術者の評価</li> <li>労働福祉</li> <li>地域貢献</li> <li>施工計画等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業評価</li> <li>配置する技術者の評価</li> <li>労働福祉</li> <li>地域貢献</li> <li>施工計画等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業評価</li> <li>配置する技術者の評価</li> <li>労働福祉</li> <li>地域貢献</li> <li>技術提案等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業評価</li> <li>配置する技術者の評価</li> <li>技術提案</li> <li>技術提案に係る具体的施工計画</li> </ul>
価格以外の評価点	16点	21点	31点	31点	40点
価格評価点	80点	80点	70点	70点	60点
総合評価点	96点	101点	101点	101点	100点

※高度型の詳細については「宮城県建設工事総合評価落札方式(高度型)の手引き」を参照のこと

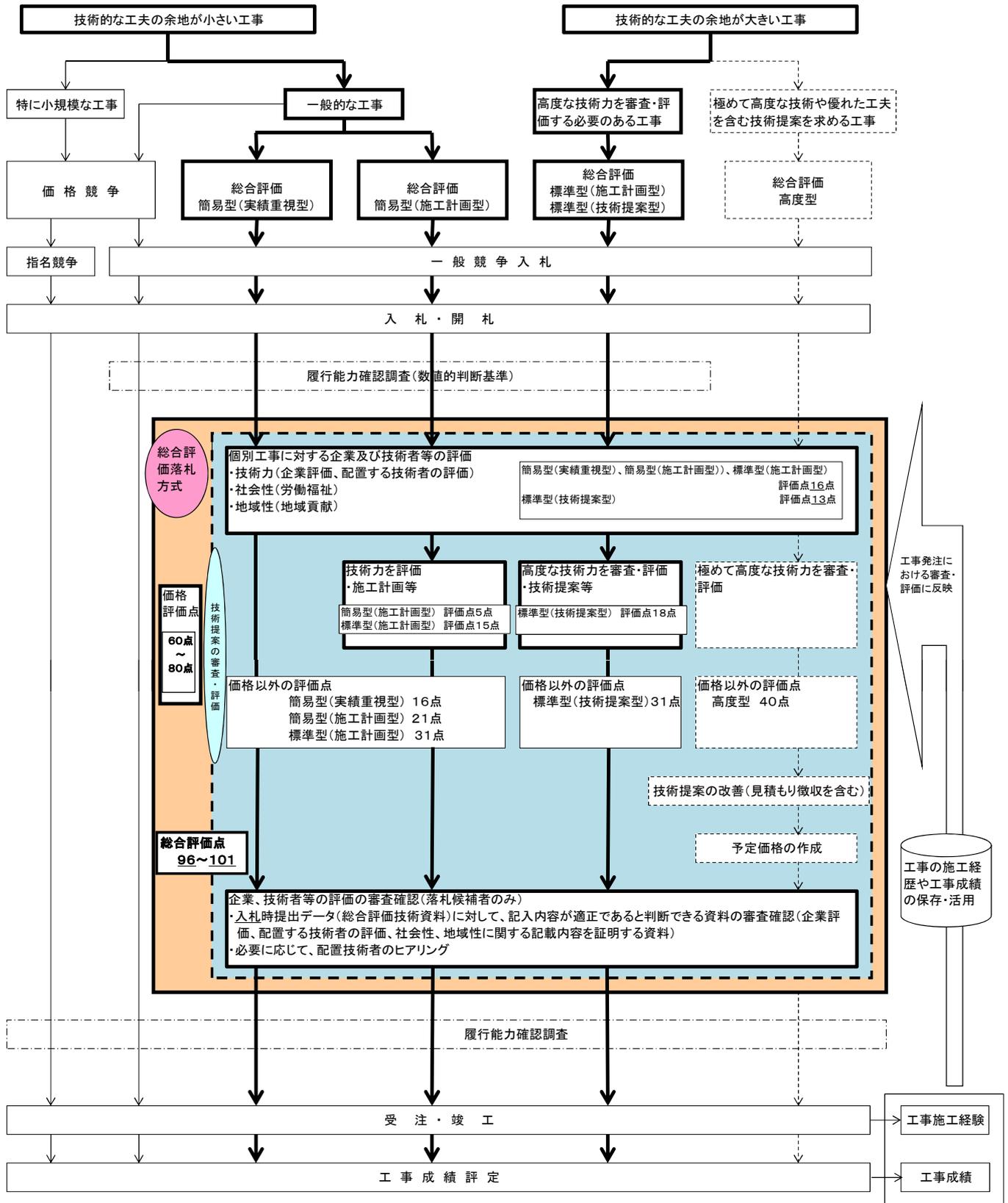
※政府調達協定(WTO)の対象工事は、基本的に標準型(施工計画型・技術提案型)を適用するものとし、評価項目は工事毎に協定を踏まえて設定するものとする。また、通常工事同様、調査基準価格及び施工体制事前提出方式による数値的判断基準を適用するものとする。

(2) 総合評価落札方式の適用区分

総合評価落札方式の適用区分



# 1-3 入札契約方式における技術力評価のしくみ (一般土木・建築設備工事)

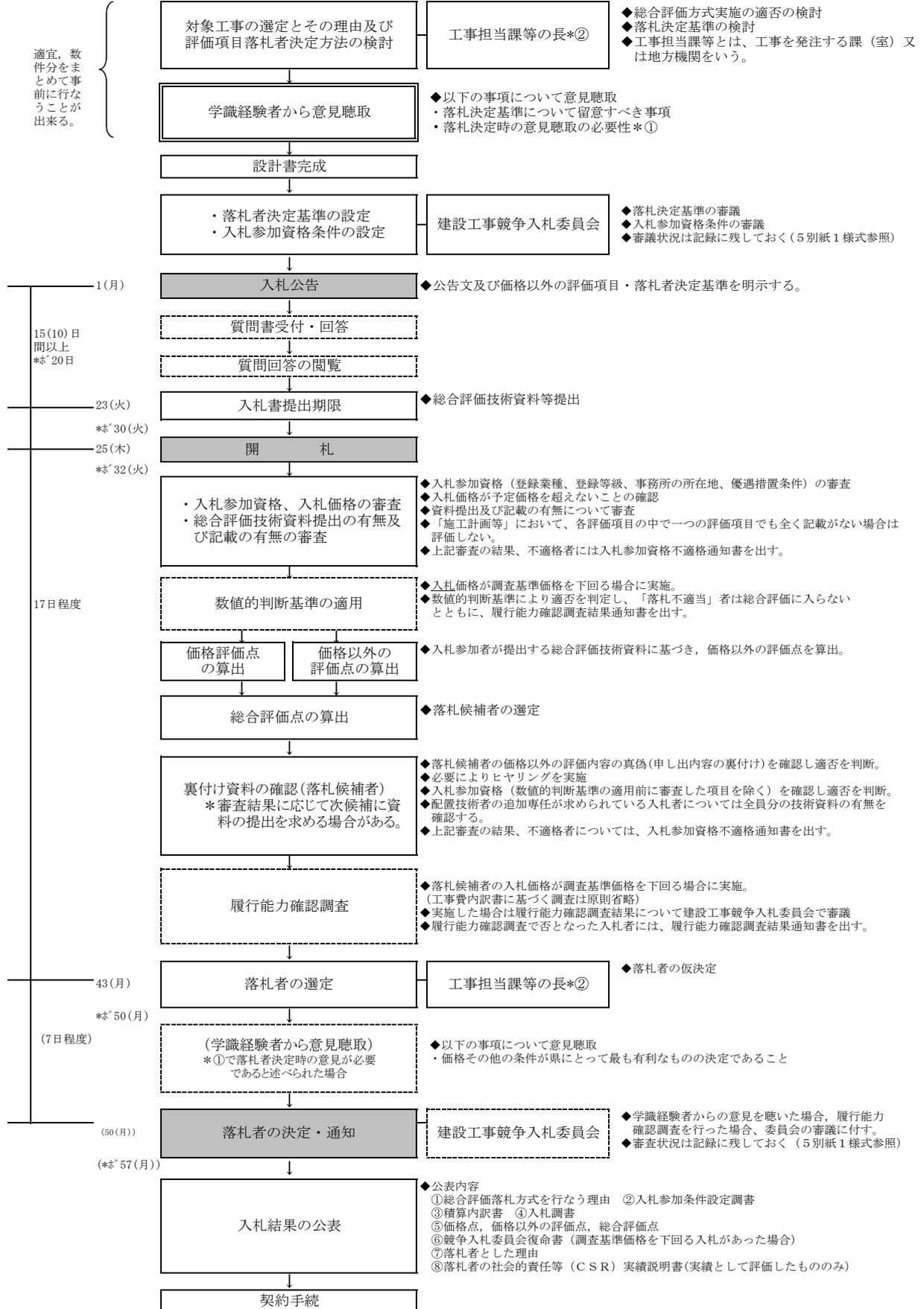




## 2 実施手順

### 2-1 総合評価落札方式（簡易型・標準型）実施手順

総合評価落札方式（簡易型・標準型）を実施する場合の標準的な手順は次のとおりとする。  
所要日数については工事の内容に応じて適宜短縮を図ること。



\*②「工事担当課等の長」の意思決定に当たっては、工事を発注する課（室）又は発注機関の長が委員長となる建設工事競争入札委員会で審議又は委員会メンバーへの報告等の方法を活用してもよい。その場合、審査結果を記録に残しておく（5別紙1様式参照）



## 3 総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価

### 3-1 総合評価算定基準

#### 1 総合評価点の算定方法

(1) 総合評価は、入札参加者のうち、次の要件をすべて満たす者を対象に行う。

- ア 入札公告に定めた入札参加資格（登録業種、登録等級、事務所の所在地及び優遇措置条件）についてすべての条件を満たし、無効でない者。
- イ 入札価格が予定価格を超えない者。
- ウ 価格以外の評価を行うため、入札公告で定めた技術等の資料（以下「総合評価技術資料」という。）を提出した者。ただし、総合評価技術資料に記載がないものは除く。
- エ 入札価格が調査基準価格を下回った入札で、履行能力確認調査における数値的判断基準で落札不相当と判定されなかった者。  
（※ア～ウの要件を満たさず、無効となったものは、エの数値的判断基準は適用しない。）

(2) 総合評価点は次の式により算定する。

$$\boxed{\text{総合評価点}} = \boxed{\text{価格評価点}} + \boxed{\text{価格以外の評価点}}$$

(3) 価格評価点と価格以外の評価点の配点は、次のとおりとする。

<b>ア 価格評価点</b>	<b>（予定価格の場合0.00点）</b>
①簡易型（実績重視型・施工計画型）	80.00点
②標準型（施工計画型・技術提案型）	70.00点
<b>イ 価格以外の評価点</b>	
①簡易型（実績重視型）	16.00点
②簡易型（施工計画型）	21.00点
③標準型（施工計画型・技術提案型）	31.00点

#### ウ 総合評価点

ア+イの合計で簡易型（実績重視型）で 96.00点満点、簡易型（施工計画型）及び標準型（施工計画型・技術提案型）で 101.00点満点とする。

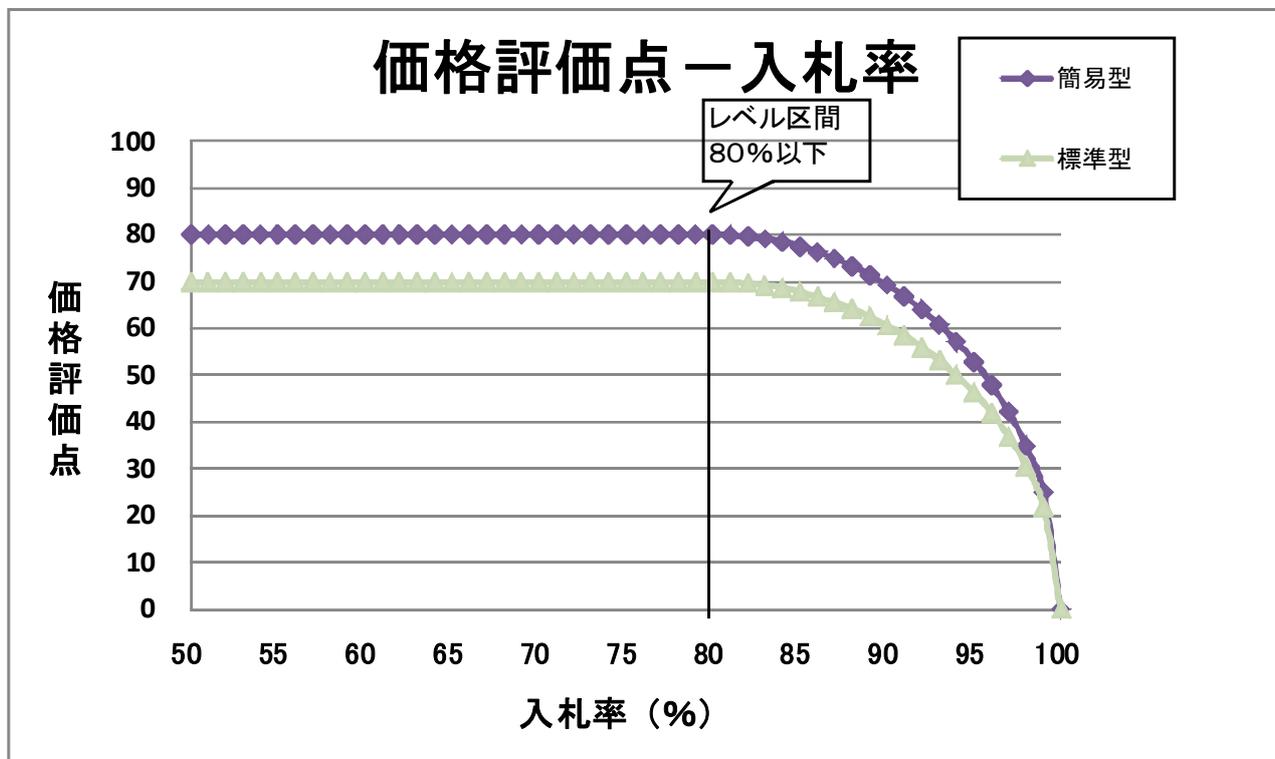
〔\* 評価点は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位とする。〕

## 2 価格評価点の算出方法

(1) 価格評価点は、以下の式により算定する。

	(80% < 入札率 ≤ 100%) における価格評価点
価格評価点	入札率100%における価格評価点が0点 入札率80%における価格評価点が（簡易型80点、標準型70点）
	} の2点を通る $x^2/a^2 + y^2/b^2 = 1$ ( $b > a > 0$ ) で示される楕円の式により算出される以下のyの値（正）とする。 ・ 価格評価点 $y = (b^2 \times (1 - x^2/a^2))^{1/2}$ { y : 価格評価点 x : (入札率 - 80)% a : 20 b : 簡易型の場合80点、標準型の場合70点
	(80% ≥ 入札率) における価格評価点(レベル区間)
	入札率80%以下は、価格評価点の満点（簡易型80点、標準型70点）で一定とする。 ・ 価格評価点 $y =$ (簡易型の場合80点、標準型の場合70点)

価格評価点算定グラフ



### 3 価格以外の評価点の算定方法

#### (1) 価格以外の評価点

価格以外の評価点は、入札参加者が提出した総合評価技術資料（「様式－簡1～2」または「様式－標1～2」）に基づき算定した評価点の合計とする。評価の視点の「技術力」「社会性」及び「地域性」については、入札参加者の申告により評価し、「施工計画等」または「技術提案等」については、入札参加者の記載内容を発注者が評価を行い、評価点を算定する。

#### (2) 総合評価技術資料の提出が無い者の取り扱い

総合評価技術資料の提出が無い者は無効とする。

#### (3) 総合評価技術資料に記載の無い者の取り扱い

##### ●無効とする場合

- ・「様式－簡1～2」または「様式－標1～2」に全く記載がない場合
- ・簡易型（施工計画型）・標準型（施工計画型）において、「様式－簡2」「様式－標2」の施工計画等の評価項目の内、いずれかひとつの評価項目でも全く記載が無い場合
- ・標準型（技術提案型）において「様式－標2」の技術提案等の評価項目の内、いずれかひとつの評価項目でも全く記載が無い場合

##### ●不適切（マイナス評価）とする場合

- ・「様式－簡1」「様式－標1」に全く記載がないまたは未記入評価項目がある場合で、「様式簡－2」「様式－標2」に記載のある場合は、記載のない評価項目を最低点評価とする。
- ・簡易型（施工計画型）・標準型（施工計画型）において、「様式－簡2」の施工計画等の評価の視点に関して、1視点以上記載があり、その他の視点に記載が無い場合は記載の無い視点を「不適切（－1点）」とする。また、「施工の手順」を評価項目とした場合に、工程表の記載がない場合は、全ての視点を「不適切（－1点）」とし、当該評価項目の全体として（－5点）とする。

#### (4) 技術力、社会性、地域性に関する評価

技術力、社会性、地域性に関する評価は入札参加者の申告を最大点とし、以下の取り扱いにより発注者が行う修正評価は減点措置のみとする。

#### (5) 虚偽の申告による入札の取り扱い

虚偽の申告とは、故意に入札参加者が有している実績以上の内容で申告をし、実績資料の確認において入札参加者が説明できない架空の申告をしたことが明らかになった場合とし、当該入札を無効とする。ただし、「労働条件の明示状況」、「県内企業の活用計画割合」及び「県内資材の活用計画割合」については工事中または完了時に発注者が申告状況を確認することとし、入札時点では虚偽の判断の対象外とする。

## (6) 錯誤の申告による入札の取り扱い

錯誤の申告とは、入力ミスや判断ミスで、入札参加者が有している実績と異なった内容で申告をした場合等とする。実績資料の確認において、錯誤の申告による過大申告が明らかになった場合には、発注者は当該評価項目の評価を最低点に修正する。(入札参加者の実績が中間点であることが明らかな場合でも、最低点に修正する。)しかし、錯誤の申告による過小申告が明らかになった場合には、入札参加者の申告点の修正は行わない。

※1 錯誤又は虚偽の判断については、別紙「評価項目の錯誤及び虚偽の判断基準」を参照のこと。

※2 「様式簡-1」(または「様式標-1」)と「参考資料-1、2」との申告内容が異なっている場合及び「参考資料-1、2」に記載されている実績が要件を満たさない場合には、別途、要件を満たす実績資料が提出されれば、それをもって申告内容の裏付け資料とすることが出来るものとする。

## (7) 不誠実な行為の有無の取り扱い

公告日の翌日以降落札者の決定までの間に、不誠実な行為に伴う書面による改善指示がなされた場合は、発注者が減点措置を講じて再評価するものとする。

# 4 落札者の決定方法

## (1) 落札候補者の決定

入札価格が予定価格の範囲内の価格をもって入札した者のうち、総合評価点の最も高い者を落札候補者とする。

## (2) 総合評価点が同点の場合の取り扱い

総合評価点が最も高い者が2人以上あるときは、入札価格が低い者を落札候補者とし、入札価格も同じ者が2人以上あるときは、そのすべての者を落札候補者とする。

## (3) 落札候補者の確認審査

落札候補者から提出された実績資料等に基づき、落札候補者の価格以外の評価内容の真偽(申し出内容の裏付け)を確認し、適否を判断する。落札候補者の価格以外の評価点の修正評価は、3(4)～(7)によるものとする。

## (4) 配置する技術者に対するヒアリング

落札候補者の確認審査にあたり、必要に応じて配置する技術者に対するヒアリングが出来るものとする。その場合、例えば以下の項目について確認する。

- ・配置する技術者の経歴、資格
- ・同種業務の経験の有無
- ・同種業務の履行実績として挙げた業務の概要、特に留意した点・工夫した点
- ・当該業務の履行上の課題、特に配慮すべき事項の有無、技術的所見
- ・当該業務に関する質問の有無等

## **(5) 調査基準価格を下回る入札について**

調査基準価格を下回る入札価格の落札候補者については、履行能力確認調査を行った上で適否を判断する。

## **(6) 落札者の決定**

(3) 及び入札参加資格の確認、及び (5) の履行能力確認調査の結果、落札者として適当と認める場合は、落札者とみなす。ただし、同点者が2者以上あるときは、くじ引きにより落札者を決定する。

## **(7) 配置する技術者の取り扱い**

・配置する技術者（監理技術者又は主任技術者）の変更は原則認めない。（追加専任を含む）

（契約前）入札時に申告した配置する技術者を配置出来ない場合は契約できないこととなる。（契約辞退）

（契約後）契約締結後、配置技術者を変更せざるを得ない場合は工事完了時の評価内容の履行確認において、「施工計画等」「技術提案等」の履行が確保されなかったものとして評価する。ただし配置技術者が死亡、病休、退職した場合等やむを得ない事情で発注者が認めた場合はこの限りではない。どちらの場合においても、履行確認において新たな配置技術者について「配置する技術者の評価」の再評価を行い、変更前の配置技術者の評価結果を下回る評価項目については、履行が確保されなかったものとして評価する。



## ※評価項目の錯誤及び虚偽の判断基準の例

評価の視点	評価項目	錯誤			虚偽
		点数変更なし	最低点再評価	企業実績どおりの評価	無効
企業評価	同種工事の経験 (過去10年間)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価対象とする期間外に引き渡しを受けた工事の経験の申告</li> <li>・政令指定都市を除く市町村発注の工事経験の申告</li> <li>・同種工事の認識違いによる申告 等</li> </ul>		説明できない架空の申告をした場合
	工事成績評定 (過去5年間の平均)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績より下位配点区分での申告</li> <li>・点数が違っているが同配点区分の場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価対象とする期間外の工事成績評定の申告</li> <li>・成績より上位配点区分での申告で転記ミス等説明できる場合</li> <li>・宮城県以外の発注工事成績の申告 等</li> </ul>		説明できない架空の申告をした場合
	優良建設工事 施工業者表彰等 (過去5年間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰回数より少ない申告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価対象とする期間外に表彰を受けたものの申告</li> <li>・評価対象とする工種以外の表彰を受けたものの申告</li> <li>・転記ミス等説明できる場合</li> <li>・宮城県、東北地方整備局、東北農政局発注工事表彰以外の申告 等</li> </ul>		説明できない架空の申告をした場合
	ISO9001・14001・みちのく環境 管理規格認証取得状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取得状況より少ない申告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取得状況より多い申告で転記ミス等説明できる場合 等</li> </ul>		説明できない架空の申告をした場合
技術力	同種工事の経験 (過去10年間)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価対象とする期間外に引き渡しを受けた工事の経験の申告</li> <li>・政令指定都市を除く市町村発注の工事経験の申告</li> <li>・同種工事の認識違いによる申告 等</li> <li>・※1配置技術者の追加専任配置対象業者が追加専任配置技術者の総合評価技術資料を提出しなかった場合</li> </ul>		説明できない架空の申告をした場合
	工事成績評定 (過去2年間の最高評点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績より下位配点区分での申告</li> <li>・点数が違っても同配点区分の場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価対象とする期間外の工事成績評定の申告</li> <li>・成績より上位配点区分での申告で転記ミス等説明できる場合</li> <li>・宮城県、東北地方整備局、東北農政局以外の発注工事成績の申告 等</li> <li>・※1</li> </ul>		説明できない架空の申告をした場合
	宮城県建設工事事故防止優良者表彰等または、同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績 (過去5年間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰回数より少ない申告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価対象とする期間外に表彰を受けたものの申告</li> <li>・転記ミス等説明できる場合</li> <li>・宮城県、東北地方整備局発注工事表彰以外の申告 等</li> <li>・※1</li> </ul>		説明できない架空の申告をした場合
	継続教育(CPD)の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取得単位より少ない申告</li> <li>・取得単位数が違っても同区分の場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取得単位より多い申告で転記ミス等説明できる場合</li> <li>・入札時点において登録申請中のもの</li> <li>・対象団体以外の申告 等</li> <li>・※1</li> </ul>		説明できない架空の申告をした場合

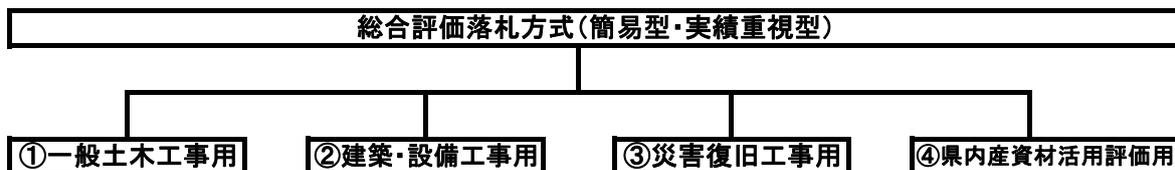
評価の視点	評価項目	錯誤			虚偽	
		点数変更なし	最低点再評価	企業実績どおりの評価	無効	
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	・導入状況より少ない申告	・自社、一次下請予定企業の導入状況で転記ミス等説明できる場合等		説明できない架空の申告をした場合
		退職一時金・企業年金制度導入の有無	・導入状況より少ない申告	・制度の認識違い、転記ミス等説明できる場合等		説明できない架空の申告をした場合
		障害者雇用状況	・雇用状況より少ない申告	・雇用状況より多い申告で転記ミス等説明できる場合		説明できない架空の申告をした場合
		労働条件の明示状況				対象外
地域性	地域・貢献	県内企業の活用計画割合	・参考資料1の記載より少ない申告	・100%申告の場合で、オープンブックで県外業者が確認できる場合		対象外
		宮城県または宮城県内の市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)		・評価対象とする期間外の実績の申告 ・国又は他県発注の工事実績の申告等		説明できない架空の申告をした場合
		宮城県または宮城県内の市町村の施設管理業務の実績またはスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)		・評価対象とする期間外の実績の申告 ・国又は他県発注の業務実績申告等		説明できない架空の申告をした場合
		県内での災害時における地域貢献の実績(過去5年間)		・評価対象とする期間外の実績の申告 ・他県での実績の申告等		説明できない架空の申告をした場合
		県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)		・評価対象とする期間外の実績の申告 ・他県での実績の申告 ・対象とする地域貢献、回数の数え方の認識違いによる申告		説明できない架空の申告をした場合
	震災貢献	東日本大震災での対応実績(平成27年度末まで)		・評価対象以外の実績申告等		説明できない架空の申告をした場合
施工計画等	施工の手順(工程表)(*1)(*2)		(*1)工程表に記載の無い場合 全視点を「不適切(-1点)合計で-5点 (*2)(様式-簡2の各「評価の視点」について) 1視点以上記載がありその他の視点には記載が無い場合、記載の無い視点は「不適切(-1点)」とする。		発注者が設定した評価項目のうち1項目でも全く記載が無い場合 ヒアリングについては開札後、ヒアリングの指定日時に配置技術者が出席出来ない場合	
	品質管理の頻度・方法(*2)					
	施工上の課題に対する技術的所見(*2)					
技術提案等	配置技術者の能力(ヒアリング評価)					
	施工上配慮すべき事項					
	技術提案 等					
災害時対応の実績	当該箇所災害発生時、県に連絡の上、自主的に応急対応した実績の有無		・対象区間等の認識違いによる申告等		説明できない架空の申告をした場合	
	当該災害復旧工事箇所の応急工事実績の有無		・対象区間等の認識違いによる申告等		説明できない架空の申告をした場合	
	災害時の配備体制及び訓練実施の有無(過去1年間)		・評価対象とする期間外の実績の申告 ・県外での実績		説明できない架空の申告をした場合	
地域性(2)	県内資材活用計画割合				対象外	
減点項目	不誠実な行為の有無	過去3ヶ月以前の不誠実な行為の申告	・認識違い、転記ミス等説明ができる場合	・公告日の翌日以降落札者の決定までに該当行為があった場合は、発注者が減点措置を講じる。	故意に入札公告日以前の該当行為を申告しない場合	

※「様式簡-1」(または「様式標-1」)と「参考資料-1、2」との申告内容が異なっている場合及び「参考資料-1、2」に記載されている実績が要件を満たさない場合には、別途、要件を満たす実績証明資料が提出されれば、それをもって申告内容の裏付け資料とすることが出来るものとする。

# 別紙 1 価格以外の評価項目及び評価点

## 1. 総合評価落札方式(簡易型・実績重視型)の価格以外の評価項目

(1) 総合評価落札方式(簡易型・実績重視型)の工事区分による適用区分



(2) 総合評価落札方式(簡易型・実績重視型)適用区分別の価格以外の評価項目

### ① 一般土木工事事用 ②建築・設備工事事用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価	16.00点
	技術力 8.00点	
	社会性 2.00点	
	地域性 6.00点	
価格以外の評価点計 (イ)		16.00点
不誠実な行為の有無		最大 -8.00点

### ③ 災害復旧工事事用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価	12.25点
	技術力 6.00点	
	社会性 1.50点	
	地域性 4.75点	
小計		12.25点
ロ	当該災害等に対する評価	5.0点
	災害時対応の実績 5.0点	
価格以外の評価点計 (イ+ロ+ハ)		17.25点
不誠実な行為の有無		最大 -8.0点

※災害復旧工事に適用

### ④ 県内産資材活用評価用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価	15.25点
	技術力 7.60点	
	社会性 1.90点	
	地域性 5.75点	
小計		15.25点
ハ	県内産資材の活用計画割合	1.0点
	1.0点	
価格以外の評価点計 (イ+ロ+ハ)		16.25点
不誠実な行為の有無		最大 -8.0点

※県境に接する市町において県内資材の積極的活用を図る必要のある工事等に適用  
Ex.生コンクリート

## 2. 総合評価落札方式(簡易型・施工計画型)の価格以外の評価項目

### (1) 総合評価落札方式(簡易型・施工計画型)の工事区分による適用区分



### (2) 総合評価落札方式(簡易型・施工計画型)適用区分別の価格以外の評価項目

#### ① 一般土木工事用 ②建築・設備工事用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価 技術力 8.00点 社会性 2.00点 地域性 6.00点	16.00点
ロ	施工計画等 5.00点×1項目	5.00点
価格以外の評価点計 (イ+ロ)		21.00点
不誠実な行為の有無		最大 -8.00点

#### ③ 災害復旧工事用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価 技術力 6.00点 社会性 1.50点 地域性 4.75点	12.25点
ロ	施工計画等 3.75点×1項目	3.75点
小計		16.00点
ハ	当該災害等に対する評価 災害時対応の実績 5.0点	5.0点
価格以外の評価点計 (イ+ロ+ハ)		21.00点
不誠実な行為の有無		最大 -8.00点

※災害復旧工事に適用

#### ④ 県内産資材活用評価用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価 技術力 7.60点 社会性 1.90点 地域性 5.75点	15.25点
ロ	施工計画等 4.75点×1項目	4.75点
小計		20.00点
ハ	県内産資材の活用計画割合 1.0点	1.0点
価格以外の評価点計 (イ+ロ+ハ)		21.00点
不誠実な行為の有無		最大 -8.00点

※県境に接する市町において県内資材の積極的活用を図る必要のある工事等に適用

Ex.生コンクリート

### 3. 総合評価落札方式(標準型・施工計画型)の価格以外の評価項目

#### (1) 総合評価落札方式(標準型・施工計画型)の工事区分による適用区分



#### (2) 総合評価落札方式(標準型・施工計画型)適用区分別の価格以外の評価項目

##### ① 一般土木工事用 ②建築・設備工事用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価 技術力 8.00点 社会性 2.00点 地域性 6.00点	16.00点
ロ	施工計画等 7.50点×2項目=15.00点	15.00点
価格以外の評価点計 (イ+ロ)		31.00点
不誠実な行為の有無		最大 -8.00点

##### ③ 災害復旧工事用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価 技術力 6.67点 社会性 1.66点 地域性 5.17点	13.50点
ロ	施工計画等 6.25点×2項目=12.50点	12.50点
小計		26.00点
ハ	当該災害等に対する評価 災害時対応の実績 5.0点	5.0点
価格以外の評価点計 (イ+ロ+ハ)		31.0点
不誠実な行為の有無		最大 -8.0点

※災害復旧工事に適用

##### ④ 県内産資材活用評価用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価 技術力 7.74点(内工事成績関連6.05点) 社会性 1.93点 地域性 5.83点	15.50点
ロ	施工計画等 7.25点×2項目=14.50点	14.50点
小計		30.00点
ハ	県内産資材の活用計画割合 1.0点	1.0点
価格以外の評価点計 (イ+ロ+ハ)		31.00点
不誠実な行為の有無		最大 -8.0点

※県境に接する市町において県内資材の積極的活用を図る必要のある工事等に適用

Ex.生コンクリート

#### 4. 総合評価落札方式(標準型・技術提案型)の価格以外の評価項目

(1) 総合評価落札方式(標準型・技術提案型)の工事区分による適用区分



(2) 総合評価落札方式(標準型・技術提案型)適用区分別の価格以外の評価項目

① 一般土木工事用 ②建築・設備工事用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価 技術力 8.00点 社会性 2.00点 地域性 3.00点	13.00点
ロ	技術提案等 18.00点	18.00点
価格以外の評価点計 (イ+ロ)		31.00点
不誠実な行為の有無		最大 -8.00点

5 総合評価方式における価格以外の評価項目及び評価点

総合評価方式における共通評価項目

評価の視点	評価項目	簡易型		標準型		
		実績重視型	施工計画型	施工計画型	技術提案型	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	○	○	○
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	○	○	○
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	○	○	○
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	○	○	○	○
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	○	○	○
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	○	○	○
		宮城県建設工事事故防止優良者表彰等または、同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)	○	○	○	○
		継続教育(CPD)の取組状況	○	○	○	○
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	○	○	○	○
		退職一時金・企業年金制度導入の有無	○	○	○	○
		障害者雇用状況	○	○	○	○
		労働条件の明示状況	○	○	○	○
地域性	地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	○	○	○
		宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	●(注1)	●(注1)	●(注1)	—
		宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	●(注1)	●(注1)	●(注1)	●(注1)
		県内での災害時における地域貢献の実績(過去5年間)	○	○	○	—
		県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	○	○	○	○
	震災貢献	東日本大震災での対応実績の有無	○	○	○	○
施工計画等	施工の手順(工程表)	—	—	—	—	
	品質管理の頻度・方法	—	△(注2)	□(注3)	—	
	施工上の課題に対する技術的所見	—	—	—	—	
技術提案等	配置技術者の能力(ヒアリング評価)	—	—	—	◎(注4)	
	施工上配慮すべき事項(複数選択可)	—	—	—		
	技術提案(複数選択可)	—	—	—		
災害対応の実績	当該災害復旧工事箇所での災害発生時、県に連絡の上、自主的に応急対応した実績の有無	◇(注5)	◇(注5)	◇(注5)	—	
	当該災害復旧工事箇所の応急工事実績の有無	—	—	—	—	
	災害時の配備体制及び訓練実施の有無	—	—	—	—	
地域性(2)	県内資材活用計画割合	◆(注6)	◆(注6)	◆(注6)	—	
不誠実な行為の有無		○	○	○	○	

※政府調達調協定(WTO)の対象工事は標準型(施工確認型・技術提案型)を基本とし、評価項目は協定を踏まえて工事毎に設定するものとする。

- ・○印は、共通評価項目
- ・●(注1)印は、建築、設備工事は対象外
- ・△(注2)印は、いずれか1つの項目を選択する。
- ・□(注3)印は、いずれか2つの項目を選択する。
- ・◎(注4)印は、いずれかの項目を1～3項目選択の上、P. 34「技術提案等」の評価項目の小項目から3項目以上選択する。
- ・◇(注5)印は、災害復旧工事用の場合に対象とする。
- ・◆(注6)印は、県内資材活用評価用の場合に対象とする。

簡易型(実績重視型)－①総合評価方における評価項目と評価点(一般土木工事業)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	3.00	
			実績あり	2		2.0	0.375		
		工事成績評定(過去5年間の平均)	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0	0.000		
			70点以上80点未満	1		2.0	0.375		
	優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	実績なし	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			実績あり(1回)	1		4.0	0.750		
		実績あり(2回以上)	実績あり(2回以上)	2	8.0	1.500			
			未取得	0	0.0	0.000			
	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	いづれかひとつ	ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2	1.0	1.0	0.188		
			ISO9001	1		1.0	0.188		
			ISO14001	1		1.0	0.188		
	評点満点の合計						16.0		3.000
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		5.00
			実績あり	2		2.0	0.500		
			工事成績評定(過去2年間の最高評点)	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0		
70点以上80点未満				0.5	2.0		0.500		
80点以上85点未満		1		4.0	1.000				
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		実績あり(2回以上)	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			実績あり(1回)	1		4.0	1.000		
継続教育(CPD)の取組状況		証明あり(奨励単位の1/2未満)	証明なし	0	1.0	0.0	0.000		
	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)		1	1.0		0.250			
	証明あり(奨励単位以上)		2	2.0		0.500			
	証明あり(奨励単位以上)		2	2.0		0.500			
評点満点の合計						20.0	5.000		
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	2.00	
			自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.182		
			自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.364		
	退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	未導入	0	1.0	0.0	0.000			
		導入済み	2		2.0	0.182			
障害者雇用状況	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000			
		法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2		8.0	0.727			
労働条件の明示	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000			
		自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.727			
評点満点の合計						22.0	2.000		
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	県内企業30%未満	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000	5.00	
			県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.357		
			県内企業100%	2		2.0	0.714		
	宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	実績あり	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			市町村の管理する道路の除融雪業務の実績あり	1		1.0	0.357		
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	実績あり	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		1.0	0.357		
	県内での災害時における地域貢献の実績	協定の有無	県との防災協定(配備体制含む)あり	防災協定なし	0	2.0	0.0		0.000
				県以外の(国、市町村)との防災協定(配備体制含む)あり	1		2.0		0.714
		実績の有無(過去5年間)	実績なし	実績なし	0	1.0	0.0		0.000
				実績あり	2		2.0		0.714
県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	実績あり	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		実績あり	2		2.0	0.714			
評点満点の合計						14.0	5.000		
震災貢献	東日本大震災での対応実績	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	1.00		
		実績あり	2		2.0	1.000			
中計							16.00		
減点	不誠実な行為の有無	なし	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000		
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000		
			なし	0		0.0	0.000		
合計							16.00		

(備考)

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点持点とする。

簡易型(実績重視型)－②総合評価方式における評価項目と評価点(建築・設備工事用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点		
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	3.00		
			実績あり	2		2.0	0.375			
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0		0.000	
				70点以上80点未満	1		2.0		0.375	
				80点以上	2		4.0		0.750	
	優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000			
			実績あり(1回)	1		4.0	0.750			
	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	○	未取得	0	1.0	0.0	0.000			
			いづれかひとつ	1		1.0	0.188			
			ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2		2.0	0.375			
	評点満点の合計						16.0		3.000	
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0		0.000	5.00
				実績あり	2		2.0		0.500	
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0		0.000	
				70点以上80点未満	0.5		2.0		0.500	
80点以上85点未満				1	4.0		1.000			
85点以上				2	8.0		2.000			
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000			
			実績あり(1回)	1		4.0	1.000			
			実績あり(2回以上)	2		8.0	2.000			
継続教育(CPD)の取組状況		○	証明なし	0	1.0	0.0	0.000			
	証明あり(奨励単位の1/2未満)		0.5	0.5		0.125				
	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)		1	1.0		0.250				
	証明あり(奨励単位以上)		2	2.0		0.500				
評点満点の合計						20.0	5.000			
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	2.00		
			自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.182			
			自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.364			
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	未導入	0	1.0	0.0		0.000	
	導入済み			2	2.0		0.182			
	障害者雇用状況	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000			
法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上			2	8.0		0.727				
労働条件の明示	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000				
		自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.727				
評点満点の合計						22.0	2.000			
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000	5.00		
			県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.500			
			県内企業100%	2		2.0	1.000			
			防災協定なし	0		0.0	0.000			
	県内での災害時における地域貢献の実績	協定の有無	○	県以外(国、市町村)との防災協定(配備体制含む)あり	1	2.0	2.0		1.000	
				県との防災協定(配備体制含む)あり	2		4.0		2.000	
	県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	実績の有無(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0		0.000	
				実績あり	2		2.0		1.000	
評点満点の合計						10.0	5.000			
震災貢献	東日本大震災での対応実績	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	1.00		
			実績あり	2		2.0	1.000			
中 計								16.00		
減点	不誠実な行為の有無	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000	0.00		
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000			
			なし	0		0.0	0.000			
合 計								16.00		

(備考)

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点持点とする。

簡易型(実績重視型)一③総合評価方式における評価項目と評価点(災害復旧工事事用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点		
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	2.25	
			○	実績あり	2		2.0	0.281		
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0	0.000		
			○	70点以上80点未満	1		2.0	0.281		
			○	80点以上	2		4.0	0.563		
	優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000			
		○	実績あり(1回)	1		4.0	0.563			
	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	○	実績あり(2回以上)	2	1.0	8.0	1.125			
		○	未取得	0		0.0	0.000			
			○	いづれかひとつ	1	1.0	1.0	0.141		
			○	ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2	2.0	0.281			
	評点満点の合計						16.0	2.250		
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		3.75
			○	実績あり	2		2.0	0.375		
			工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0		
○				70点以上80点未満	0.5	2.0		0.375		
○				80点以上85点未満	1	4.0		0.750		
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		○	85点以上	2	8.0	1.500				
		○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000			
継続教育(CPD)の取組状況		○	実績あり(1回)	1		4.0	0.750			
		○	実績あり(2回以上)	2	8.0	1.500				
		○	証明なし	0	1.0	0.0	0.000			
○	証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5	0.5	0.094						
○	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)	1	1.0	0.188						
		○	証明あり(奨励単位以上)	2	2.0	0.375				
評点満点の合計						20.0	3.750			
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	○	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	1.50	
			○	自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.136		
			○	自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.273		
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	未導入	0	1.0	0.0	0.000		
	○		導入済み	2	2.0		0.136			
障害者雇用状況	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000				
	○	法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2		8.0	0.545				
労働条件の明示	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000				
	○	自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.545				
評点満点の合計						22.0	1.500			
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000	3.75		
		○	県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.268			
		○	県内企業100%	2		2.0	0.536			
	宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		○	市町村の管理する道路の除融雪業務の実績あり	1		1.0	0.268			
		○	県の管理する道路の除融雪業務の実績あり	2		2.0	0.536			
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		○	市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		1.0	0.268			
		○	県の施設管理業務の実績あり	2		2.0	0.536			
	県内での災害時における地域貢献の実績	協定の有無	○	防災協定なし	0	2.0	0.0		0.000	
○			県以外(国、市町村)との防災協定(配備体制含む)あり	1	2.0		0.536			
	実績の有無(過去5年間)	○	県との防災協定(配備体制含む)あり	2	1.0	4.0	1.071			
		○	実績なし	0		0.0	0.000			
県内での企業の社会的責任等(GSR)の実績(過去2年間)	実績の有無	○	実績あり	2	1.0	2.0	0.536			
		○	実績なし	0		0.0	0.000			
		○	実績あり	2	1.0	2.0	0.536			
評点満点の合計						14.0	3.750			
震災貢献	東日本大震災での対応実績	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	1.00		
		○	実績あり	2		2.0	1.000			
中 計							12.25			
災害対応の実績	当該災害復旧工事箇所災害発生時、県に連絡の上、自主的に応急対応した実績の有無	○	実績なし	0	3.0	0.0	0.000	5.00		
		○	実績あり	2		6.0	3.000			
	当該災害復旧工事箇所の応急工事実績の有無	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		○	実績あり	2		2.0	1.000			
災害時の配備体制及び訓練実施の有無	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000				
	○	実績あり	2		2.0	1.000				
評点満点の合計						10.0	5.000			
中 計							17.25			
減点	不誠実な行為の有無	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000	0.00		
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000			
			なし	0		0.0	0.000			
合 計							17.25			

(備考)

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点持点とする。

簡易型(実績重視型)－④総合評価方式における評価項目と評価点(県内産資材活用評価用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	2.85	
			実績あり	2		2.0	0.356		
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0		0.000
				70点以上80点未満	1		2.0		0.356
				80点以上	2		4.0		0.713
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	実績なし	0	4.0	0.0		0.000
				実績あり(1回)	1		4.0		0.713
				実績あり(2回以上)	2		8.0		1.425
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	○	未取得	0	1.0	0.0		0.000
				いづれかひとつ	1		1.0		0.178
				ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2		2.0		0.356
		評点満点の合計							16.0
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	4.75
				実績あり	2		2.0	0.475	
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0	0.000	
70点以上80点未満				0.5	2.0		0.475		
80点以上85点未満				1	4.0		0.950		
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			実績あり(1回)	1		4.0	0.950		
			実績あり(2回以上)	2		8.0	1.900		
継続教育(CPD)の取組状況		○	証明なし	0	1.0	0.0	0.000		
			証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5		0.5	0.119		
	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)		1	1.0		0.238			
評点満点の合計						20.0	4.750		
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	1.90	
			自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.173		
			自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.345		
	退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	未導入	0	1.0	0.0	0.000		
			導入済み	2		2.0	0.173		
	障害者雇用状況	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000		
法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上			2	8.0		0.691			
労働条件の明示	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000			
		自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.691			
評点満点の合計						22.0	1.900		
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000	4.75	
			県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.339		
			県内企業100%	2		2.0	0.679		
	宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			市町村の管理する道路の除融雪業務の実績あり	1		1.0	0.339		
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		1.0	0.339		
	県内での防災時における地域貢献の実績	協定の有無	○	防災協定なし	0	2.0	0.0		0.000
				県以外(国、市町村)との防災協定(配備体制含む)あり	1		2.0		0.679
	県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	協定の有無	○	県との防災協定(配備体制含む)あり	2	1.0	4.0		1.357
実績なし				0	0.0		0.000		
	実績の有無(過去5年間)	○	実績あり	2	1.0	2.0	0.679		
			実績なし	0		0.0	0.000		
評点満点の合計						14.0	4.750		
震災貢献	東日本大震災での対応実績	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	1.00	
			実績あり	2		2.0	1.000		
中 計								15.25	
地域性(2)	県内産資材活用計画割合	○	100%未満	0	1.0	0.0	0.000	1.00	
			100%	2		2.0	1.000		
評点満点の合計						2.0	1.000		
中 計								16.25	
減点	不誠実な行為の有無	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000	0.00	
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000		
			なし	0		0.0	0.000		
合 計								16.25	

(備考)

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点持点とする。

簡易型(施工計画型)－①総合評価方における評価項目と評価点(一般土木工事業用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	3.00	
			実績あり	2		2.0	0.375		
		工事成績評定(過去5年間の平均)	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0	0.000		
			70点以上80点未満	1		2.0	0.375		
	優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	実績なし	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			実績あり(1回)	1		4.0	0.750		
		実績あり(2回以上)	実績あり(2回以上)	2	8.0	1.500			
			未取得	0	0.0	0.000			
	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	いずれかひとつ	1	1.0	1.0	0.188			
		ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2		2.0	0.375			
	評点満点の合計						16.0		3.000
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		5.00
			実績あり	2		2.0	0.500		
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			70点以上80点未満	0.5		2.0	0.500		
80点以上85点未満			1	4.0		1.000			
85点以上			2	8.0		2.000			
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		実績なし	0	4.0	0.0	0.000			
		実績あり(1回)	1		4.0	1.000			
実績あり(2回以上)	実績あり(2回以上)	2	8.0	2.000					
	証明なし	0	1.0	0.0	0.000				
継続教育(CPD)の取組状況	証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5		0.5	0.125				
	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)	1	1.0	0.250					
証明あり(奨励単位以上)	2	2.0	0.500						
評点満点の合計						20.0	5.000		
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	2.00	
			自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.182		
			自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.364		
	退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	未導入	0	1.0	0.0	0.000			
		導入済み	2		2.0	0.182			
障害者雇用状況	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000				
	法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2		8.0	0.727				
労働条件の明示	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000				
	自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.727				
評点満点の合計						22.0	2.000		
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000	5.00		
		県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.357			
		県内企業100%	2		2.0	0.714			
	宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		市町村の管理する道路の除融雪業務の実績あり	1		1.0	0.357			
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		1.0	0.357			
	県内の防災協定の有無	県内の防災協定(配備体制含む)あり	2	2.0	2.0	0.714			
		県との防災協定(配備体制含む)あり	2		4.0	1.429			
	県内での災害時における地域貢献の実績	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
実績あり(過去5年間)		2	2.0		0.714				
県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000				
	実績あり	2		2.0	0.714				
評点満点の合計						14.0	5.000		
震災貢献	東日本大震災での対応実績	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	1.00		
		実績あり	2		2.0	1.000			
施工計画等	施工の手順(工程表)	品質管理の頻度・方法	施工上の課題に対する技術的所見	△(注1)	1.0	-5	-2.500	5.00	
				~		~			
				10		5.000			
評点満点の合計						10.0	5.000		
中 計									
減点	不誠実な行為の有無	〇	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000	0.00	
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000		
			なし	0		0.0	0.000		
合 計									
								21.00	
								0.00	
								21.00	

・△(注1)印は、いずれか1つの項目を選択する。  
(備考)

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点満点とする。

簡易型(施工計画型)－②総合評価方式における評価項目と評価点(建築・設備工事事用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	3.00
			○	実績あり	2		2.0	0.375	
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0	0.000	
			○	70点以上80点未満	1		2.0	0.375	
			○	80点以上	2	4.0	0.750		
			○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000	
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	実績あり(1回)	1		4.0	0.750	
			○	実績あり(2回以上)	2	8.0	1.500		
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	○	未取得	0	1.0	0.0	0.000	
			○	いずれかひとつ	1		1.0	0.188	
			○	ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2		2.0	0.375	
		評点満点の合計						16.0	
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	5.00
			○	実績あり	2		2.0	0.500	
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0	0.000	
○			70点以上80点未満	0.5	2.0		0.500		
○			80点以上85点未満	1	4.0		1.000		
○			85点以上	2	8.0		2.000		
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
		○	実績あり(1回)	1		4.0	1.000		
		○	実績あり(2回以上)	2		8.0	2.000		
継続教育(CPD)の取組状況		○	証明なし	0	1.0	0.0	0.000		
	○	証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5	0.5		0.125			
	○	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)	1	1.0		0.250			
○	証明あり(奨励単位以上)	2	2.0	0.500					
評点満点の合計						20.0	5.000		
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	○	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	2.00
			○	自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.182	
			○	自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.364	
	退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	未導入	0	1.0	0.0	0.000		
		○	導入済み	2		2.0	0.182		
	障害者雇用状況	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000		
○		法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2	8.0		0.727			
労働条件の明示	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000			
	○	自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.727			
評点満点の合計						22.0	2.000		
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000	5.00	
			県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.500		
			県内企業100%	2		2.0	1.000		
			防災協定なし	0		0.0	0.000		
	県内での災害時における地域貢献の実績	協定の有無	○	県以外(国、市町村)との防災協定(配備体制含む)あり	1	2.0	2.0		1.000
			○	県との防災協定(配備体制含む)あり	2		4.0		2.000
		実績の有無(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0		0.000
			○	実績あり	2		2.0		1.000
県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		実績あり	2		2.0	1.000			
評点満点の合計						10.0	5.000		
震災貢献	東日本大震災での対応実績	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	1.00	
			実績あり	2		2.0	1.000		
施工計画等	品質管理の頻度・方法	△(注1)	評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-5	1.0	-5.0	-2.500	5.00	
			施工上の課題に対する技術的所見	~10		~10.0	~5.000		
	評点満点の合計						10.0		5.000
中 計									21.00
減点	不誠実な行為の有無	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000	0.00	
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000		
			なし	0		0.0	0.000		
合 計									21.00

・△(注1)印は、いずれか1つの項目を選択する。

(備考)

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点持点とする。

簡易型(施工計画型)一③総合評価方式における評価項目と評価点(災害復旧工事業用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	
			○	実績あり	2		2.0	0.281	
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0	0.000	
			○	70点以上80点未満	1		2.0	0.281	
			○	80点以上	2		4.0	0.563	
	優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
		○	実績あり(1回)	1		4.0	0.563		
	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	○	実績あり(2回以上)	2	1.0	8.0	1.125		
		○	未取得	0		0.0	0.000		
			○	いづれかひとつ	1	1.0	1.0	0.141	
			○	ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2	2.0	0.281		
	評点満点の合計							16.0	2.250
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	
			○	実績あり	2		2.0	0.375	
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0	0.000	
○			70点以上80点未満	0.5	2.0		0.375		
○			80点以上85点未満	1	4.0		0.750		
○			85点以上	2	8.0		1.500		
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
		○	実績あり(1回)	1		4.0	0.750		
継続教育(CPD)の取組状況		○	実績あり(2回以上)	2	1.0	8.0	1.500		
		○	証明なし	0		0.0	0.000		
		○	証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5	1.0	0.094			
		○	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)	1	1.0	0.188			
		○	証明あり(奨励単位以上)	2	2.0	0.375			
評点満点の合計							20.0	3.750	
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	○	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	
			○	自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.136	
			○	自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.273	
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	未導入	0	1.0	0.0	0.000	
	○		導入済み	2	2.0		0.136		
障害者雇用状況	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000			
	○	法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2		8.0	0.545			
労働条件の明示	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000			
	○	自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.545			
評点満点の合計							22.0	1.500	
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000		
		○	県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.268		
		○	県内企業100%	2		2.0	0.536		
	宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
		○	市町村の管理する道路の除融雪業務の実績あり	1		1.0	0.268		
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
		○	市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		1.0	0.268		
	県内での災害時における地域貢献の実績	協定の有無	○	県外の(国、市町村)との防災協定(配備体制含む)あり	1	2.0	2.0	0.536	
			○	県との防災協定(配備体制含む)あり	2		4.0	1.071	
	県内での企業の社会的責任等(GSR)の実績(過去2年間)	実績の有無(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	
○			実績あり	2	2.0		0.536		
		○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
		○	実績あり	2		2.0	0.536		
評点満点の合計							14.0	3.750	
震災貢献	東日本大震災での対応実績	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
		○	実績あり	2		2.0	1.000		
施工計画等	施工の手順(工程表)	△(注1)	評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-5	1.0	-5.0	-1.875		
	品質管理の頻度・方法			~		~			
	施工上の課題に対する技術的所見			10		10.0	3.750		
評点満点の合計							10.0	3.750	
中 計									
災害対応の実績	当該災害復旧工事箇所災害発生時、県に連絡の上、自主的に応急対応した実績の有無	○	実績なし	0	3.0	0.0	0.000		
		○	実績あり	2		6.0	3.000		
	当該災害復旧工事箇所の応急工事実績の有無	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
		○	実績あり	2		2.0	1.000		
災害時の配備体制及び訓練実施の有無	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
	○	実績あり	2		2.0	1.000			
評点満点の合計							10.0	5.000	
中 計									
減点	不誠実な行為の有無	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000		
				-0.5		-2.0	-2.000		
				なし		0	0.0	0.000	
合 計									
							21.00	21.00	

・△(注1)印は、いずれか1つの項目を選択する。

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点持点とする。

簡易型(施工計画型)一④総合評価方式における評価項目と評価点(県内産資材活用評価用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点		
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			○	実績あり	2		2.0	0.356		
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0	0.000		
			○	70点以上80点未満	1		2.0	0.356		
	宮城県建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			○	実績あり(1回)	1		4.0	0.713		
		○	○	実績あり(2回以上)	2	8.0	1.425			
			○	未取得	0	1.0	0.0	0.000		
	○	いずれかひとつ	1	1.0	0.178					
	○	ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2	2.0	0.356					
	評点満点の合計						16.0	2.850	2.85	
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			○	実績あり	2		2.0	0.475		
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	○	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0		0.000
				○	70点以上80点未満	0.5		2.0		0.475
○				80点以上85点未満	1	4.0		0.950		
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		○	○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			○	実績あり(1回)	1		4.0	0.950		
			○	実績あり(2回以上)	2		8.0	1.900		
継続教育(CPD)の取組状況	○	○	証明なし	0	1.0	0.0	0.000			
		○	証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5		0.5	0.119			
		○	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)	1		1.0	0.238			
○	証明あり(奨励単位以上)	2	2.0	0.475						
評点満点の合計						20.0	4.750	4.75		
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	○	自社未導入	0	2.0	0.0			0.000
			○	自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0		0.173	
			○	自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0		0.345	
	○	退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	未導入	0	1.0	0.0		0.000	
			○	導入済み	2		2.0		0.173	
○	障害者雇用状況	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000			
		○	法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2		8.0	0.691			
○	労働条件の明示	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000			
○	自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2	8.0	0.691						
評点満点の合計						22.0	1.900	1.90		
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	○	県内企業30%未満	0	1.0	0.0		0.000	
			○	県内企業30%以上100%未満	1		1.0		0.339	
			○	県内企業100%	2		2.0		0.679	
	宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	○	○	実績なし	0	1.0	0.0		0.000	
			○	市町村の管理する道路の除融雪業務の実績あり	1		1.0		0.339	
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	○	○	実績なし	0	1.0	0.0		0.000	
			○	市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		1.0		0.339	
	県内での防災時における地域貢献の実績	協定の有無	○	○	防災協定なし	0	2.0		0.0	0.000
				○	県以外(国、市町村)との防災協定(設備体制含む)あり	1			2.0	0.679
	○	実績の有無(過去5年間)	○	○	県との防災協定(設備体制含む)あり	2	4.0		1.357	
○				実績なし	0	1.0	0.0		0.000	
○	実績あり	○	○	実績なし	0		1.0		0.0	0.000
			○	実績あり	2	2.0			0.679	
県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	○	○	○	実績なし	0	1.0	0.0		0.000	
			○	実績あり	2		2.0	0.679		
評点満点の合計						14.0	4.750	4.75		
震災貢献	東日本大震災での対応実績	○	○	実績なし	0	1.0	0.0		0.000	
			○	実績あり	2		2.0	1.000		
施工計画等	施工の手順(工程表)	△(注1)	○	評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-5	1.0	-5.0	-2.375		
					~		~			
					10		4.750			
施工計画等	品質管理の頻度・方法	△(注1)	○	評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-5	1.0	-5.0	-2.375		
					~		~			
					10		4.750			
施工計画等	施工上の課題に対する技術的所見	△(注1)	○	評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-5	1.0	-5.0	-2.375		
					~		~			
					10		4.750			
評点満点の合計						-5.0~10.0	4.750	4.75		
中 計										
地域性(2)	県内産資材活用計画割合	○	○	100%未満	0	1.0	0.0	0.000		
					2		2.0	1.000		
評点満点の合計						2.0	1.000	1.00		
中 計										
減点	不誠実な行為の有無	○	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000		
					-0.5		-2.0	-2.000		
					0		0.0	0.000		
合計							21.00	21.00		
合計										

・△(注1)印は、いずれか1つの項目を選択する。  
(備考)

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点持点とする。

標準型(施工計画型)－①総合評価方式における評価項目と評価点(一般土木工事事用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	31.00	
			実績あり	2		2.0	0.375		
		工事成績評定(過去5年間の平均)	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0	0.000		
			70点以上80点未満	1		2.0	0.375		
	優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	実績なし	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			実績あり(1回)	1		4.0	0.750		
		実績あり(2回以上)	実績あり(2回以上)	2	8.0	1.500			
			未取得	0	0.0	0.000			
	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	いずれかひとつ	1	1.0	1.0	0.188			
		ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2	2.0	0.375				
	評点満点の合計						16.0		3.000
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			実績あり	2		2.0	0.500		
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			70点以上80点未満	0.5		2.0	0.500		
80点以上85点未満			1	4.0		1.000			
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		実績なし	0	4.0	0.0	0.000			
		実績あり(1回)	1		4.0	1.000			
継続教育(CPD)の取組状況	実績あり(2回以上)	実績あり(2回以上)	2	8.0	2.000				
		証明なし	0	0.0	0.000				
		証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5	0.5	0.125				
		証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)	1	1.0	0.250				
		証明あり(奨励単位以上)	2	2.0	0.500				
評点満点の合計						20.0	5.000		
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000		
			自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.182		
			自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.364		
	退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	未導入	0	1.0	0.0	0.000			
		導入済み	2	2.0	0.182				
障害者雇用状況	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000				
	法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2	8.0	0.727					
労働条件の明示	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000				
		自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2	8.0	0.727				
評点満点の合計						22.0	2.000		
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000			
		県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.357			
		県内企業100%	2		2.0	0.714			
	宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		市町村の管理する道路の除融雪業務の実績あり	1		1.0	0.357			
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	県内の管理する道路の除融雪業務の実績あり	2	2.0	0.714				
		実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	1	1.0	1.0	0.357		
			県の施設管理業務の実績あり	2	2.0	0.714			
	県内での災害時における地域貢献の実績	協定の有無	防災協定なし	0	2.0	0.0	0.000		
県以外(国、市町村)との防災協定(配備体制含む)あり			1	2.0		0.714			
	県との防災協定(配備体制含む)あり	県との防災協定(配備体制含む)あり	2	4.0	1.429				
		実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
	実績の有無(過去5年間)	実績なし	2	2.0	0.714				
		実績あり	2	2.0	0.714				
県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000				
	実績あり	2	2.0	0.714					
評点満点の合計						14.0	5.000		
震災貢献	東日本大震災での対応実績	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		実績あり	2		2.0	1.000			
施工計画等	施工の手順(工程表)	△(注1)	評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-10 ~ 20	1.0	-10.0 ~ 20.0	-7.500 ~ 15.000		
	品質管理の頻度・方法								
	施工上の課題に対する技術的所見								
評点満点の合計						20.0	15.000		
中 計									
減点	不誠実な行為の有無	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000		
				-0.5		-2.0	-2.000		
				なし		0	0.0	0.000	
合 計							31.00		

・△(注1)印は、いずれか2つの項目を選択する。  
(備考)

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点満点とする。

標準型(施工計画型)－②総合評価方式における評価項目と評価点(建築・設備工事用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点			
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	3.00			
			実績あり	2		2.0	0.375				
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0		0.000		
				70点以上80点未満	1		2.0		0.375		
				80点以上	2		4.0		0.750		
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	実績なし	0	4.0	0.0		0.000		
				実績あり(1回)	1		4.0		0.750		
				実績あり(2回以上)	2		8.0		1.500		
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	○	未取得	0	1.0	0.0		0.000		
				いづれかひとつ	1		1.0		0.188		
	評点満点の合計						16.0	3.000			
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	5.00		
				実績あり	2		2.0	0.500			
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0	0.000			
				70点以上80点未満	0.5		2.0	0.500			
80点以上85点未満				1	4.0		1.000				
85点以上				2	8.0		2.000				
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000				
			実績あり(1回)	1		4.0	1.000				
			実績あり(2回以上)	2		8.0	2.000				
継続教育(CPD)の取組状況		○	証明なし	0	1.0	0.0	0.000				
	証明あり(奨励単位の1/2未満)		0.5	0.5		0.125					
	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)		1	1.0		0.250					
評点満点の合計						20.0	5.000				
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	2.00			
			自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.182				
			自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.364				
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	未導入	0	1.0	0.0		0.000		
				導入済み	2		2.0		0.182		
		障害者雇用状況	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0		0.000		
法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2			8.0	0.727						
労働条件の明示	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000					
		自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.727					
評点満点の合計						22.0	2.000				
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000	5.00			
			県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.500				
			県内企業100%	2		2.0	1.000				
			防災協定なし	○		県以外(国、市町村)との防災協定(配備体制含む)あり	1		2.0	2.0	1.000
						県との防災協定(配備体制含む)あり	2			4.0	2.000
	県内での災害時における地域貢献の実績	協定の有無	○	実績なし	0	1.0	0.0		0.000		
				実績あり	2		2.0		1.000		
				県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	○		実績なし		0	1.0	0.0
	実績あり	2	2.0			1.000					
	評点満点の合計						10.0		5.000		
震災貢献	東日本大震災での対応実績	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	1.00			
			実績あり	2		2.0	1.000				
施工計画等	品質管理の頻度・方法	○	評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-10	1.0	-10.0	-7.500	15.00			
				~20		20.0	15.000				
評点満点の合計						20.0	15.000				
中 計											
減点	不誠実な行為の有無	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000	0.00			
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000				
			なし	0		0.0	0.000				
合 計											
31.00											

(備考)

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点持点とする。

標準型(施工計画型)－③総合評価方式における評価項目と評価点(災害復旧工事例)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	
			○	実績あり	2		2.0	0.313	
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0	0.000	
			○	70点以上80点未満	1		2.0	0.313	
			○	80点以上	2		4.0	0.625	
	優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
		○	実績あり(1回)	1		4.0	0.625		
	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	○	未取得	0	1.0	0.0	0.000		
			いづれかひとつ	1		1.0	0.156		
				ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2		2.0	0.313	
	評点満点の合計							16.0	2.500
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	
			○	実績あり	2		2.0	0.417	
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0	0.000	
				70点以上80点未満	0.5		2.0	0.417	
80点以上85点未満				1	4.0		0.834		
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			実績あり(1回)	1		4.0	0.834		
継続教育(CPD)の取組状況		○	実績あり(2回以上)	2	8.0	1.668			
			証明なし	0	0.0	0.000			
		○	証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5	1.0	0.5	0.104		
	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)		1	1.0	0.209				
			証明あり(奨励単位以上)	2	2.0	0.417			
評点満点の合計							20.0	4.170	
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	○	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	
			○	自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.151	
			○	自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.302	
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	未導入	0	1.0	0.0	0.000	
	導入済み			2	2.0	0.151			
障害者雇用状況	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000			
		法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2	8.0	0.604				
労働条件の明示	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000			
		自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2	8.0	0.604				
評点満点の合計							22.0	1.660	
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000		
			県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.298		
			県内企業100%	2		2.0	0.596		
	宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			市町村の管理する道路の除融雪業務の実績あり	1		1.0	0.298		
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		1.0	0.298		
	県内での災害時における地域貢献の実績	○	県内の施設管理業務の実績あり	2	2.0	0.596			
			防災協定なし	0	2.0	0.000			
		○	県以外(国、市町村)との防災協定(設備体制含む)あり	1	2.0	0.596			
県との防災協定(設備体制含む)あり			2	4.0	1.191				
県内での企業の社会的責任等(GSR)の実績(過去2年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		実績あり	2		2.0	0.596			
評点満点の合計							14.0	4.170	
震災貢献	東日本大震災での対応実績	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			実績あり	2		2.0	1.000		
施工計画等	施工の手順(工程表)	△(注1)	評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-10	1.0	-10.0	-6.250		
			品質管理の頻度・方法	~		~	~		
			施工上の課題に対する技術的所見	20		20.0	12.500		
評点満点の合計							20.0	12.500	
中 計									
災害対応の実績	当該災害復旧工事箇所災害発生時、県に連絡の上、自主的に応急対応した実績の有無	○	実績なし	0	3.0	0.0	0.000		
			実績あり	2		6.0	3.000		
	当該災害復旧工事箇所の応急工事実績の有無	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		
			実績あり	2		2.0	1.000		
災害時の設備体制及び訓練実施の有無	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		実績あり	2		2.0	1.000			
評点満点の合計							10.0	5.000	
中 計									
減点	不誠実な行為の有無	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000		
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000		
			なし	0		0.0	0.000		
合 計									
							31.00	31.00	

・△(注1)印は、いずれか2つの項目を選択する。

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点持点とする。

標準型(施工計画型)－④総合評価方式における評価項目と評価点(県内産資材活用評価用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	
			○	実績あり	2		2.0	0.363	
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0	0.000	
			○	70点以上80点未満	1		2.0	0.363	
	宮城県建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000	
			○	実績あり(1回)	1		4.0	0.725	
		○	○	実績あり(2回以上)	2	8.0	1.450		
			○	未取得	0	1.0	0.0	0.000	
	○	いずれかひとつ	1	1.0	0.181				
	○	ISO9001かつISO14001またはISO9001かつみちのくEMS取得	2	2.0	0.363				
	評点満点の合計						16.0	2.900	2.90
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	
			○	実績あり	2		2.0	0.484	
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	○	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0	0.000
				○	70点以上80点未満	0.5		2.0	0.484
			○	80点以上85点未満	1	4.0		0.968	
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		○	○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000	
			○	実績あり(1回)	1		4.0	0.968	
		○	実績あり(2回以上)	2	8.0	1.936			
継続教育(CPD)の取組状況	○	○	証明なし	0	1.0	0.0	0.000		
		○	証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5		0.5	0.121		
		○	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)	1		1.0	0.242		
評点満点の合計						20.0	4.840	4.84	
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	○	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	
			○	自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.175	
			○	自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.351	
	退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	○	未導入	0	1.0	0.0	0.000	
			○	導入済み	2		2.0	0.175	
障害者雇用状況	○	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000		
		○	法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2		8.0	0.702		
労働条件の明示	○	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000		
		○	自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.702		
評点満点の合計						22.0	1.930	1.93	
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	○	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000	
			○	県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.345	
			○	県内企業100%	2		2.0	0.690	
	宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	○	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	
			○	市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		1.0	0.345	
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	○	○	県の実績なし	0	1.0	0.0	0.000	
			○	市町村の施設管理業務の実績または県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		1.0	0.345	
	県内での災害時における地域貢献の実績	協定の有無	○	○	防災協定なし	0	2.0	0.0	0.000
				○	県以外(国、市町村)との防災協定(設備体制含む)あり	1		2.0	0.690
	県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	実績の有無(過去5年間)	○	○	県との防災協定(設備体制含む)あり	2	1.0	4.0	1.380
○				実績なし	0	0.0		0.000	
県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	○	○	実績あり	2	1.0	2.0	0.690		
		○	実績なし	0		0.0	0.000		
評点満点の合計						14.0	4.830	4.83	
震災貢献	東日本大震災での対応実績	○	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	
			○	実績あり	2		2.0	1.000	
施工計画等	施工の手順(工程表)	△(注1)	○	評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-10 ~ 20	1.0	-10.0	-7.250	
							~	~	
							20.0	14.500	
評点満点の合計						20.0	14.500	14.50	
中 計									
地域性(2)	県内産資材活用計画割合	○	○	100%未満	0	1.0	0.0	0.000	
			○	100%	2		2.0	1.000	
評点満点の合計						2.0	1.000	1.00	
中 計									
減点	不誠実な行為の有無	○	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000	
							文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5	-2.000
								0	0.000
合計								31.00	

・△(注1)印は、いずれか2つの項目を選択する。  
(備考)

1. 価格以外の評価点 = (評点 / 評点満点の合計) × 評価点持点とする。

標準型(技術提案型)－①総合評価方式における評価項目と評価点(一般土木工事事用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	3.00	
			実績あり	2		2.0	0.375		
		工事成績評定(過去5年間の平均)	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0	0.000		
			70点以上80点未満	1		2.0	0.375		
	優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	実績なし	実績あり(1回)	1	4.0	4.0	0.750		
			実績あり(2回以上)	2		8.0	1.500		
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	未取得	0	1.0	0.0	0.000		
			いずれかひとつ	1		1.0	0.188		
	評点満点の合計						16.0		3.000
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000		5.00
			実績あり	2		2.0	0.500		
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0	0.000		
			70点以上80点未満	0.5		2.0	0.500		
			80点以上85点未満	1		4.0	1.000		
			85点以上	2		8.0	2.000		
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		実績なし	0	4.0	0.0	0.000			
		実績あり(1回)	1		4.0	1.000			
継続教育(CPD)の取組状況	証明なし	証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5	1.0	0.5	0.125			
		証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)	1		1.0	0.250			
	証明あり(奨励単位以上)		2	2.0	0.500				
	評点満点の合計						20.0	5.000	
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	2.00	
			自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.182		
			自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.364		
	退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	未導入	0	1.0	0.0	0.000			
		導入済み	2		2.0	0.182			
障害者雇用状況	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000				
	法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2		8.0	0.727				
労働条件の明示	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000				
自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2	8.0		0.727					
評点満点の合計						22.0	2.000		
地域・貢献	県内企業の活用計画割合	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000	2.00		
		県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.333			
		県内企業100%	2		2.0	0.667			
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
		市町村の施設管理業務の実績又は県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		1.0	0.333			
	県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
実績あり		2	2.0		0.667				
評点満点の合計						6.0	2.000		
震災貢献	東日本大震災での対応実績	0	1.0	0.0	0.000	1.00			
実績あり		2		2.0	1.000				
技術提案等	配置技術者の能力(ヒアリング評価)	△(注1) 評価項目数×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	2	1.0	2.0	6.000	18.00		
			2		2.0	6.000			
			2		2.0	6.000			
評点満点の合計						6.0	18.000		
中 計									
減点	不誠実な行為の有無	0	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000	0.00	
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000		
			なし	0		0.0	0.000		
合 計									
								31.00	
								0.00	
								31.00	

- ・△(注1)印は、いずれかの評価項目を1～3項目選択の上、次頁の「技術提案等」の評価項目の小項目から3項目以上選択する。
- \* 技術提案等は評価項目数に応じて満点及び評点変動する。
- \* 技術提案等は評価項目毎の倍率を変更(1～5)することができる。

(備考)

1. 価格以外の評価点 = (評点 / 評点満点の合計) × 評価点持点とする。

標準型(技術提案型)－②総合評価方式(標準型・技術提案型)における評価項目と評価点(建築・設備工事事)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点		
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	3.00		
			実績あり	2		2.0	0.375			
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	70点未満または実績なし	0	2.0	0.0		0.000	
				70点以上80点未満	1		2.0		0.375	
				80点以上	2		4.0		0.750	
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	実績なし	0	4.0	0.0		0.000	
				実績あり(1回)	1		4.0		0.750	
				実績あり(2回以上)	2		8.0		1.500	
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	○	未取得	0	1.0	0.0		0.000	
				いずれかひとつ	1		1.0		0.188	
	評点満点の合計						16.0	3.000		
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	5.00	
				実績あり	2		2.0	0.500		
			工事成績評定(過去2年間の最高評点)	○	70点未満または実績なし	0	4.0	0.0		0.000
					70点以上80点未満	0.5		2.0		0.500
80点以上85点未満		1			4.0	1.000				
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)		○	実績なし	0	4.0	0.0	0.000			
			実績あり(1回)	1		4.0	1.000			
			実績あり(2回以上)	2		8.0	2.000			
継続教育(CPD)の取組状況		○	証明なし	0	1.0	0.0	0.000			
			証明あり(奨励単位の1/2未満)	0.5		0.5	0.125			
	証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)		1	1.0		0.250				
評点満点の合計						20.0	5.000			
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	2.00		
			自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.182			
			自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.364			
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	未導入	0	1.0	0.0		0.000	
				導入済み	2		2.0		0.182	
障害者雇用状況	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000				
		法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上	2		8.0	0.727				
労働条件の明示	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000				
		自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.727				
評点満点の合計						22.0	2.000			
地域性	地域・貢献	○	県内企業30%未満	0	1.0	0.0	0.000	2.00		
			県内企業30%以上100%未満	1		1.0	0.500			
			県内企業100%	2		2.0	1.000			
	県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000			
実績あり			2	2.0		1.000				
評点満点の合計						4.0	2.000			
震災貢献	東日本大震災での対応実績	○	実績なし	0	1.0	0.0	0.000	1.00		
			実績あり	2		2.0	1.000			
技術提案等	技術提案等	△(注1)	配置技術者の能力(ヒアリング評価)	2	1.0	2.0	6.000	18.00		
			施工上配慮すべき事項(複数選択可)	2		2.0	6.000			
			技術提案(複数選択可)	2		2.0	6.000			
評点満点の合計						6.0	18.000			
中 計										
減点	不誠実な行為の有無	○	文書での改善指示複数回目(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000	0.00		
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000			
			なし	0		0.0	0.000			
合 計								31.00		

- △(注1)印は、いずれかの評価項目を1～3項目選択の上、次頁の「技術提案等」の評価項目の小項目から3項目以上選択する。
- \* 技術提案等は評価項目数に応じて満点及び評点が変動する。
- \* 技術提案等は評価項目毎の倍率を変更(1～5)することができる。

(備考)

1. 価格以外の評価点=(評点/評点満点の合計)×評価点持点とする。

「技術提案等」の評価項目、視点の例

「技術提案等」の評価項目		評価の視点	評点
大項目	小項目		
配置技術者の能力 (ヒアリング評価)  *ヒアリングは、評価項目を3項目併せて1評点とする。	技術者の専門能力	実績としてあげた工事の担当分野において、工事管理に中心的・主体的に参画し、創意工夫等の積極的な取り組みを行ったことが確認できる。	優(2点)
		実績としてあげた工事の担当分野において、工事管理を適切に行ったことが確認できる。	良(1点)
		実績としてあげた工事の担当分野において、工事管理を行ったことは確認できるが、回答に不足する部分がある。	可(0点)
		実績としてあげた工事の担当分野において、工事管理を行ったことに疑問が持たれる回答である。	不適切(-1点)
	当該工事の理解度・取り組み姿勢	当該工種について適切に理解した上で、施工上の提案等積極的な取り組み姿勢が見られる。	優(2点)
		当該工種について適切に理解している。	良(1点)
		当該工種についての理解に不足する部分がある。	可(0点)
		当該工種について誤った理解をしている。	不適切(-1点)
技術者のコミュニケーション能力	質問に対する応答が明快かつ迅速である	優(2点)	
	その他	可(0点)	
施工上配慮すべき事項	工程管理	工程管理が適切であり、工程上重要な項目が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)
		工程管理が適切であり、工夫が見られる。	良(1点)
		共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載	可(0点)
		不適切な記載	不適切(-1点)
	品質管理	品質管理が適切であり、品質管理上重要な項目が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)
		品質管理が適切であり、工夫が見られる。	良(1点)
		共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載	可(0点)
		不適切な記載	不適切(-1点)
	安全管理	留意事項が現地条件を踏まえ適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)
		留意事項が現地条件を踏まえ適切であり、工夫が見られる。	良(1点)
		共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載	可(0点)
		不適切な記載	不適切(-1点)
	環境(動植物含む)	配慮事項が現地条件を踏まえ適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)
		配慮事項が現地条件を踏まえ適切であり、工夫が見られる。	良(1点)
		共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載	可(0点)
		不適切な記載	不適切(-1点)
	その他配慮すべき事項	配慮事項が現地条件を踏まえ適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)
		配慮事項が現地条件を踏まえ適切であり、工夫が見られる。	良(1点)
		共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載	可(0点)
		不適切な記載	不適切(-1点)
技術提案	工事目的物の品質向上策(性能)	構造形式や施工条件を十分に踏まえ解析に基づいた品質向上策であり、重要な事項が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)
		構造形式や施工条件を踏まえた品質向上策である。	良(1点)
		共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載 不適切な記載	可(0点) 不適切(-1点)
	工事目的物の長寿命化(耐久性)	構造形式や施工条件を十分に踏まえ解析に基づいた長寿命化策であり、重要な事項が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)
		構造形式や施工条件を踏まえた長寿命化策であり、工夫が見られる。	良(1点)
		共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載 不適切な記載	可(0点) 不適切(-1点)
	工事に伴う公害防止のための施工方法(建設発生土の仮置き又は保管条件含む)	現地の環境条件(地形、地質、環境、地域特性等)を十分に踏まえて適切であり、重要な事項が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)
		現地の環境条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切である。	良(1点)
		共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載 不適切な記載	可(0点) 不適切(-1点)
	濁水・湧水等の処理方法	留意事項が現地条件を踏まえており適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)
		留意事項が現地条件を踏まえており適切であり、工夫が見られる。	良(1点)
		共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載 不適切な記載	可(0点) 不適切(-1点)
	リサイクルの推進 (建設副産物の現場内での再利用・間伐材、伐採除根材のリサイクル率)	留意事項が現地条件を踏まえており適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)
		留意事項が現地条件を踏まえており適切であり、工夫が見られる。	良(1点)
		共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載 不適切な記載	可(0点) 不適切(-1点)
	基準値に対する環境負荷軽減対策(騒音、振動、濁度対策等)	施工騒音(工事排水のSS値等)について、基準値より○○dB低減(○○mg/L低減)ごとに○○点を加点	各項目ごとに満点を設定
契約工期より、○○日間短縮させるごとに○○点を加点			
発注規制日数より、○○日間短縮させるごとに○○点を加点			
工期短縮方法 交通対策(交通規制の短縮日数)	技術提案が適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる。	優(2点)	
	技術提案が適切であり、工夫が見られる。	良(1点)	
	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載 不適切な記載	可(0点) 不適切(-1点)	

\* 上記評価項目以外に工事の内容に応じた評価項目及び評価の視点を、個別工事毎に設定することが出来る。

## 別紙2 価格以外の評価項目における評価基準

※以下の価格以外の評価項目の条件において「入札公告日まで」とは入札公告日の当日を含むこととする。

### 1. 技術力

#### 1) 企業評価

##### ①企業の同種工事の経験（過去10年間）

配点	記載内容	評価基準
0	—	実績なし
2	標準	実績あり

- 同種工事とは、発注者が指示する工種を含む工事とする。
- 国、都道府県又は政令指定都市及び特殊法人等の発注した工事を対象とする。
- 特殊法人等とは「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する施行令」第一条に規定する特殊法人等の範囲（巻末参考資料参照）及び宮城県土地開発公社、宮城県住宅供給公社、宮城県道路公社とする。
- 当該工事の開札日の属する年度の直前10ヶ年度、及び当該工事入札公告日までに完成し、引き渡し完了した工事を対象とする。
- 共同企業体の構成員としての同種工事の経験は、出資比率20%以上の場合のものに限る。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、担当する工種の全体工事費に占める割合が最も高い技術者の所属する企業の同種工事の経験を対象とする。ただし、復旧・復興建設工事共同企業体（復興JV）として入札参加する場合は、構成員各社いずれかの同種工事の経験を対象とすることができる。なお、「企業評価」は同一企業とする。

##### ②企業の工事成績評定（過去5年間の平均）

配点	記載内容	評価基準
0	—	70点未満または実績なし
1	標準	70点以上 80点未満
2	優良	80点以上

- 宮城県建設工事競争入札参加資格登録承認者名簿記載点数とする。（同名簿記載点数が過去5年間の平均となっている。）
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、担当する工種の全体工事費に占める割合が最も高い技術者の所属する企業の工事成績評定を対象とする。ただし、復旧・復興建設工事共同企業体（復興JV）として入札参加する場合は、構成員各社いずれかの工事成績評定を対象とすることができる。なお、「企業評価」は同一企業とする。

##### ③企業の優良建設工事施工業者表彰等（過去5年間）

配点	記載内容	評価基準
0	—	表彰実績なし
1	標準	表彰実績あり（1回）
2	優良	表彰実績あり（2回以上）

- 対象となる表彰制度  
宮城県優良建設工事施工業者表彰  
東北地方整備局優良工事成績表彰（局長・所長）  
東北農政局農業農村整備事業等優良工事成績等の請負業者等の表彰
- 当該工事の開札日の属する年度の直前5ヶ年度、及び当該工事入札公告日までの上記の表彰制度での受賞実績を対象とする。（表彰の年度であり、表彰の対象となった工事の完成年度ではない。）
- 上記表彰制度のうち宮城県優良建設工事施工業者表彰については、表彰決定通知日をもって受賞実績とする。ただし、落札決定前に当該表彰が取り消された場合には、受賞実績とはしない。
- 当該工事と同工種（土木・建築・設備の区分）での受賞実績を対象とする。
- 共同企業体の構成員としての受賞実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、担当する工種の全体工事費に占める割合が最も高い技術者の所属する企業の表彰を対象とする。ただし、復旧・復興建設工事共同企業体（復興JV）として入札参加する場合は、構成員各社いずれかの表彰を対象とすることができる。なお、「企業評価」は同一企業とする。

##### ④ISO9001・14001・みちのく環境管理規格（みちのくEMS）の認証取得状況

配点	記載内容	評価基準
0	—	認証未取得
1	標準	ISO9001、14001またはみちのく環境管理規格のいずれかひとつを取得済み
2	優良	ISO9001及びISO14001の両方またはISO9001及びみちのく環境管理規格の両方の認証取得済み

- 当該工事入札公告日に有効な宮城県建設工事入札参加登録資格審査の承認結果を対象とする。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、担当する工種の全体工事費に占める割合が最も高い技術者の所属する企業の認証取得状況を対象とする。ただし、復旧・復興建設工事共同企業体（復興JV）として入札参加する場合は、構成員各社いずれかの認証取得状況を対象とすることができる。なお、「企業評価」は同一企業とする。

## 2) 配置する技術者の評価（監理技術者又は主任技術者）

### ①配置する技術者の同種工事の経験（過去10年間）

配点	記載内容	評価基準
0	—	実績なし
2	標準	実績あり

- 同種工事とは、発注者が指示する工種を含む工事とする。
- 国、都道府県又は政令指定都市及び特殊法人等の発注した工事を対象とする。
- 特殊法人等とは「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する施行令」第一条に規定する特殊法人等の範囲（巻末参考資料参照）及び宮城県土地開発公社、宮城県住宅供給公社、宮城県道路公社とする。
- 当該工事の開札日の属する年度の直前10ヶ年度、及び当該工事入札公告日までに完成し、引き渡し完了した工事を対象とする。
- 共同企業体の構成員の技術者としての同種工事の経験は、出資比率20%以上の場合のものに限る。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、担当する工種の全体工事費に占める割合が最も高い技術者を対象とする。ただし、復旧・復興建設工事共同企業体（復興JV）として入札参加する場合は、構成員各社いずれかの企業が配置する技術者を対象とすることができる。なお、「配置する技術者の評価」は同一企業の技術者とする。
- 工場製作等を含む工事で、施工箇所とは別の工場等に他の技術者を配置する場合は、工事費の過半以上を占める工種を担当する技術者を対象とする。
- 実績として対象とする工事の従事を必要とする期間に対して、配置技術者もしくは現場代理人としての従事期間の割合が90%以上であること。

### ②配置する技術者の工事成績評定（過去2年間の最高評点）

配点	記載内容	評価基準
0	—	70点未満または実績なし
0.5	標準	70点以上 80点未満
1	良	80点以上 85点未満
2	優良	85点以上

- 宮城県、東北地方整備局、東北農政局が発注した工事の工事成績評定を対象とする。
- 当該工事の開札日の属する年度の直前2ヶ年度、及び当該工事入札公告日までに工事成績審査結果通知書を受けた工事成績評定の最高評定点を対象とする。
- 共同企業体の構成員の技術者としての工事成績評定点評定は、出資比率20%以上の場合のものに限る。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、担当する工種の全体工事費に占める割合が最も高い技術者を対象とする。ただし、復旧・復興建設工事共同企業体（復興JV）として入札参加する場合は、構成員各社いずれかの企業が配置する技術者を対象とすることができる。なお、「配置する技術者の評価」は同一企業の技術者とする。
- 工場製作等を含む工事で、施工箇所とは別の工場等に他の技術者を配置する場合は、工事費の過半以上を占める工種を担当する技術者を対象とする。
- 実績として対象とする工事の従事を必要とする期間に対して、配置技術者もしくは現場代理人としての従事期間の割合が90%以上であること。

### ③宮城県建設工事事務事故防止優良者表彰等、または同表彰工事の（監理）主任技術者としての実績（過去5年間）

配点	記載内容	評価基準
0	—	表彰実績なし
1	標準	表彰実績あり（1回）
2	優良	表彰実績あり（2回以上）

- 対象となる表彰制度  
宮城県建設工事事務事故防止優良者表彰  
東北地方工事安全施工推進大会（SAFETY）優良企業（現場代理人）表彰  
ただし、上記の表彰制度で同一工事で重複受賞した場合は、複数回の実績としてではなく、1回の実績と見なす。
- 当該工事の開札日の属する年度の直前5ヶ年度、及び当該工事入札公告日までの上記の表彰制度での受賞実績を対象とする。（表彰の年度であり、表彰の対象となった工事の完成年度ではない。）
- 上記表彰制度のうち宮城県建設工事事務事故防止優良者表彰については、表彰決定通知日をもって受賞実績とする。ただし、落札決定前に当該表彰が取り消された場合には、受賞実績とはしない。
- 共同企業体の構成員の技術者としての受賞実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、担当する工種の全体工事費に占める割合が最も高い技術者を対象とする。ただし、復旧・復興建設工事共同企業体（復興JV）として入札参加する場合は、構成員各社いずれかの企業が配置する技術者を対象とすることができる。なお、「配置する技術者の評価」は同一企業の技術者とする。
- 工場製作等を含む工事で、施工箇所とは別の工場等に他の技術者を配置する場合は、工事費の過半以上を占める工種を担当する技術者を対象とする。
- 表彰の対象となった工事の従事を必要とする期間に対して、配置技術者もしくは現場代理人としての従事期間の割合が90%以上であること。

#### ④配置する技術者の継続教育（CPD）の取組状況

配点	記載内容	評価基準
0	—	継続教育の証明なし
0.5	—	継続教育の証明あり（各団体奨励単位の1/2未満取得）
1	標準	継続教育の証明あり（各団体奨励単位の1/2以上奨励単位未満取得）
2	優良	継続教育の証明あり（各団体奨励単位以上取得）

●以下のいずれかの対象団体が実施している継続教育の登録において、各団体の奨励単位に対する単位の取得状況を対象とする。

- ・(社)日本技術士会 150単位(3年間)
- ・(社)全国土木施工管理技士会連合会 30単位(1年間)
- ・農業農村工学会技術者継続教育機構 50単位(1年間)
- ・日本建築士会連合会 50単位(1年間)
- ・(社)空気調和・衛生工学会 50単位(1年間)
- ・(社)建築設備技術者協会 50単位(1年間)

●対象は総合評価技術資料提出時(入札時)において、各団体で取得可能な登録証明済みの単位とし、技術資料提出期限から過去1年以内の間までに単位取得が証明された「証明書」を有効とする。(講習会等を受講しただけのもの、各団体に登録申請中のものは除く。)

●当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、担当する工種の全体工事費に占める割合が最も高い技術者を対象とする。ただし、復旧・復興建設工事共同企業体(復興JV)として入札参加する場合は、構成員各社いずれかの企業が配置する技術者を対象とすることができる。なお、「配置する技術者の評価」は同一企業の技術者とする。

●工場製作等を含む工事で、施工箇所とは別の工場等に他の技術者を配置する場合は、工事費の過半以上を占める工種を担当する技術者を対象とする。

## 2. 社会性

### 1) 労働福祉

#### ①建設業退職金共済制度導入の有無

配点	記載内容	評価基準
0	—	自社未導入
1	標準	自社のみ導入済みで一次下請予定企業の中に未導入企業がいる
2	優良	自社導入済み(下請なし)か、自社及び全一次下請予定企業導入済み

●本評価項目は入札参加者及び一次下請予定企業の導入状況を対象とする。

●一次下請予定企業はオープンブック方式の「工事費内訳書」記載の「下請負人」とする。

●当該工事入札公告日に有効な経営事項審査の評価結果を対象とする。

●政令で定める軽微な建設工事について建設業の許可を受けていない者と下請契約を予定する場合または経営事項審査を受けていない者と下請契約を予定する場合は、「経営事項審査用建設業退職金共済加入・履行証明書」により確認するものとし、技術資料提出期限から過去1年以内の「証明書」を有効とする。

●当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成企業全てを対象とする。

●工事完了時に一次下請企業の導入状況を確認することとし、申告された評価基準の範囲から下回った場合は、工事成績評価点での減点対象とする。ただし、受注者の責によらない事由により、建設業退職金共済制度を導入していない一次下請企業と下請負契約を締結することとなったことを受注者が証明した場合には、この限りではない。(「4 評価内容の担保」参照)

#### ②退職一時金制度・企業年金制度導入の有無

配点	記載内容	評価基準
0	—	自社未導入
2	優良	自社導入済み

●対象となる制度

・退職一時金制度

「労働協約」または「就業規則」に退職手当に関する事項について定めがある場合

中小企業退職金共済制度

特定退職金制度

・企業年金制度

厚生年金基金制度

適格退職年金制度

確定給付年金制度

確定拠出年金制度

●当該工事入札公告日に有効な経営事項審査の評価結果を対象とする。

●当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成企業全てを対象とする。

### ③障害者雇用状況

配点	記載内容	評価基準
0	—	障害者雇用を義務づけられている企業：法定雇用義務未達成 障害者雇用の義務のない企業：雇用障害者数0人
2	優良	障害者雇用を義務づけられている企業：法定雇用義務達成 障害者雇用の義務のない企業：雇用障害者数1人以上

- 本評価項目の適用は「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づくものとする。
- 当該工事入札公告日に有効な宮城県建設工事入札参加登録資格審査の承認結果を対象とする。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社のいずれかの障害者雇用状況を対象とする。

### ④労働条件の明示状況

配点	記載内容	評価基準
0	—	労働者に労働条件を明示していない下請予定企業がある。
2	優良	自社及び全下請予定企業が、それぞれが雇用する労働者に労働条件を明示している。

- 労働基準法第15条の1で規定されている労働条件の労働者への明示状況について、入札参加者及び全下請予定企業の状況を対象とする。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成企業全てを対象とする。
- 本評価項目は入札参加者の自己申告で評価し、実績資料の提出を求めないこととする。
- 労働条件については、以下に示す事項が最低限明示されていることを要する。
  - ・宮城労働局が推奨している、建設労働者モデル労働条件通知に明示されている事項全てとする。（巻末参考資料参照）
  - ・各事項について、就業規則を示し当該労働者に適用する部分を明確にした上で就業規則を交付する方法としている場合は、通知書への具体的記載を要しないが、その明示手法を発注者に示さなければならない。
- 工事施工中及び完了時に発注者が申告状況を確認することとし、労働条件の明示状況に不適切な状況が確認された場合には、工事成績評点での減点対象とする。（「4 評価内容の担保」参照）

## 3. 地域性

### 1) 地域貢献

#### ①当該工事に係る県内企業の活用計画割合

配点	記載内容	評価基準
0	—	契約額に占める県内企業の請負額割合（30%未満）
1	標準	契約額に占める県内企業の請負額割合（30%以上100%未満）
2	優良	契約額に占める県内企業の請負額割合（100%）

- 当該工事における直接元請企業及び一次下請予定企業のうち、県内企業の割合を、入札額に対応した税抜きのそれぞれの企業の予定工事価格の合計より算出する。
- 県内企業とは、入札公告日に県内に本社がある企業とする。
- 県内企業の活用計画割合は次式により算出する。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独企業の場合  <math display="block">\frac{\sum(\text{県内企業の予定工事価格}) - \text{一次下請予定企業の予定工事価格}}{\text{入札額}} \times 100\%</math> </li> <li>・共同企業体の場合  <math display="block">\left\{ (\text{JVの予定工事価格} - \text{一次下請予定企業の予定価格}) \times \text{JVにおける県内企業の出資比率} + \sum(\text{県内企業(JVを除く)の予定工事価格}) - \text{一次下請予定企業の予定工事価格} \right\} / \text{入札額} \times 100\%</math> </li> </ul> <p>※「<math>\sum(\text{県内企業の予定工事価格}) - \text{一次下請予定企業の予定工事価格}</math>」は全ての企業毎に積上計算する。</p>
---

- 本評価項目は入札参加者の自己申告で評価し、実績資料の提出を求めないこととする。ただし、落札候補者の申告が2点（100%県内企業）の場合、同時に提出されているオープンブック方式の「工事費内訳表」により、1次下請企業の所在地を確認し、県外企業が含まれている場合には、最低点（0点）の評価に発注者が修正する。
- 工事完了時に上記の式の入札額を、最終計画額に置き換え県内企業の請負額割合を確認することとし、申告された評価基準の範囲から下回った場合は、工事成績評点での減点対象とする。ただし、受注者の責によらない事由により、県内企業が活用できなくなったことを受注者が証明した場合には、この限りではない。（「4 評価内容の担保」参照）

## ②宮城県または県内の市町村が管理する道路の除融雪業務の実績（過去5年間）

配点	記載内容	評価基準
0.0	－	実績なし
1.0	－	市町村の管理する道路の除融雪業務の実績あり
2.0	優良	県の管理する道路の除融雪業務の実績あり

- 「道路の除融雪業務」とは、宮城県又は県内の市町村の発注業務で、冬期間を通じ出動基準等に基づき、除雪作業、運搬排雪作業、凍結防止剤散布作業、雪道パトロール等を実施する業務とする。
- 当該工事の開札日の属する年度の直前5ヵ年度及び当該工事入札公告日までにおける元請としての契約実績を対象とする。（当該工事の入札公告日までの契約で、契約期間中の業務を含む。）
- 道路管理業務との合併業務の場合、ひとつの契約は「除融雪業務」または3-1)-③の「施設管理業務」のどちらか一方での実績とする。（1契約で2業務の実績とはできない。）
- 単発で工期、区間を定めて発注される除雪、雪庇の除去等を実施する業務は対象外とする。
- 道路除融雪業務を宮城県又は県内の市町村と覚書、協定等の形式で実施している場合も対象とするが、その場合には、実際の業務実績を要する。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社いずれかの実績を申告することができる。

## ③宮城県または県内の市町村の施設管理業務（道路除融雪業務を除く）または宮城県のスマイルサポーターとしての実績（過去5年間）

配点	記載内容	評価基準
0.0	－	実績なし
1.0	－	市町村の施設管理業務の実績あり 又は県のスマイルサポーターとしての実績あり
2.0	優良	県の施設管理業務の実績あり

### （施設管理業務）

- 「施設管理業務」とは、宮城県又は県内の市町村の発注業務で、一定期間を通じ管理者の指示等に基づき、宮城県又は県内の市町村の管理施設の巡視・巡回、除草、伐木、除根、補修、清掃、除融雪（道路除融雪業務を除く）等を実施する業務とする。
- 当該工事の開札日の属する年度の直前5ヵ年度及び当該工事入札公告日までにおける元請としての契約実績を対象とする。（当該工事の入札公告日までの契約で、契約期間中の業務を含む。）
- 道路除融雪業務との合併業務の場合、ひとつの契約は本評価項目「施設管理業務」または3-1)-②の「除融雪業務」のどちらか一方での実績とする。（1契約で2業務の実績とはできない。）
- 単発で工期、区間を定めて発注される除草、補修等を実施する業務は対象外とする。
- 維持管理業務を宮城県又は県内の市町村と覚書、協定等の形式で実施している場合も対象とするが、その場合には、実際の業務実績を要する。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社いずれかの実績を申告することができる。

### （スマイルサポーター）

- 「スマイルサポーター」とは入札参加者（の加入する団体）が県のスマイルサポータ（「スマイルロードサポーター」「スマイルリバーサポーター」「スマイルビーチサポーター」「スマイルボートサポーター」「みやぎふれあいパークサポーター」として認定され、清掃、除草、緑化などの美化活動を行った実績とする。
- 当該工事入札公告日において、スマイルサポーターとして認定の有無を対象とする。
- 企業ぐるみでの活動を対象とするため、社員等が個人的に認定団体に参加しているものは対象外とする。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社いずれかの実績を申告することができる。
- 実績資料（落札候補者のみ提出）は、「スマイルサポーターに関する覚書」「スマイルサポーター・プログラム実施（継続）予定表」「スマイルサポーター構成員名簿」それぞれの写しとする。また、入札参加者の所属する団体がスマイルサポーターとして認定を受けている場合には当該団体に加入していることを証する書類を提出する。

#### ④県内での災害時における地域貢献の実績

##### ・防災協定締結の有無

配点	記載内容	評価基準
0.0	—	防災協定なし
1.0	—	県以外（国、市町村）との防災協定（配備体制含む）あり
2.0	優良	県との防災協定（配備体制含む）あり

- 入札公告日において県、国又は県内の市町村との間との防災活動に関する協定締結の有無を対象とする。
- 県との防災協定は県内全域に拠点等を有し、支援体制を確保できる各種業界団体と締結することを基本とする。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社いずれかの協定を申告することができる。
- 実績資料（落札候補者のみ提出）は防災協定書の写し及び防災活動に対し一定の役割を果たすことを証明する書類（配備体制等が明示されているもの）とする。また、入札参加者の所属する団体が防災協定を締結している場合には当該団体に加入していることを証する書類を提出する。

##### ・実績の有無(過去5年間)

配点	記載内容	評価基準
0.0	—	実績なし
2.0	優良	実績あり

- 災害等発生時における巡回パトロール、応急対策、救援活動等の地域貢献の実績を対象とする。
- 当該工事の開札日の属する年度の直前5か年度及び当該工事入札公告日までにおける、宮城県内での実績を対象とする。
- 契約に基づく対価の支払いを受けたもの又は受ける予定のものは対象としない。（協定に基づく実費弁償を受けているものは対象とする）
- 義援金、募金、援助物資等の金品の提供のみについては対象としない。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社いずれかの実績を申告することができる。
- 実績資料（落札候補者のみ提出）は災害時地域貢献に対しての国、県又は市町村の証明書（公印又は担当職員2名の記名押印）とする。

#### ⑤県内での企業の社会的責任等（CSR）（災害時対応を除く）の実績（過去2年間）

配点	記載内容	評価基準
0.0	—	実績なし
2.0	優良	実績あり

- 企業ぐるみでの地域貢献活動を対象とするため、社員等が個人的に活動したものは対象外とする。
- 当該工事の開札日の属する年度の直前2か年度及び当該工事入札公告日までにおける、宮城県内での実績を対象とする。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社いずれかの実績を申告することができる。
- 寄付金、募金、物資等の金品の提供のみについては対象としない。
- 県の工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等を行い工事成績評定で加点された地域貢献については対象としない。
- 入札参加者は「（参考資料－3）企業の社会的責任等（CSR）の実績説明書（以下「CSR実績説明書」という。）」を提出する。なお、落札者の「CSR実績説明書」は、総合評価結果一覧表とともに公表する。（実績として評価したもののみ）
- 実績資料（落札候補者のみ提出）は、企業として参加したことが確認できる資料の写し（活動に関する覚書、協定書又は活動要領のほか、活動の実施報告書、証明書、感謝状、御礼状又は新聞記事若しくは活動状況写真等）とする。また、入札参加者の加入又は参加する団体として地域貢献活動を行った場合には、入札参加者が当該活動に参加したことを証する書類（主催者の参加証明又は参加者名簿等）を提出する。
- 次ページ「評価対象の例示」参照。

## 2) 震災貢献

### 東日本大震災での対応実績（平成27年度末まで）

配点	記載内容	評価基準
0.0	—	実績なし
2.0	優良	東日本大震災での対応実績あり

- 東日本大震災での県管理施設の応急対策、ガレキ処理等の実績を対象とし、緊急的な概算契約（随意契約）の実績も対象とする。（東日本大震災での応急対策として市町村からの受託で県が実施した実績は対象とするが、県以外との応急対策の契約は対象としない。）
- 実績の適用期限は、平成27年度の入札公告までとする。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社いずれかの実績を申告することができる。
- 実績確認資料（落札候補者のみ提出）は下記のいずれかとする。
  - ・契約資料の写し
  - ・宮城県知事からの東日本大震災への支援に対する感謝状の写し（入札参加者の所属する団体が感謝状を受けた場合には当該団体に加入していることを証する書類も提出する）

## 評価対象の例示(企業の社会的責任等)

	活動内容	提出資料	実績としての数え方
①	企業又は企業の参加する団体が宮城県又は宮城県内の市町村と覚書、協定等を交わし、1年間を通じ一定区間の清掃、除草、緑化作業、除雪作業等を定期的に行う活動 ex.まち美化サポーター(仙台市)	・活動に関する覚書、協定又は活動要領等 ・活動の実施報告書等 ・団体としての活動の場合は、入札参加者が当該活動に参加したことを証明する資料(主催者の参加証明、参加者名簿等)	当該工事の開札日の属する年度の直前2ヶ年度の内、1年度以上の活動があれば実績1回と数える。(2ヶ年度継続していても実績1回とする。開札日の属する年度から開始し実施中のものは実績とはしない。)
②	企業又は企業の参加する団体が、事前に宮城県又は宮城県内の市町村に活動を実施する旨を報告し、了承を得て行った清掃、除草、緑化作業、除雪作業等の活動 ex.広瀬川クリーンキャンペーン、石巻港湾春季秋季一斉清掃	・活動に関する覚書、協定又は活動要領等 ・宮城県又は宮城県内の市町村の証明書、感謝状、御礼状又は新聞記事若しくは活動状況写真等 ・団体としての活動の場合は、入札参加者が当該活動に参加したことを証明する資料(主催者の参加証明、参加者名簿等)	当該工事の開札日の属する年度の直前2ヶ年度及び当該工事入札告示日までに活動があれば1回と数える。(同様の活動をこの期間中複数回行っても1回とする。)
③	事業所ぐるみでの交通安全運動 *交通安全運動は地域貢献としての活動であり、無事故・無違反等による表彰等は対象としない	・活動に関する覚書、協定又は活動要領等 ・区長、町内会長又は学校長等の証明書、感謝状、御礼状又は新聞記事若しくは活動状況写真等 *宮城県安全運転管理者協会、〇〇地区安全運転管理者会、〇〇地区交通安全協会等からの証明書、感謝状、表彰状は対象としない	当該工事の開札日の属する年度の直前2ヶ年度及び当該工事入札告示日までに活動があれば1回と数える。(同様の活動をこの期間中複数回行っても1回とする。)
④	事業所ぐるみでの献血運動	・(覚書を締結している場合)献血推進活動に関する覚書及び献血推進活動証明書 ・(覚書のない場合)事業所ぐるみでの献血運動(団体献血)に対する日本赤十字社(宮城県赤十字血液センター)の証明書	当該工事の開札日の属する年度の直前2ヶ年度及び当該工事入札告示日までに活動があれば1回と数える。(同様の活動をこの期間中複数回行っても1回とする。)
⑤	土砂災害防止月間における施設点検パトロールへの協力	・砂防ボランティア協会から企業への職員派遣要請書 ・業務を実施した土木事務所名及び市町村名に関する資料	当該工事の開札日の属する年度の直前2ヶ年度及び当該工事入札告示日までに活動があれば1回と数える。(同様の活動をこの期間中複数回行っても1回とする。)
⑥	子ども110番パトロール事業	・社団法人宮城県防犯協会連合会又は〇〇地区防犯協会連合会の証明書又は新聞記事若しくは状況写真等	当該工事の開札日の属する年度の直前2ヶ年度の内、1年度以上の活動があれば実績1回と数える。(2ヶ年度継続していても実績1回とする。開札日の属する年度から開始し実施中のものは実績とはしない。)
⑦	青色回転灯パトロール隊	・社団法人宮城県防犯協会連合会又は〇〇地区防犯協会連合会の証明書又は新聞記事若しくは状況写真等	当該工事の開札日の属する年度の直前2ヶ年度の内、1年度以上の活動があれば実績1回と数える。(2ヶ年度継続していても実績1回とする。開札日の属する年度から開始し、実施中のものは実績とはしない。)
⑧	中学生、高校生等の職場体験学習の受け入れ	・実施要領等 ・学校長の証明書、感謝状、御礼状又は新聞記事若しくは活動状況写真等	当該工事の開札日の属する年度の、直前2ヶ年度及び当該工事入札告示日までの実績1回と数える。(同様の活動をこの期間中複数回行っても1回とする。)
⑨	宮城県または宮城県内の市町村、地区や町内会が主催で行ったイベント等の活動協力 *寄付金、募金、物資等の金品の提供のみは対象としない	・実施要領等 ・宮城県、宮城県内の市町村、区長又は町内会長の証明書、感謝状、御礼状又は新聞記事若しくは活動状況写真等	当該工事の開札日の属する年度の、直前2ヶ年度及び当該工事入札告示日までの実績1回と数える。(同様の活動をこの期間中複数回行っても1回とする。)

## 4. 施工計画等（簡易型（施工計画型）・標準型（施工計画型））

### ①施工の手順（簡易型（施工計画型）・標準型（施工計画型））一般土木のみ

配点	記載内容	各評価の視点の評価基準
-1	不適切	記載内容が不適切又は記載がない
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	記載内容が適切である
2	優	記載内容が適切であり、重要な事項が記載されている

- 課題は「工程管理に関する技術的所見」とする。
- 記載内容を補足するため、工程表を作成することとする。
- 工程表の各工程に要する日数は参考値として、施工の手順を評価の対象とする。
- 評価の視点は5項目であり、各評価の視点の配点合計を得点とする。
- 当該評価項目の得点の満点は(5評価の視点×2点=)10点とする。

### ②品質管理の頻度・方法（簡易型（施工計画型）・標準型（施工計画型））

配点	記載内容	各評価の視点の評価基準
-1	不適切	記載内容が不適切又は記載がない
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	記載内容が適切である
2	優	記載内容が適切であり、重要な事項が記載されている

- 工事毎に課題を設定する。
- 評価の視点は5項目であり、各評価の視点の配点合計を得点とする。
- 当該評価項目の得点の満点は(5評価の視点×2点=)10点とする。

### ③施工上の課題に対する技術的所見（簡易型（施工計画型）・標準型（施工計画型））

配点	記載内容	各評価の視点の評価基準
-1	不適切	記載内容が不適切又は記載がない
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	記載内容が適切である
2	優	記載内容が適切であり、重要な事項が記載されている

- 工事毎に課題を設定する。
- 評価の視点は5項目であり、各評価の視点の配点合計を得点とする。
- 当該評価項目の得点の満点は(5評価の視点×2点=)10点とする。

## 5. 技術提案等（標準型（技術提案型））

### 1) 配置技術者の能力（ヒアリング結果）

#### ①技術者の専門能力（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	各評価の視点の評価基準
-1	不適切	実績として上げた工事の担当分野において、工事管理を行ったことに疑問が持たれる回答である。
0	可	実績として上げた工事の担当分野において、工事管理を行ったことは確認できるが、回答に不足する部分がある。
1	良	実績として上げた工事の担当分野において、工事管理を適切に行ったことが確認できる。
2	優	実績として上げた工事の担当分野において、工事管理に中心的・主体的に参画し、創意工夫等の積極的な取組を行ったことが確認できる。

#### ②当該工事の理解度・取り組み姿勢（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	当該工事について誤った理解をしている
0	可	当該工事についての理解に不足する部分がある
1	良	当該工事について適切に理解している
2	優	当該工事について適切に理解した上で、施工上の提案等積極的な取組姿勢が見られる。

### ③技術者のコミュニケーション能力（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
0	可	その他
2	優	質問に対する応答が明快かつ迅速である

## 2) 施工上配慮すべき事項

### ①工程管理（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	工程管理が適切であり、工夫が見られる
2	優	工程管理が適切であり、工程上重要な項目が記載され、優位な工夫が見られる

### ②品質管理（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	品質の確認方法、管理方法が現地条件を踏まえ適切であり、工夫が見られる
2	優	品質の確認方法、管理方法が現地条件を踏まえ適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる

### ③安全管理（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	留意事項が現地条件を踏まえ適切であり、工夫が見られる
2	優	留意事項が現地条件を踏まえ適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる

### ④環境（動植物含む）（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	配慮事項が現地条件を踏まえ適切であり、工夫が見られる
2	優	配慮事項が現地条件を踏まえ適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる

### ⑤その他配慮すべき事項（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	配慮事項が現地条件を踏まえ適切であり、工夫が見られる
2	優	配慮事項が現地条件を踏まえ適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる

### 3) 技術提案

#### ①工事目的物の品質向上策（性能）（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	構造形式や施工条件を踏まえた品質向上策である
2	優	構造形式や施工条件を十分に踏まえ、解析に基づいた品質向上策であり、重要な事項が記載され優位な工夫が見られる

#### ②工事目的物の長寿命化（耐久性）（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	構造形式や施工条件を踏まえた長寿命化策であり、工夫が見られる。
2	優	構造形式や施工条件を踏まえ、解析に基づいた長寿命化策であり、重要な事項が記載され優位な工夫が見られる

#### ③工事に伴う公害防止のための施工方法（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	現地の環境条件（地形、地質、環境、地域特性）を踏まえて適切である
2	優	現地の環境条件（地形、地質、環境、地域特性）を十分に踏まえて適切であり、重要な事項が記載され優位な工夫が見られる

- 建設発生土の仮置き又は保管条件を含む。

#### ④濁水・湧水等の処理方法（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	留意事項が現地条件を踏まえており適切であり、工夫が見られる。
2	優	留意事項が現地条件を踏まえており適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる

#### ⑤リサイクルの推進（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	留意事項が現地条件を踏まえており適切であり、工夫が見られる
2	優	留意事項が現地条件を踏まえており適切であり、重要な項目が記載され優位な工夫が見られる

- 建設副産物の現場内での再利用。
- 間伐材、伐採除根材のリサイクル率

#### ⑥基準値に対する環境負荷軽減対策（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
失格	—	全く記載なし

- 騒音、振動、濁度対策等。
- 工事毎に施工騒音（工事排水のSS値等）について、基準値より〇〇dB低減（〇〇mg/L低減）ごとに〇〇点を加点等の基準を設定。

### ⑦工期短縮方法（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
失格	—	全く記載なし

- 各工事毎に契約工期より、〇〇日間短縮させるごとに〇〇点を加点等の基準を設定。

### ⑧交通対策（交通規制の短縮日数）（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
失格	—	全く記載なし

- 各工事毎に発注規制日数より、〇〇日間短縮させるごとに〇〇点を加点等の基準を設定。

### ⑨その他の技術提案（標準型（技術提案型））

配点	記載内容	評価基準
-1	不適切	不適切な記載
0	可	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載
1	良	技術提案が適切であり、工夫が見られる
2	優	技術提案が適切であり、重要な事項が記載され優位な工夫が見られる

- 各工事毎に設定する技術提案内容に応じて、評価基準を設定する。

## 6. 災害時対応の実績（災害復旧工事に用）

### ①当該災害復旧工事箇所での災害発生時、県に連絡の上、自主的に応急対応した実績の有無

配点	記載内容	評価基準
0	—	実績なし
2	優良	実績あり

- 当該災害復旧工事箇所の区間内における宮城県管理の施設を対象とする。
- 県からの要請による応急対応は対象としない。
- 契約に基づく対価の支払いを受けたもの又は受ける予定のものは対象としない。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社いずれかの実績を申告することができる。
- 入札参加者は「(参考資料-4)災害時対応の実績説明資料」に必要事項を記載し提出する。
- 実績確認資料(落札候補者のみ提出)は下記のとおりとする。
  - ・実績説明資料(位置図、写真等)または管理者の証明書

### ②当該災害復旧工事箇所の応急工事実績の有無

配点	記載内容	評価基準
0	—	実績なし
2	優良	実績あり

- 当該災害復旧工事箇所の全区間または一部区間において、元請としての応急工事の契約実績を対象とする。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社いずれかの実績を申告することができる。
- 応急工事の発注者は国、宮城県、市町村を対象とする。
- 確認資料(落札候補者のみ提出)は下記のとおりとする。
  - ・応急工事の契約書の写し

### ③災害時の配備体制及び訓練実施の有無

配点	記載内容	評価基準
0	—	実績なし
2	優良	実績あり

- 配備訓練の実績は当該工事の開札日の属する年度の直前1年度、及び当該工事入札公告日までの宮城県内での実績を対象とする。
- 当該工事に共同企業体として入札参加する場合には、構成員各社いずれかの実績を申告することができる。
- 入札参加者は「(参考資料-5)災害時対応の実績説明資料」に必要事項を記載し提出する。
- 確認資料(落札候補者のみ提出)は下記のとおりとする。
  - ・配備体制図または配備要領及び訓練実績を説明する資料(訓練実施状況写真等)

## 7. 地域性（2）（県内産資材活用評価用）

### ①県内産資材の活用計画割合

配点	記載内容	評価基準
0	—	100%未満
2	優良	100%

- 資材とは、個別工事毎に指定する。（（例）生コン、アスファルト合材等）
- 県内産とは、宮城県内の工場で生産された資材とする。
- 活用計画割合とは、当該工事における使用数量に対する県内産の使用数量の割合とする。
- 本評価項目は入札参加者の自己申告で評価することとし、実績資料の提出を求めないこととする。
- 工事完了時に発注者が申告状況を確認することとし、申告された評価基準の範囲から下回った場合は、工事成績評定点評定での減点対象とする。ただし、受注者の責によらない事由により、県内産資材の使用が不可能となったことを受注者が証明した場合には、この限りではない。（「4 評価内容の担保」参照）

## 8. 不誠実な行為の有無（減点項目）

### ①不誠実な行為（過去3ヶ月）の有無

配点	記載内容	評価基準
-2	著しく劣る	文書での改善指示複数回目（工事成績の減点措置複数件）
-0.5	劣る	文書での改善指示1回目（工事成績の減点措置1件）
0	標準	なし

- 入札参加者は入札公告日を含む直前3ヶ月間において、不誠実な行為がある場合に自己申告する。
- 対象となる要件は以下のとおり。
  - ①宮城県建設工事入札参加登録業者等指名停止要領第9条による書面での警告措置がなされた場合。
  - ②宮城県の別工事で総合評価技術資料に虚偽の申告等があり、入札が無効となった場合。
  - ③県工事成績調査書作成要領・工事成績調査書の考査項目別採点運用表の評価項目で規定された以下の事項について監督職員からの文書による改善指示が行われた場合

#### （改善指示事項）

- ・施工体制の不備
- ・配置技術者の不備
- ・設計図書との不適箇所の改造請求
- ・契約図書に基づく施工上の義務に対する改善請求
- ・請負者の責による工程管理の不備
- ・安全対策に関する現場管理又は防災体制が不適切
- ・関係法令に違反する恐れがある場合
- ・出来型管理が不備である場合
- ・品質管理が不備である場合 等

- 1回目の通知等の後3ヶ月以内に複数回目の通知等が出された場合は、最終の通知等の日を含む3ヶ月間を複数回目の措置の対象期間とする。
- 公告日の翌日以降発札者の決定までの間に、上記で規定する不誠実な行為が確認された場合は、発注者が評価時に減点措置を講じるものとする。

### 別紙3 価格以外の評価項目における提出資料・確認方法

評価の視点	評価項目	実績資料(落札候補者のみ)	確認方法(落札候補者のみ)
企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	【2500万円以上の工事実績の場合】 ・竣工時工事カルテ(CORINS)受領の写し 【2500万円以下の工事実績の場合】 ・実績が確認できる契約図書の写し 【JVとしての工事実績の場合】 ・協定書	・左記資料により確認
	工事成績評定(過去5年間の平均点)	・資料不要	・注1)により確認 ※契約課HP>競争入札参加資格登録関係一登録承認者名簿(建設工事)>建設工事競争入札参加資格登録承認者名簿
	優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	【宮城県優良建設工事施工業者表彰の場合】 ・資料不要  【東北地方整備局、東北農政局表彰の場合】 ・表彰状の写し ・表彰された業種が確認できる契約図書の写し 【JVとしての表彰実績の場合】 ・協定書	【宮城県優良建設工事施工業者表彰の場合】 ・注2)により確認 ※みやぎ行政イントラネット>契約課一建設工事入札参加登録業者情報>宮城県優良建設工事施工業者表彰(Excel)  【東北地方整備局、東北農政局表彰の場合】 ・左記資料により確認  【JVとしての経験の場合】 ・左記資料により確認
	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	・資料不要	・注2)により確認 ※みやぎ行政イントラネット>契約課一建設工事入札参加登録業者情報>建設工事・建設関連業務入札参加登録業者データ(Excel)
技術力	同種工事の経験(過去10年間)	【2500万円以上の工事実績】 ・竣工時工事カルテ(CORINS)受領の写し 【2500万円未満の工事実績】 ・実績が確認できる契約図書の写し 【現場代理人としての工事実績の場合】 ・実績が確認できる契約図書の写し 【JVとしての工事実績の場合】 ・協定書	・左記資料により確認
	工事成績評定実績(過去2年間の最高評点)	【宮城県発注工事の場合】 ・2000万円以上の工事:資料不要 ・2000万円未満の工事:工事成績審査結果通知書の写し及び同種工事の経験を確認する資料と同じ  【東北地方整備局、東北農政局発注工事の場合】 ・工事成績審査結果通知書の写し及び同種工事の経験を確認する資料と同じ 【JVとしての工事実績の場合】 ・協定書	【宮城県発注工事の場合】 ・注3)により確認または左記資料により確認 ※みやぎ行政イントラネット>検査課一県工事検査関係規定等>工事成績集計表  【東北地方整備局、東北農政局発注工事の場合】 ・左記資料により確認  【JVとしての工事実績の場合】 ・左記資料により確認
	宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)	【宮城県建設工事事故防止優良者表彰の場合】 ・資料不要  【東北地方整備局優良企業(現場代理人)表彰の場合】 (現場代理人としての受賞) ・表彰状の写し (監理)主任技術者としての実績 ・上記に加え、同種工事の経験を確認する資料と同じ 【JVとしての表彰実績の場合】 ・協定書	【宮城県建設工事事故防止優良者表彰の場合】 (現場代理人としての受賞の場合) ・注2)により確認 ※みやぎ行政イントラネット>契約課一建設工事入札参加登録業者情報>宮城県建設工事事故防止優良者表彰 (主任技術者としての受賞の場合) ・上記に加え、注3)により確認 ※みやぎ行政イントラネット>検査課一県工事検査関係規定等>工事成績集計表  【東北地方整備局優良企業(現場代理人)表彰の場合】 ・左記資料により確認  【JVとしての表彰実績の場合】 ・左記資料により確認
	継続教育(CPD)の取組状況	・継続教育の証明書の写し	・左記資料により確認
社会性 労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	・資料不要(CIICへの登録が未了の場合には「経営規模等評価結果通知書」の写し)  【一次下請予定企業の中に経営事項審査を受けていない者がいる場合】 ・当企業の「経営事項審査用建設業退職金共済加入・履行証明書」	・注4)により確認または左記資料により確認 ※財団法人建設業情報管理センター(CIIC)HP>経営事項審査結果の公表  【一次下請予定企業の中に経営事項審査を受けていない者がいる場合】 ・左記資料により確認
	退職一時金・企業年金制度導入の有無	・資料不要(CIICへの登録が未了の場合には「経営規模等評価結果通知書」の写し)	・注4)により確認または左記資料により確認 ※財団法人建設業情報管理センター(CIIC)HP>経営事項審査結果の公表
	障害者雇用状況	・資料不要	・注2)により確認 ※みやぎ行政イントラネット>契約課一建設工事入札参加登録業者情報>建設工事・建設関連業務入札参加登録業者データ(Excel) * データの見方(障害者雇用)参照
	労働条件の明示状況	・資料不要	・入札者の申告点のままとする。 * 工事施工中、完成時に確認し不適切な状況が確認された場合には、工事成績評点での減点対象とする。

評価の視点	評価項目	実績資料(落札候補者のみ)	確認方法(落札候補者のみ)
地域性	県内企業の活用計画	・資料不要	・工事費内訳表により、一次下請予定企業の所在地確認 * 工事完成時で確認し、申告された評価基準の範囲から下回った場合は、工事成績評点での減点対象とする。
	宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	・契約書写し 【覚書、協定等による業務の場合】 ・覚書、協定等の写し及び業務実績を証明する契約書等の写し	・左記資料の確認
	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績または宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	○維持管理業務 ・契約書写し 【覚書、協定等による業務の場合】 ・覚書、協定等の写し及び業務実績を証明する契約書等の写し ○スマイルサポーター ・スマイルサポーターに関する覚書 ・スマイルサポータープログラム実施(継続)予定表 ・スマイルサポーター構成員名簿 【入札参加者の所属する団体がスマイルサポーターとして認定を受けている場合】 ・当該団体に加入していることを証する書類	・左記資料の確認
	県内での災害時における地域貢献の実績(過去5年間)	○防災協定の有無 ・防災協定書の写し ・防災活動に対し一定の役割を果たすことを証明する書類(配備体制図又は配備要領等) ○実績の有無 ・災害時地域貢献についての国、県又は県内の市町村の証明書(公印又は担当職員2名の記名押印)	・左記資料の確認
	県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(災害時対応を除く)(過去2年間)	・企業として参加したことが確認できる資料の写し(活動に関する覚書、協定書又は活動要領のほか、活動の実施報告書、証明書、感謝状、御礼状又は新聞記事若しくは活動状況写真等) 【入札参加者の加入又は参加する団体としての活動の場合】 ・上に加え、入札参加者が当該活動に参加したことを証する書類(主催者の参加証明書又は参加者名簿など) * 別紙2の当該評価項目記載箇所の「評価対象の例示」参照	・左記資料の確認
震災貢献	東日本大震災の対応実績(平成27年度末まで)	○下記のいずれかの資料 ・契約書写し ・宮城県知事からの東日本大震災への支援に対する感謝状の写し(団体が感謝状を受けた場合は当該団体に加入していることを証する書類)	・左記資料の確認
施工計画等	施工の手順(工程表)	・資料不要	・指定様式への記載の確認
	品質管理の頻度・方法	・資料不要	・指定様式への記載の確認
	施工上の課題に対する技術的所見	・資料不要	・指定様式への記載の確認
技術提案等	配置技術者の能力(ヒアリング評価)	—	・全入札者(配置技術者)のヒアリング
	施工上配慮すべき事項	・資料不要	・指定様式への記載の確認
	技術提案	・資料不要	・指定様式への記載の確認
災害対応の実績	当該箇所災害発生時、県に連絡の上、自主的に応急対応した実績の有無	・実績説明資料(位置図、写真等)または管理者の証明書	・左記資料の確認
	当該災害復旧工事箇所の応急工事実績の有無	・応急工事の契約書の写し	・左記資料の確認
	災害時の配備体制及び訓練実施の有無	・配備体制図または配備要領 ・訓練実績説明資料(写真等)	・左記資料の確認
地域性(2)	県内産資材活用計画割合	・資料不要	・入札者の申告点のままとする。 * 工事完成時で確認し、申告された評価基準の範囲から下回った場合は、工事成績評点での減点対象とする。
減点	不誠実な行為の有無	・資料不要	・注5)により確認 ※宮城県共通基盤システム>電子会議室>企業評価(不誠実な行為)データベース

注1)建設工事競争入札参加資格登録承認者名簿(契約課HP)

注2)建設工事入札参加登録業者情報(契約課イントラ)

注3)工事成績集計表(検査課イントラ)

注4)財団法人建設情報管理センター(CIIC)HP

注5)宮城県共通基盤システム>電子会議室>企業評価(不誠実な行為)データベース

※イントラ等の更新状況により、資料不要とあるものについても、資料の提出を求める場合があります。

## 3-2 総合評価技術資料作成要領

### 1 入札参加時

入札参加者は「宮城県建設工事等総合評価支援システム」（以下「システム」という。）により提出資料を作成し提出するものとする。

提出資料は、『総合評価技術資料』と『参考資料』からなる。

『総合評価技術資料』とは、簡易型については「様式-簡1~2」、標準型については「様式-標1~2」とする。

『参考資料』とは、「参考資料1~5」とし、入札参加時において、入札参加者が『総合評価技術資料』を作成する際の取りまとめ資料として活用する。

『総合評価技術資料』のうち「様式-簡2」及び「様式-標-2」の記載は、当該工事に配置する技術者の責任において作成することが必要である。

建設工事執行規則取扱要綱第4第3号の規定で配置技術者の追加専任を求められている企業は、『総合評価技術資料』の「様式簡-1」または「様式標-1」について、全ての配置する技術者分を作成し提出するものとする。その際の価格以外の評価点は、最も低い者の評価をもって当該企業の評価点として算定する。全ての配置する技術者に関する資料の提出がない場合は、「配置する技術者の評価」を発注者が0点に修正評価する。また、この場合、「様式-簡2」及び「様式標-2」の記載は各配置技術者が協議の上、一案作成すること。

なお、工場製作等を含む工事で、施工箇所とは別の工場等に他の技術者を配置する場合は、工事費の過半以上を占める工種を担当する技術者について「配置する技術者の評価」の申告を行い、当該技術者が「様式-簡2」「様式-標2」に関する記載を行うこととする。

システムの操作方法は「宮城県建設工事等総合評価支援システム操作マニュアル」によるものとする。

総合評価技術資料の提出方法は宮城県建設工事等競争入札参加心得によるものとする。

記載様式	内容に関する留意事項
1 「様式-簡1」 *簡易型 （実績重視型 ・施工計画型） 「様式-標1」 *標準型 （施工計画型 ・技術提案型）	<b>価格以外の評価項目及び評価基準</b> ○「技術力」「社会性」「地域性」 評価の視点の「技術力」「社会性」「地域性」については、「参考資料-1」及び「参考資料-2」に必要事項を記載し申告内容を取りまとめた上で、各評価項目に対する評価基準値を1つ選択する。 配置技術者の追加専任対象業者は、全ての配置する技術者について本様式をシステム上で作成し提出する。その際、技術力（配置技術者の評価）については、それぞれの技術者の氏名、実績等を記載し提出する。 ○「施工計画等」「技術提案等」 評価の視点の「施工計画等」「技術提案等」については「様式-簡2」「様式標-2」に記載する。 ○「不誠実な行為の有無」 当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。
2 「様式-簡2」 *簡易型 （施工計画型） 「様式-標2」 *標準型 （施行計画型）	○「施工の手順」 ①本工事の実施にあつて、「工程管理に関する技術的所見」について、5つの評価の視点それぞれに関し、当該工事毎の現場条件等を踏まえた具体的内容を記載する。 （箇条書き可） ②発注時の工期の範囲内で、本工事の概略の工程表（準備工から後片付けまで）を作成する。なお、繰り越しが想定される工事で、入札公告に変更後の工期が明示されているものについては、変更後の工期の範囲内で作成する ③工程表は、バーチャートとし、システムで用意されている記入欄に記載する。 ④工期が複数年となる場合は、年度毎に工程を記載する。

記載様式	内容に関する留意事項
<p>2 「様式－簡2」 *簡易型 (施工計画型) 「様式－標2」 *標準型 (施工計画型)</p>	<p>○「品質管理の頻度・方法」 本工事の実施にあたって、対象欄に記載されている課題について5つの評価の視点それぞれに関し、具体的な品質管理の頻度・方法を記載する。なお、対象について2つの項目が求められている場合は、2つの項目それぞれについて記載する。(箇条書き可)</p> <p>○施工上の課題に対する技術的所見 本工事の実施にあたって、対象欄に記載されている「施工上の課題」について、5つの評価の視点それぞれに関し、具体的な技術的所見を記載する。なお、対象について2つの項目が求められている場合は、2つの項目それぞれについて記載する。(箇条書き可)</p>
<p>3 「様式－標2」 *標準型 (技術提案型)</p>	<p>1 配置技術者の能力 ヒアリングは開札後の数値的判断基準の審査後（入札価格が調査基準価格を下回る場合）に、適格者全てに対して発注者が日時を連絡した上で実施する。 ヒアリング対象者は、配置予定の技術者とする。（配置技術者の追加専任対象業者の場合は、評価点の低い方の技術者を発注者が指定する。）</p> <p>○技術者の専門能力 実績としてあげた工事の担当分野に中心的・主体的に参画し、創意工夫等の積極的な取り組みが期待できるかどうか等についてヒアリング評価を行う。</p> <p>○当該工事の理解度・取り組み姿勢 当該工種について適切に理解した上で、施工上の提案等積極的な取り組み姿勢が見られるかどうか等についてヒアリング評価を行う。</p> <p>○技術者のコミュニケーション能力 質問に対する応答が明快かつ迅速であるかどうか等についてヒアリング評価を行う。</p> <p>2 施工上配慮すべき事項</p> <p>○工程管理 当該工事について適切な工程管理の方法、工程上重要な項目等について記載する。</p> <p>○品質管理 当該工事における適切な品質の確認方法、現地条件を踏まえた管理方法等について、重要な項目等について記載する。</p> <p>○安全管理 ダンプトラック等運行計画、交通誘導員・保安要員等の配置計画、労働安全衛生法上の留意事項、作業主任者の配置計画等、当該工事において適切な安全管理を行うために、現地条件を踏まえた留意事項や重要な項目等を記載する。</p> <p>○環境対策（動植物含む）等 当該工事において、適切な環境対策を行うために、環境との調和、舗装構造提案による走行騒音値、工事排水のSS値、施工騒音の低減値等、現地条件を踏まえた留意事項や重要な項目等を記載する。</p> <p>○その他配慮すべき事項 その他、発注者の指定した配慮すべき事項等を記載する。</p>

記載様式	内容に関する留意事項
<p>3「様式－標2」 *標準型 (技術提案型)</p>	<p>3 技術提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○工事目的物の品質向上策（性能） 構造形式や施工条件を十分に踏まえ解析に基づいた品質向上策や、優位な工夫等の技術提案を記載する。</li> <li>○工事目的物の長寿命化（耐久性） 構造形式や施工条件を十分に踏まえ解析に基づいた長寿命化策や、優位な工夫等の技術提案を記載する。</li> <li>○工事に伴う公害防止のための施工方法（建設発生土の仮置きまたは保管条件を含む） 現地の環境条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえた適切で優位な工夫等の技術提案を記載する。</li> <li>○濁水・湧水等の処理方法 現地条件を踏まえた適切な留意事項及び重要な項目等を記載する。</li> <li>○リサイクルの推進 建設副産物の現場内での再利用計画、間伐材・伐採除根材のリサイクル率等、現地条件を踏まえた適切なリサイクルの推進について、留意事項や重要な項目を記載する。</li> <li>○基準値に対する環境負荷軽減対策 当該工事における騒音、振動、濁度対策として、施工騒音、振動（工事排水のSS値等）について、基準値より〇〇dB低減（〇〇mg/L低減）を行う等の環境負荷軽減対策について記載する。 例）騒音85dbから1db低減ごとに0.5点（満点5点）等</li> <li>○工期短縮方法 契約工期より、〇〇日間短縮させる等の工期短縮方法について記載する。</li> <li>○交通対策（交通規制の短縮日数） 発注規制日数より、〇〇日間短縮させる等の交通規制短縮について記載する。</li> <li>○その他技術的所見 その他の技術的所見について提案を記載する。</li> </ul>

記載事項	内容に関する留意事項
<p>4「参考資料-1」 *共通</p>	<p><b>1 企業評価</b></p> <p>○企業の同種工事の経験（過去10年間）</p> <p>①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価－別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。</p> <p>②同種工事の具体的な条件については、「参考資料-1」の「同種工事欄の条件」欄に記載しているものとする。</p> <p>③記載要領</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事名称：受注工事名とする。</li> <li>・発注機関：具体的に記載する。（例：宮城県〇〇事務所）</li> <li>・施工場所：具体的に記載する。（〇〇県〇〇市〇〇地区）</li> <li>・契約金額：工事価格（円単位）を記載する。</li> <li>・工期：契約の翌日から工事完了までの年月日を記入する。</li> <li>・受注形態：単体、共同企業体の別を記載する。共同企業体の場合は出資比率も記載する。</li> <li>・工事概要：上記工事の工事概要を記載する。</li> </ul> <p>○企業の工事成績評定（過去5年間の平均）</p> <p>①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価－別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。</p> <p>②宮城県建設工事競争入札参加資格登録者名簿の点数を記載する。</p> <p>○企業の優良建設工事施工業者表彰等（過去5年間）</p> <p>①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価－別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。</p> <p>②表彰実績とすることのできる工種の区分は、「参考資料-1」の「実績とする表彰の工種」欄に記載しているものとする。</p> <p>③表彰を受賞した表彰機関名、表彰年度、表彰対象工事名を記載する。複数の実績がある場合は、2件分を記載する。</p> <p>○ISO9001・14001・みちのく環境管理規格（みちのくEMS）認証取得状況</p> <p>①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価－別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。</p> <p>②有無を選択する。</p> <p><b>2 労働福祉</b></p> <p>○建設業退職金共済制度</p> <p>①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価－別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。</p> <p>②自社及び一次下請予定業者が、「財団法人建設業情報管理センター（CICC）HP&gt;経営事項審査結果の公表」で制度加入「有」となっていることを確認の上、申告する。</p> <p>③自社の加入の有無及び全一次下請予定業者の加入の有無を選択する。</p> <p>○退職一時金・企業年金制度導入の状況</p> <p>①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価－別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。</p> <p>②自社が、「財団法人建設業情報管理センター（CICC）HP&gt;経営事項審査結果の公表」で制度導入「有」となっていることを確認の上、申告する。</p> <p>③導入の有無を選択肢、有の場合には対象制度名を記載する。</p>

記載事項	内容に関する留意事項
<p>4「参考資料-1」 *共通</p>	<p><b>○障害者の雇用状況</b>  ①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。  ②障害者雇用義務の「有・無」を選択する。  ③障害者雇用義務がある場合、法定雇用義務の「有（達成）・有（未達成）」を選択する。  ④障害者雇用義務がない場合、雇用障害者数を記載する。</p> <p><b>○労働条件の明示状況</b>  ①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。  ②自社の労働条件明示状況の有無を選択する。  ③全下請予定企業の労働条件明示状況の有無を選択する。</p> <p><b>3地域貢献</b></p> <p><b>○当該工事に係る県内企業の活用計画割合</b>  ①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。  ②一次下請負契約について予定額を入れて「算出表」により試算する。  ③システムの「算出表」により試算した値と、「様式簡-1」「様式標-1」に申告した値が一致しない場合には申告点で評価する。（「錯誤の判断基準はP13「※評価項目の錯誤及び虚偽の判断基準の例」による）</p> <p><b>○宮城県または県内の市町村が管理する道路の除融雪業務の実績（過去5年間）</b>  ①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。  ②実績の有無、発注者、契約名称、契約年月日並びに施工地（市町村名）を記載する。</p> <p><b>○宮城県または県内市町村の施設管理業務実績（道路除融雪業務を除く）または宮城県のスマイルサポーターとしての実績（過去5年間）</b>  ①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。  （施設管理業務）  ②実績の有無、発注者、契約名称、契約年月日並びに施工地（市町村名）を記載する。  （スマイルサポーター）  ③スマイルサポーターの区分（「スマイルロード」「スマイルリバー」「スマイルビーチ」「スマイルポート」または「みやぎふれあいパークサポーター」）、参加団体名、活動場所（路線（河川・公園・港湾）名、区域）並びに認定年月日を記載する。</p> <p><b>○県内での災害時における地域貢献（過去5年間）</b>  ①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。  （協定の有無）  ②防災協定の有無及び防災協定の名称並びに協定締結者（甲・乙）を記載する。  （実績の有無）  ③実績の有無及び実績内容並びに施工地（市町村名）を記載する。</p>

記載事項	内容に関する留意事項
<p>4「参考資料-1」 *共通</p>	<p>○<b>県内での企業の社会的責任等（CSR）の実績の有無（過去2年間）</b>  ①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。  ②実績の有無を記載する。  ③実績がある場合は、参考資料-3に記載する。</p> <p>○<b>東日本大震災の対応実績の有無（平成27年度末まで）</b>  当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。</p>
<p>5「参考資料-2」 *共通</p>	<p>1 <b>配置する技術者の評価</b></p> <p>○<b>配置する技術者の従事役職・氏名</b>  本工事の配置する技術者の従事役職（監理技術者または主任技術者）と氏名を記載する。</p> <p>○<b>法令による資格・免許</b>  配置する技術者の保有資格を記載する。（複数ある場合は複数記載する）</p> <p>○<b>配置する技術者の同種工事の経験の概要（過去10年間）</b>  ①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。  ②同種工事の具体的な条件については、「参考資料-1」の「同種工事欄の条件」欄に記載しているものとする。  ③記載要領  ・工事名称：受注工事名とする。  ・発注機関名：具体的に記載する。（宮城県〇〇事務所）  ・施工場所：具体的に記載する。（都道府県 市町村 〇〇地内）  ・契約金額：工事価格（円単位）を記載する。  ・従事期間：同種工事の経験として従事した期間の年月日を記載する。  ・従事役職：従事した役職（現場代理人、主任技術者、管理技術者等）の区別を記載する。  ・工事内容：上記工事の工事概要を記載する。  ・CORINS登録の有無：財団法人日本建設総合センター(JACIC)が運用している「工事実績情報サービス(CORINS)」への登録(竣工時)の有無を記載する</p> <p>○ <b>配置する技術者の工事成績評定実績（過去2年間の最高評点）</b>  ①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。  ②工事の成績評定の最高評点及び発注機関名、工事名を記載する。</p> <p>○<b>宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰工事の（監理）主任技術者としての実績（過去5年間）</b>  ①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。  ②表彰機関名、表彰対象工事名、表彰年度及び従事役職を記載する。  ③複数の実績がある場合は、2件分を記載する。なお、同一工事で重複受賞した場合は一方を記載すること。</p>

記載事項	内容に関する留意事項
<p>5「参考資料-2」 *共通</p>	<p><b>○配置する技術者の継続教育（CPD）の取組状況</b></p> <p>①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。</p> <p>②各団体が実施している継続教育の登録の有無及び団体名、取得単位を記載する。</p> <p><b>○申請時における他工事の従事状況等</b></p> <p>本工事の配置する技術者が、申請時点（総合評価技術資料提出時点）で従事している全ての工事の中から、工事完成予定日が最も遅くなる工事の一つ抽出して記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事名称：上記により抽出した工事名称とする。</li> <li>・発注機関名：具体的に記載する。（宮城県〇〇事務所）</li> <li>・工期：契約の翌日から工事完了予定日までの年月日を記載する。</li> <li>・従事役職：従事している役職（現場代理人、主任技術者、監理技術者等）の区別を記載する。"</li> <li>・本工事と重複する場合の対応措置：本工事を落札した際に、抽出した工事と重複する場合は、その対応措置を記載する。 例）（前工事が配置技術者の専任義務がない工事の場合） 「本工事に着手する前の〇月〇日に完成検査を受け、引き渡しの予定であるため、本工事に従事可能である。」</li> <li>・CORINS登録の有無：財団法人日本建設総合センター(JACIC)が運用している「工事実績情報サービス(CORINS)」への登録(竣工時)の有無を記載する</li> </ul>
<p>6「参考資料-3」 *共通</p>	<p><b>○地域貢献の名称</b> 地域貢献の名称を記載する。 例) 〇〇〇クリーンキャンペーン</p> <p><b>○地域貢献の日時</b> 地域貢献を行った年月日、時間帯を記載する。協定、覚書等を締結し定期的に行っている地域貢献の場合には、協定期間を記載する。</p> <p><b>○地域貢献の場所</b> 地域貢献を行った場所（路線（河川）名、市町村名、区間名等）を記載する。</p> <p><b>○地域貢献を行った団体名、代表者</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域貢献を行った団体の名称を記載する。</li> <li>②地域貢献を行った団体の代表者名を記載する。</li> <li>③地域貢献を行った団体または代表者の連絡先（住所、電話番号）を記載する。 *企業単体で行った地域貢献の場合には企業名、企業代表者名、企業の連絡先を記載する。</li> </ol> <p><b>○地域貢献の具体的内容</b> 地域貢献の具体的内容を記載する。</p> <p><b>○実績資料の種別</b> 落札候補者となった時点で提出する準備のある実績資料の種別を記載する。実績資料は「活動に関する覚書、協定書または活動要領のほか、活動の実施報告書、証明書、感謝状、御礼状または新聞記事若しくは活動状況写真等」とする。 例) 覚書、新聞記事</p> <p>※落札者の作成した本資料は総合評価結果一覧表とともに公表する。（実績として評価したもののみ）（8「評価結果の公表」参照）</p>

記載事項	内容に関する留意事項
<p>7「参考資料-4」 *災害復旧工事用</p>	<p>○当該災害復旧工事箇所にて災害発生時、県に連絡の上、自主的に 応急対応した実績の有無</p> <p>①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。</p> <p>②地名は、（自主）応急対応した箇所付近の地先を記載すること。 例）〇〇市〇〇町〇〇地先</p> <p>③施設名は、（自主）応急対応した道路、河川、急傾斜等の具体的な名称を記載すること。 例）一般県道〇〇線、一級河川〇〇川</p> <p>④応急対応時実施時の事前連絡先は、自主的に応急対応する際に事前連絡をした土木事務所等、県(施設管理者)の機関名を記載する。 例）〇〇事務所</p> <p>⑤応急対応の具体的内容 例）通行不能箇所の封鎖、交通誘導、崩土の除去、水防活動時の協力などに関する対応内容及び対応した人数、機械、資材等について具体的に記載すること。</p> <p>⑥当該評価項目について実績を有していない場合は提出を要しない。</p>
<p>8「参考資料-5」 *災害復旧工事用</p>	<p>○災害時の配備体制及び訓練実施の有無</p> <p>①当評価項目の要件等は本手引き「3総合評価落札方式（簡易型・標準型）における審査・評価-別紙2価格以外の評価項目における評価基準」による。</p> <p>②配備訓練の実施内容には、訓練実施事項、参加人数、参加者氏名、使用機材、実施場所等について具体的に記載すること。</p> <p>③当該評価項目について実績を有していない場合は提出を要しない。</p>

## 2 落札候補者となった時

落札候補者となって発注者より提出を求められた場合、記載内容を証明する資料として、実績資料を提出すること。実績資料の詳細は『本手引き3-別紙3「価格以外の評価項目における提出資料・確認方法」』参照すること。

# 別紙1 総合評価技術資料等 様式

(様式一簡1) 簡易型(実績重視型)

## 価格以外の評価項目及び評価基準(一般土木工事用)

評価の視点	評価項目	評価基準値	評価			
			満点	得点	倍率	評点
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	2	0	1	0
		工事成績評定(過去5年間の平均)	4	0	2	0
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	8	0	4	0
	配置する技術者の評価	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	2	0	1	0
		同種工事の経験(過去10年間)	2	0	1	0
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	8	0	4	0
社会性	労働福祉	宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)	8	0	4	0
		継続教育(CPD)の取組状況	2	0	1	0
		建設業退職金共済制度導入の有無	4	0	2	0
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	2	0	1	0
地域性	地域・貢献	障害者雇用状況	8	0	4	0
		労働条件の明示	8	0	4	0
		県内企業の活用計画割合	2	0	1	0
		宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	2	0	1	0
		宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績またはスマイルサポーターの実績(過去5年間)	2	0	1	0
		県内での災害時における地域貢献の実績－協定の有無	4	0	2	0
	震災貢献	東日本大震災での対応実績	2	0	1	0
減点	不誠実な行為の有無	0	0	4	0	

工事番号	満点	評点	持点割合	価格以外の評価点
技術力(企業)	16	0.00	3.00	0.00
技術力(技術者)	20	0.00	5.00	0.00
労働福祉	22	0.00	2.00	0.00
地域・貢献	14	0.00	5.00	0.00
震災貢献	2	0.00	1.00	0.00
中計	74	0.00	16.00	0.00
不誠実な行為の有無	0	0.00	-8.00	0.00
合計				0.00

○実績とする表彰の工種

○同種工事の条件

日以降に、元請けとして完成・引渡しが完了した下記の要件を満たす同種工事の施工経験を有すること。  
(共同企業体の構成員としての経験は、出資比率20%以上の場合のものに限る。)

同種工事:  
同種工事の経験の対象は、国、都道府県又は政令指定都市及び特殊法人等の発注した工事を対象とする。

\*価格以外の評価点=(評点/満点)×持点割合とする。

\*価格以外の評価は、入札参加社の自己申告調書(施工計画等を除く)により行う。

\*落札候補者(総合評点の最高得点者)が決定した段階で、落札候補者のみから確認資料の提出を求める。

ただし、審査状況により複数の応札者に確認資料の提出を求める場合がある。

\*虚偽の申告による応札は、無効とする。

## 価格以外の評価項目及び評価基準(一般土木工事用)

評価の視点		評価項目	評価基準値	評価			
				満点	得点	倍率	評点
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)		2	0	1	0
		工事成績評定(過去5年間の平均)		4	0	2	0
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)		8	0	4	0
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況		2	0	1	0
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)		2	0	1	0
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)		8	0	4	0
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)			8	0	4	0	
		継続教育(CPD)の取組状況		2	0	1	0
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無		4	0	2	0
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無		2	0	1	0
		障害者雇用状況		8	0	4	0
		労働条件の明示		8	0	4	0
地域性	地域・貢献	県内企業の活用計画割合		2	0	1	0
		宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)		2	0	1	0
		宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績またはスマイルサポーターの実績(過去5年間)		2	0	1	0
		県内での災害時における地域貢献の実績－協定の有無		4	0	2	0
		県内での災害時における地域貢献の実績－実績の有無(過去5年間)		2	0	1	0
	県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)		2	0	1	0	
	震災貢献	東日本大震災での対応実績		2	0	1	0
施工計画等	課題1	施工の手順		10	0	1	0
	減点	不誠実な行為の有無		0	0	4	0

工事番号		満点	評点	持点割合	価格以外の評価点
	技術力(企業)	16	0.00	3.00	0.00
	技術力(技術者)	20	0.00	5.00	0.00
	労働福祉	22	0.00	2.00	0.00
	地域・貢献	14	0.00	5.00	0.00
	震災貢献	2	0.00	1.00	0.00
	施工計画等	10	0.00	5.00	0.00
	中計	84	0.00	21.00	0.00
	不誠実な行為の有無	0	0.00	-8.00	0.00
	合計				0.00

○実績とする表彰の工種

○同種工事の条件

日以降に、元請けとして完成・引渡しが完了した下記の要件を満たす同種工事の施工経験を有すること。  
(共同企業体の構成員としての経験は、出資比率20%以上の場合のものに限る。)

同種工事:  
同種工事の経験の対象は、国、都道府県又は政令指定都市及び特殊法人等の発注した工事を対象とする。

○施工計画等における評価項目と課題

項目	課題
施工の手順	工程管理に関する技術的所見

\*価格以外の評価点=(評点/満点)×持点割合とする。

\*価格以外の評価は、入札参加社の自己申告調書(施工計画等を除く)により行う。

\*落札候補者(総合評点の最高得点者)が決定した段階で、落札候補者のみから確認資料の提出を求める。

ただし、審査状況により複数の応募者に確認資料の提出を求める場合がある。

\*虚偽の申告による応札は、無効とする。

## 価格以外の評価項目及び評価基準(一般土木工事用)

評価の視点		評価項目	評価基準値	評価			
				満点	得点	倍率	評点
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)		2	0	1	0
		工事成績評定(過去5年間の平均)		4	0	2	0
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)		8	0	4	0
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況		2	0	1	0
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)		2	0	1	0
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)		8	0	4	0
宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)			8	0	4	0	
		継続教育(CPD)の取組状況		2	0	1	0
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無		4	0	2	0
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無		2	0	1	0
		障害者雇用状況		8	0	4	0
		労働条件の明示		8	0	4	0
地域性	地域・貢献	県内企業の活用計画割合		2	0	1	0
		宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)		2	0	1	0
		宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績またはスマイルサポーターの実績(過去5年間)		2	0	1	0
		県内での災害時における地域貢献の実績－協定の有無		4	0	2	0
		県内での災害時における地域貢献の実績－実績の有無(過去5年間)		2	0	1	0
	県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)		2	0	1	0	
	震災貢献	東日本大震災での対応実績		2	0	1	0
施工計画等	課題1	施工の手順		10	0	1	0
	課題2	品質管理の頻度・方法		10	0	1	0
減点		不誠実な行為の有無		0	0	4	0

工事番号	満点	評点	持点割合	価格以外の評価点
	16	0.00	3.00	0.00
技術力(企業)	20	0.00	5.00	0.00
技術力(技術者)	22	0.00	2.00	0.00
労働福祉	14	0.00	5.00	0.00
地域・貢献	2	0.00	1.00	0.00
震災貢献	20	0.00	15.00	0.00
施工計画等	94	0.00	31.00	0.00
中計	0	0.00	-8.00	0.00
不誠実な行為の有無				0.00
合計				0.00

○実績とする表彰の工種

○同種工事の条件

日以降に、元請けとして完成・引渡し完了した下記の要件を満たす同種工事の施工経験を有すること。  
(共同企業体の構成員としての経験は、出資比率20%以上の場合のものに限る。)

同種工事:  
同種工事の経験の対象は、国、都道府県又は政令指定都市及び特殊法人等の発注した工事を対象とする。

○施工計画等における評価項目と課題

項目	課題
施工の手順	工程管理に関する技術的所見
品質管理の頻度・方法	〇〇について

\*価格以外の評価点=(評点/満点)×持点割合とする。

\*価格以外の評価は、入札参加社の自己申告調書(施工計画等を除く)により行う。

\*落札候補者(総合評点の最高得点者)が決定した段階で、落札候補者のみから確認資料の提出を求める。

ただし、審査状況により複数の応札者に確認資料の提出を求める場合がある。

\*虚偽の申告による応札は、無効とする。





(様式-簡2)							
<b>品質管理の頻度・方法</b>							
<small>※必ず配置技術者本人が作成してください</small> <span style="float: right;">工事名: 0 会社名: 0</span>							
■課題	○○○○○						
具体的な内容							
<div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> <span>0</span> <span>0</span> <span>0</span> <span>0</span> </div>							
評 価 の 視 点					評 価	視点	点数
1	2	3	4	5		1	
品質管理の頻度	資材性状を考慮しているか	現場条件を考慮しているか	管理・確認方法が適切か	工夫が見られるか		2	
優 ○ ( 2点)	優 ○ ( 2点)	優 ○ ( 2点)	優 ○ ( 2点)	優 ○ ( 2点)		3	
良 ○ ( 1点)	良 ○ ( 1点)	良 ○ ( 1点)	良 ○ ( 1点)	良 ○ ( 1点)		4	
可 ○ ( 0点)	可 ○ ( 0点)	可 ○ ( 0点)	可 ○ ( 0点)	可 ○ ( 0点)		5	
不適切 ○ (-1点)	不適切 ○ (-1点)	不適切 ○ (-1点)	不適切 ○ (-1点)	不適切 ○ (-1点)		<b>結果</b>	
<small>注1) 評価の視点に関する事項は、対象品質管理項目の特性に応じた具体的実施内容の記載を評価する。  注2) 「評価の視点」について全ての記載がない場合は失格とする。1項目でも記載がありその他の項目に記載のない場合は記載のない視点を「不適切(-1)」とする。  注3) 「品質管理の頻度」については、対象に記載された項目について計画している、具体的な頻度についての記載を評価する。  注4) 「資材性状」については、対象に記載された項目について、使用する資材の性状を踏まえての、品質管理に当たって考慮すべき事項の記載を評価する。  注5) 「現場条件」については、対象に記載された項目について、現場条件を踏まえての、品質管理に当たって考慮すべき事項の記載を評価する。  注6) 「管理・確認方法が適切か」については、品質管理の手法(ヒストグラム、管理図、工程能力図)の選定及びその理由に関する記載を評価する。  注7) 「工夫が見られるか」については、対象に記載された項目の具体的な管理方法全般における、創意工夫に関する記載がされている場合評価する。  注8) 配置技術者本人が作成すること(配置技術者の追加専任対象業者の場合は、各配置技術者が協議の上、一案作成すること)。</small>							

(様式-簡2)

### 施工上の課題に対する技術的所見

※必ず配置技術者本人が作成してください

工事名: 0  
会社名: 0

■課題	○○○○○
-----	-------

具体的な内容

評 価 の 視 点					評 価	視 点	点 数
1	2	3	4	5			
課題を理解しているか	現場条件を考慮しているか	配慮方法が適切か	確認方法が適切か	工夫が見られるか		1	
優 ○ ( 2点)	優 ○ ( 2点)	優 ○ ( 2点)	優 ○ ( 2点)	優 ○ ( 2点)		2	
良 ○ ( 1点)	良 ○ ( 1点)	良 ○ ( 1点)	良 ○ ( 1点)	良 ○ ( 1点)		3	
可 ○ ( 0点)	可 ○ ( 0点)	可 ○ ( 0点)	可 ○ ( 0点)	可 ○ ( 0点)		4	
不適切 ○ (-1点)	不適切 ○ (-1点)	不適切 ○ (-1点)	不適切 ○ (-1点)	不適切 ○ (-1点)		5	
						結果	

注1) 具体的実施内容の記載を評価対象とする。  
 注2) 「評価の視点」について全ての記載がない場合は失格とする。1項目でも記載がありその他の項目に記載のない場合は記載のない視点を「不適切(-1)」とする。  
 注3) 配置技術者本人が作成すること(配置技術者の追加専任対象業者の場合は、各配置技術者が協議の上、一案作成すること)。

## 価格以外の評価項目及び評価基準(一般土木工事用)

評価の視点	評価項目	評価基準値	評価			
			満点	得点	倍率	評点
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	2	0	1	0
		工事成績評定(過去5年間の平均)	4	0	2	0
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	8	0	4	0
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	2	0	1	0
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去10年間)	2	0	1	0
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	8	0	4	0
社会性	労働福祉	宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)	8	0	4	0
		継続教育(CPD)の取組状況	2	0	1	0
		建設業退職金共済制度導入の有無	4	0	2	0
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	2	0	1	0
地域性	地域・貢献	障害者雇用状況	8	0	4	0
		労働条件の明示	8	0	4	0
		県内企業の活用計画割合	2	0	1	0
	震災貢献	宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績またはスマイルサポーターの実績(過去5年間)	2	0	1	0
県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)		2	0	1	0	
技術提案等		東日本大震災での対応実績	2	0	1	0
		施工上配慮すべき事項(工程管理)	2	0	1	0
		施工上配慮すべき事項(品質管理)	2	0	1	0
減点		施工上配慮すべき事項(安全管理)	2	0	1	0
		不誠実な行為の有無	0	0	4	0

工事番号

工事名

	満点	評点	持点割合	価格以外の評価点
技術力(企業)	16	0.00	3.00	0.00
技術力(技術者)	20	0.00	5.00	0.00
労働福祉	22	0.00	2.00	0.00
地域・貢献	6	0.00	2.00	0.00
震災貢献	2	0.00	1.00	0.00
技術提案等	6	0.00	18.00	0.00
中計	72	0.00	31.00	0.00
不誠実な行為の有無	0	0.00	-8.00	0.00
合計				0.00

○実績とする表彰の工程

○同種工事の条件

日以降に、元請けとして完成・引渡しが完了した下記の要件を満たす同種工事の施工経験を有すること。  
(共同企業体の構成員としての経験は、出資比率20%以上の場合のものに限る。)

同種工事:  
同種工事の経験の対象は、国、都道府県又は政令指定都市及び特殊法人等の発注した工事を対象とする。

○技術提案等における評価項目と課題

項目	課題
施工上配慮すべき事項(工程管理)	〇〇について
施工上配慮すべき事項(品質管理)	〇〇について
施工上配慮すべき事項(安全管理)	〇〇について

\*価格以外の評価点=(評点/満点)×持点割合とする。

\*価格以外の評価は、入札参加社の自己申告調書(施工計画等を除く)により行う。

\*落札候補者(総合評点の最高得点者)が決定した段階で、落札候補者のみから確認資料の提出を求める。

ただし、審査状況により複数の応札者に確認資料の提出を求める場合がある。

\*虚偽の申告による応札は、無効とする。

(様式-標2)

### 配置技術者の能力 [ヒアリング評価]

工事名: 0  
会社名: 0

■ 課題

ヒアリング評価

具体的な内容

・ヒアリング内容(質問事項、配置技術者の回答)等、評価におけるポイントを記載する。(発注者記載欄)

	技術者の専門能力				当該工事の理解度・取り組み姿勢				技術者のコミュニケーション能力		評価	点数	個数
	優(2)	良(1)	可(0)	不適切(-1)	優(2)	良(1)	可(0)	不適切(-1)	優(2)	可(0)		失格	<input type="checkbox"/>
A	<input type="radio"/>	可(0)	0										
B	<input type="radio"/>	良(1)	0										
C	<input type="radio"/>	優(2)	0										
												<b>結果</b>	

評価の体制:最低3人以上の評価者で行う。  
具体的な内容:発注者側の評価者がヒアリングを実施した上で、ヒアリング内容(質問事項、配置技術者の回答)等、評価の際のポイントを記載する。

(様式-標2)

### 施工上配慮すべき事項 [工程管理]

工事名： 0  
会社名： 0

■ 課題

○○○○○

具体的な内容

1. 提案概要

2. 施工方法

0

評 価 の 視 点				評 価	点 数	評 価
工程管理が適切であり、工程上重要な項目が記載され優れた工夫が見られる。	工程管理が適切であり、工夫が見られる。	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載。	不適切な記載		失格	<input type="checkbox"/>
					不適切(-1)	
優(2)	良(1)	可(0)	不適切(-1)		可(0)	
○	○	○	○		良(1)	
					優(2)	
				結 果		

注1) 配置技術者本人が作成すること(配置技術者の追加専任対象業者の場合は、各配置技術者の協議の上、一案作成すること。  
注2) 具体的な内容の記載にあたっては「必要に応じて…」, 「状況に応じて…」等の曖昧な表現は避けること。

(様式-標2)

### 技術提案【工事目的物の品質向上策（性能）】

工事名： 0  
会社名： 0

■ 課題

○○○○○

具体的な内容

1. 提案概要

2. 施工方法

0

評 価 の 視 点				評 価	点 数	評 価
構造形式や施工条件を十分に踏まえ解析に基づいた品質向上策であり、重要な事項が記載され優位な工夫が見られる。	構造形式や施工条件を踏まえた品質向上策である。	共通仕様書で規定されている内容程度以下の記載。	不適切な記載		失格	<input type="checkbox"/>
優(2)	良(1)	可(0)	不適切(-1)		不適切(-1)	
○	○	○	○		可(0)	
					良(1)	
					優(2)	
				結 果		

注1) 配置技術者本人が作成すること(配置技術者の追加専任対象業者の場合は、各配置技術者の協議の上、一案作成すること。  
注2) 具体的な内容の記載にあたっては「必要に応じて…」、「状況に応じて…」等の曖昧な表現は避けること。

### 企業の同種工事の経験, 労働福祉, 地域貢献の状況

工事名:

会社名:

企業評価	過去の工事実績(過去10年間)	同種工事の条件	以降に、元請けとして完成引渡し完了した下記の要件を満たす同種工事の施工経験を有すること。 (共同企業体の構成員としての経験は、出資比率20%以上の場合のものに限る。)						
		工事名称	無						
		発注機関							
		施工場所							
		契約金額(消費税含む)		円	工事価格	円	消費税込相当額		円
		工期		自: ~ 至:					
		受注形態							
		工事概要							
工事成績評定(過去5年間の実績)		点 宮城県建設工事競争入札参加登録承認者名簿記載点数							
宮城県建設工事 施工業者表彰 等実績の有無 (過去5年間)	実績とする表彰の工種	土木工事							
		1	無	表彰機関	表彰年度	年			
			表彰対象工事名						
		2	無	表彰機関	表彰年度	年			
表彰対象工事名									
ISO9001, 14001認証 みちのくEMS取得状況		ISO9001	無	ISO14001	無	みちのくEMS	無		
労働福祉	建設業退職者共済制度 導入の有無	自社の導入状況		未導入	全一次下請予定企業の 導入状況		未導入		
	退職一時金制度・ 企業年金制度導入の状況	導入状況		未導入	対象制度名				
	障害者雇用状況	法定雇用義務		無	障害者雇用人数		0人		
	労働条件の明示状況	自社の労働者への 労働条件明示		無	全下請予定企業が 雇用する労働者への明示		無		
地域貢献	県内企業の活用計画		a.元請負額 =				円		
			b.県内企業請負執行額 =				円		
			県内企業の活用計画 = b/a*100 =				%		
	宮城県又は県内市町村の 道路融雪業務の実績	1	無	発注者	施行地(市町村名)				
				契約名称	契約年月日				
	宮城県又は県内市町村の 施工管理業務(道路除融雪業務を除く) の実績又はスマイル サポーターとしての実績	施設 管理	1	無	発注者	施行地(市町村名)			
					契約名称	契約年月日			
	県内での災害時における 地域貢献の実績(過去5年間)	スマイル サポーター	2	無	サポーター区分	活動場所			
					参加団体名	認定年月日			
		協定の 有無	1	無	協定の内容	協定者	(甲)		
(乙)									
実績の有無	2	無	実績の内容	市町村名					
県内での企業の社会的責任等 (CSR)の実績(過去2年間)		1	無	※実績有りの場合は参考資料-3に記入する					
震災 貢献	東日本大震災での対応実績		1	無					
その他	その他の事項1								
	その他の事項2								
	その他の事項3								

### 主任(監理)技術者の資格・工事経験

工事名:

会社名:

配置する技術者の 従事役職・氏名		主任Or監理 技術者 技術者 氏名:				
法令による資格・免許		無	(○級土木施工管理技士(取得年)登録番号)			
			(監理技術者講習(取得年、登録番号及び登録会社))			
			(監理技術者講習(受講年、修了番号))			
同種 工事 の 経験 の 概要 (過去10年間)	工事名称	無				
	発注機関名					
	施工場所		(都道府県 市町村○○地内)			
	契約金額(消費税含む)		円	工事価格 消費税相当額	円 円	
	従事期間		~			
	従事役職		(現場代理人、主任技術者、監理技術者)			
	工事内容					
	CORINS登録の有無		(有・無) 無			
工事成績評定実績 (過去2年間の最高点)		点	発注機関名			
			工事名			
宮城県建設工事事務事故防止優 良者表彰等または、同表彰工 事の主任(監理)技術者として の実績(過去5年間)		1 無	表彰機関名		表彰年度	
			表彰対象工事名		従事役職	
		2 無	表彰機関名		表彰年度	
			表彰対象工事名		従事役職	
継続教育(CPD)の取組状況		無	(実地団体名)	(取得単位数)	単位	
申請時 における 他 工事 の 従 事 状 況 等	工事名称	無				
	発注機関名					
	工期		~			
	従事役職		(現場代理人、主任技術者、監理技術者等)			
	本工事と重複する場合の 対応処置					
	CORINS登録の有無		(有・無) 無			

### 企業の社会的責任（CSR）の実績説明書

工事名:

会社名:

地域貢献の名称		
地域貢献の日時(年月日時間帯)		自 平成 年 月 日 時 分 から 至 平成 年 月 日 時 分 まで
地域貢献の場所		
地域貢献 を行った団 体名, 代表 者	団体名	
	代表者名	
	団体・代表者連絡先	
地域貢献の具体的な内容		
実績資料の種別※1 (落札候補者となった時点で提出)		

※1 活動に関する覚書, 協定書又は活動要領のほか, 活動の実施報告書, 証明書, 感謝状, 御礼状又は新聞記事もしくは活動状況写真等

### 災害時対応の実績説明資料

会社名:

0

項 目	当該災害復旧箇所で災害発生時、県に連絡の上、自主的に応急対応した実績の有無
実 績 の 有 無	○有り ○無し
地 名	
施 設 名	
応 急 対 応 日 時	
応急対応実施時の 事前連絡先	
応 急 対 応 内 容 (具体的に)	

当該評価項目について実績を有していない場合は提出を要しない。

### 災害時対応の実績説明資料

会社名：

0

項 目	災害時の配備体制及び訓練実施の有無
実施の有無	<input type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し
配備体制図、要領等	<input type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し
訓練実施日時	
訓練実績を説明する資料	<input type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し
配備訓練の実施内容 (具体的に)	

当該評価項目について実績を有していない場合は提出を要しない。

## 4 評価内容の担保

### 4-1 履行確認

#### 1 工事着手までの手順

##### (1) 入札参加者への周知

総合評価落札方式は、施工業者の技術力を評価項目としていることから、入札時の内容が履行されなかった場合の措置として、業務成績に反映(減点)するものとし、このことを入札公告に明示する。

【入札公告例】

○ 評価内容の履行の確保

- (1) 総合評価技術資料で提出された内容は、その履行が確保できなかった場合、県工事成績調書作成要領（平成15年4月施行）に基づき、工事成績評定において減点する場合もある。

##### (2) 総合評価提案事項確認表

総合評価落札方式で落札した工事の請負業者は、入札時に『総合評価技術資料』の「施工計画等」「技術提案等」に記載した項目について、施工計画書の構成項目別に一覧表を作成し、施工計画書に添付し発注者に提出することとする。

【記載例】

構成項目名	実施項目内容	実施の有無	掲載ページ
4 安全対策	工事車両出入りに常に誘導員を○人つける		
6 主要資材	設計では現場製作の△△を二次製品で対応する		
7 施工方法	掘削工		
	バックホウを2台配置して期間を短縮する		
8 施工管理計画			

#### 2 履行確認の方法

##### (1) 「施工計画等」「技術提案等」の履行確認

総合評価提案事項確認表により、評価の各視点毎に全ての実施項目が履行されたかどうかを確認し、実施が確認されない項目があった場合には履行が確保できなかったものとして評価する。

なお、契約締結後、配置技術者を変更せざるを得ない場合は「施工計画等」「技術提案等」の履行が確保されなかったものとする。（やむを得ない事情で発注者が配置技術者の変更を認めた場合を除く）

## (2) 価格以外の評価項目（「施工計画等」「技術提案等」を除く）の履行確認

「建設業退職金共済制度導入の有無」「労働条件の明示状況」「県内企業の活用計画割合」「県内資材の活用計画割合」について、工事施工中及び完了時に発注者が申告状況を確認し、入札時に申告された評価基準の範囲から下回った場合には、履行が確保できなかったものとして評価する。

なお、契約締結後、配置技術者を変更せざるを得ない場合には、新たな配置技術者について「配置する技術者の評価（同種工事の経験、工事成績評定、宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、継続教育の取組状況）」の再評価を行い、変更前の配置技術者の評価結果を下回る評価項目については履行が確保されなかったものとする。（配置技術者の変更に係るやむを得ない事情の有無を問わず、配置技術者を変更した場合は全て再評価を行う。）

## (3) 設計変更時の取り扱い

(1)、(2) の場合とも、発注者の指示による変更や自然的又は人為的事情による変更等（大規模災害等の不測の事態による下請負人の変更等）で、当初の評価と異なる状態となった場合は、履行されたものとして取り扱うこととする。

## (4) 履行率の計算

価格以外の評価項目について、工事完成時の履行結果に基づき再計算した評点と当初契約時の評点の割合を計算する。

※履行確認計算の例（簡易型（施工計画型））

- ・ 建設業退職金共済制度導入の有無：履行
- ・ 労働条件の明示状況：不履行
- ・ 県内企業の活用計画割合：不履行
- ・ 施工上の課題に対する技術的所見：履行率(4 視点/5 視点)=80%  
の場合の計算例

評価の視点	評価項目	評価基準値	満点	評点	持点割合	価格以外の評価点	履行点数	履行換算点	
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去10年間)	実績あり	2	2	3.00	1.69	2	
		工事成績評定(過去5年間の平均)	70点以上80点未満	4	2			2	
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	実績(1回)	8	4			4	
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	いづれかひとつ	2	1			1	
	小計			16	9			9	
	配置する技術者の評価	同種工事の経験(過去5年間)	実績あり	2	2	5.00	2.63	2	
		工事成績評定(過去2年間の最高評点)	85点以上	8	8			8	
		宮城県建設工事事故防止優良者表彰等、または同表彰等工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)	実績なし	8	0			0	
		継続教育(CPD)の取組状況	証明あり(奨励単位の1/2未満)	2	0.5			0.5	
	小計			20	10.5			10.5	
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	4	4	2.00	1.09	4	
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	未導入	2	0			0	
		障害者雇用状況	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	8	0			0	
		労働条件の明示	自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	8	8			0	
小計			22	12			4		
地域性	地域貢献	県内企業の活用計画割合	県内企業100%	2	2	5.00	4.29	0	
		宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務の実績(過去5年間)	市町村の管理する道路の除融雪業務の実績あり	2	1			1	
		宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績又は宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	県のスマイルサポーターとしての実績あり	2	1			1	
		災害時対応の地域貢献の実績	協定の有無	県との防災協定(配備体制含む)あり	4			4	4
			実績の有無(過去5年間)	実績あり	2			2	2
		企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	実績あり(2回)	2	2			2	
小計			14	12			10		
施工計画等	施工計画等	施工上の課題に対する技術的所見		10	8	5.00	4.00	6.4	
		小計			10	8			6.4
減点	不誠実な行為の有無	標準		0	0	-8	0.00	0	
		小計			0	0			0
合計						13.70	11.45		

履行率=11.45/13.70= 83.58%

## (5) 工事成績の考査方法

考査は、平成18年4月1日に改訂された工事成績調書の枠組みの中で行う。減点方法は、請負者の責により評価内容が履行されなかった場合、採点運用表「7. 法令遵守等」により最大10点とする。

工事成績調書 (中間・既済、完成)

工事番号	工事名	工種	土木・建築・設備・その他	職名又は公所名	着工	平成	年	月	日
検査整理番号	工事場所	契約金額 (最終)	円	現場代理人	完成	平成	年	月	日
大臣知事 (特般一) 第号	施工業者 及び代表者名	(市町村名)		主任技術者	完成	平成	年	月	日
検査項目	監督員・主任監督員	総括監督員	検査員 (中間1・既済1)	検査員 (中間2・既済2)	検査員	(完成)			
氏名(主任監督員)	印	氏名	検査年月日 平成 年 月 日	検査年月日 平成 年 月 日	検査年月日	平成	年	月	日
氏名(監督員)	印	氏名	氏名	氏名	氏名				印

項目	細別	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
1 施工体制	I 施工体制一般	3	1.5	0	-5	-10										
	II 配置技術者	3	1.5	0	-5	-10										
2 施工状況	I 施工管理	3	1.5	0	-5	-10	5	2.5	0	-7.5	-15	5	2.5	0	-7.5	-15
	II 工程管理															
	III 安全対策															
	IV 対外関係															
3 出来形及び出来ばえ	I 出来形	3	1.5	0	-2.5	-5										
	II 品質															
	III 出来ばえ															
4 高度技術	I 高度技術力	※2					10	5	0	-10	-20	10	5	0	-10	-20
5 創意工夫	I 創意工夫	※2					15	7.5	0	-12.5	-25	15	7.5	0	-12.5	-25
6 社会性等	I 地域への貢献等	※3					5	2.5	0	-5		5	2.5	0	-5	
加減点合計	(1+2+3+4+5+6)	※1														
評定点 (6.5±加減点合計)		①														
評定点計		点					点				点	点				点
評定点計		点					点				点	点				点
7 法令遵守等		※6														
総合点		※7														
所見		※4														

評定点計 = 評定点計 - 7. 法令遵守等

総合点 = 評定点計 - 7. 法令遵守等

評定点計 (6.5±加減点合計) = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪ + ⑫ + ⑬ + ⑭ + ⑮ + ⑯ + ⑰ + ⑱ + ⑲ + ⑳ + ㉑ + ㉒ + ㉓ + ㉔ + ㉕ + ㉖ + ㉗ + ㉘ + ㉙ + ㉚ + ㉛ + ㉜ + ㉝ + ㉞ + ㉟ + ㊱ + ㊲ + ㊳ + ㊴ + ㊵ + ㊶ + ㊷ + ㊸ + ㊹ + ㊺ + ㊻ + ㊼ + ㊽ + ㊾ + ㊿ + ㏀ + ㏁ + ㏂ + ㏃ + ㏄ + ㏅ + ㏆ + ㏇ + ㏈ + ㏉ + ㏊ + ㏋ + ㏌ + ㏍ + ㏎ + ㏏ + ㏐ + ㏑ + ㏒ + ㏓ + ㏔ + ㏕ + ㏖ + ㏗ + ㏘ + ㏙ + ㏚ + ㏛ + ㏜ + ㏝ + ㏞ + ㏟ + ㏠ + ㏡ + ㏢ + ㏣ + ㏤ + ㏥ + ㏦ + ㏧ + ㏨ + ㏩ + ㏪ + ㏫ + ㏬ + ㏭ + ㏮ + ㏯ + ㏰ + ㏱ + ㏲ + ㏳ + ㏴ + ㏵ + ㏶ + ㏷ + ㏸ + ㏹ + ㏺ + ㏻ + ㏼ + ㏽ + ㏾ + ㏿ + 㐀 + 㐁 + 㐂 + 㐃 + 㐄 + 㐅 + 㐆 + 㐇 + 㐈 + 㐉 + 㐊 + 㐋 + 㐌 + 㐍 + 㐎 + 㐏 + 㐐 + 㐑 + 㐒 + 㐓 + 㐔 + 㐕 + 㐖 + 㐗 + 㐘 + 㐙 + 㐚 + 㐛 + 㐜 + 㐝 + 㐞 + 㐟 + 㐠 + 㐡 + 㐢 + 㐣 + 㐤 + 㐥 + 㐦 + 㐧 + 㐨 + 㐩 + 㐪 + 㐫 + 㐬 + 㐭 + 㐮 + 㐯 + 㐰 + 㐱 + 㐲 + 㐳 + 㐴 + 㐵 + 㐶 + 㐷 + 㐸 + 㐹 + 㐺 + 㐻 + 㐼 + 㐽 + 㐾 + 㐿 + 㑀 + 㑁 + 㑂 + 㑃 + 㑄 + 㑅 + 㑆 + 㑇 + 㑈 + 㑉 + 㑊 + 㑋 + 㑌 + 㑍 + 㑎 + 㑏 + 㑐 + 㑑 + 㑒 + 㑓 + 㑔 + 㑕 + 㑖 + 㑗 + 㑘 + 㑙 + 㑚 + 㑛 + 㑜 + 㑝 + 㑞 + 㑟 + 㑠 + 㑡 + 㑢 + 㑣 + 㑤 + 㑥 + 㑦 + 㑧 + 㑨 + 㑩 + 㑪 + 㑫 + 㑬 + 㑭 + 㑮 + 㑯 + 㑰 + 㑱 + 㑲 + 㑳 + 㑴 + 㑵 + 㑶 + 㑷 + 㑸 + 㑹 + 㑺 + 㑻 + 㑼 + 㑽 + 㑾 + 㑿 + 㒀 + 㒁 + 㒂 + 㒃 + 㒄 + 㒅 + 㒆 + 㒇 + 㒈 + 㒉 + 㒊 + 㒋 + 㒌 + 㒍 + 㒎 + 㒏 + 㒐 + 㒑 + 㒒 + 㒓 + 㒔 + 㒕 + 㒖 + 㒗 + 㒘 + 㒙 + 㒚 + 㒛 + 㒜 + 㒝 + 㒞 + 㒟 + 㒠 + 㒡 + 㒢 + 㒣 + 㒤 + 㒥 + 㒦 + 㒧 + 㒨 + 㒩 + 㒪 + 㒫 + 㒬 + 㒭 + 㒮 + 㒯 + 㒰 + 㒱 + 㒲 + 㒳 + 㒴 + 㒵 + 㒶 + 㒷 + 㒸 + 㒹 + 㒺 + 㒻 + 㒼 + 㒽 + 㒾 + 㒿 + 㓀 + 㓁 + 㓂 + 㓃 + 㓄 + 㓅 + 㓆 + 㓇 + 㓈 + 㓉 + 㓊 + 㓋 + 㓌 + 㓍 + 㓎 + 㓏 + 㓐 + 㓑 + 㓒 + 㓓 + 㓔 + 㓕 + 㓖 + 㓗 + 㓘 + 㓙 + 㓚 + 㓛 + 㓜 + 㓝 + 㓞 + 㓟 + 㓠 + 㓡 + 㓢 + 㓣 + 㓤 + 㓥 + 㓦 + 㓧 + 㓨 + 㓩 + 㓪 + 㓫 + 㓬 + 㓭 + 㓮 + 㓯 + 㓰 + 㓱 + 㓲 + 㓳 + 㓴 + 㓵 + 㓶 + 㓷 + 㓸 + 㓹 + 㓺 + 㓻 + 㓼 + 㓽 + 㓾 + 㓿 + 㔀 + 㔁 + 㔂 + 㔃 + 㔄 + 㔅 + 㔆 + 㔇 + 㔈 + 㔉 + 㔊 + 㔋 + 㔌 + 㔍 + 㔎 + 㔏 + 㔐 + 㔑 + 㔒 + 㔓 + 㔔 + 㔕 + 㔖 + 㔗 + 㔘 + 㔙 + 㔚 + 㔛 + 㔜 + 㔝 + 㔞 + 㔟 + 㔠 + 㔡 + 㔢 + 㔣 + 㔤 + 㔥 + 㔦 + 㔧 + 㔨 + 㔩 + 㔪 + 㔫 + 㔬 + 㔭 + 㔮 + 㔯 + 㔰 + 㔱 + 㔲 + 㔳 + 㔴 + 㔵 + 㔶 + 㔷 + 㔸 + 㔹 + 㔺 + 㔻 + 㔼 + 㔽 + 㔾 + 㔿 + 㕀 + 㕁 + 㕂 + 㕃 + 㕄 + 㕅 + 㕆 + 㕇 + 㕈 + 㕉 + 㕊 + 㕋 + 㕌 + 㕍 + 㕎 + 㕏 + 㕐 + 㕑 + 㕒 + 㕓 + 㕔 + 㕕 + 㕖 + 㕗 + 㕘 + 㕙 + 㕚 + 㕛 + 㕜 + 㕝 + 㕞 + 㕟 + 㕠 + 㕡 + 㕢 + 㕣 + 㕤 + 㕥 + 㕦 + 㕧 + 㕨 + 㕩 + 㕪 + 㕫 + 㕬 + 㕭 + 㕮 + 㕯 + 㕰 + 㕱 + 㕲 + 㕳 + 㕴 + 㕵 + 㕶 + 㕷 + 㕸 + 㕹 + 㕺 + 㕻 + 㕼 + 㕽 + 㕾 + 㕿 + 㖀 + 㖁 + 㖂 + 㖃 + 㖄 + 㖅 + 㖆 + 㖇 + 㖈 + 㖉 + 㖊 + 㖋 + 㖌 + 㖍 + 㖎 + 㖏 + 㖐 + 㖑 + 㖒 + 㖓 + 㖔 + 㖕 + 㖖 + 㖗 + 㖘 + 㖙 + 㖚 + 㖛 + 㖜 + 㖝 + 㖞 + 㖟 + 㖠 + 㖡 + 㖢 + 㖣 + 㖤 + 㖥 + 㖦 + 㖧 + 㖨 + 㖩 + 㖪 + 㖫 + 㖬 + 㖭 + 㖮 + 㖯 + 㖰 + 㖱 + 㖲 + 㖳 + 㖴 + 㖵 + 㖶 + 㖷 + 㖸 + 㖹 + 㖺 + 㖻 + 㖼 + 㖽 + 㖾 + 㖿 + 㗀 + 㗁 + 㗂 + 㗃 + 㗄 + 㗅 + 㗆 + 㗇 + 㗈 + 㗉 + 㗊 + 㗋 + 㗌 + 㗍 + 㗎 + 㗏 + 㗐 + 㗑 + 㗒 + 㗓 + 㗔 + 㗕 + 㗖 + 㗗 + 㗘 + 㗙 + 㗚 + 㗛 + 㗜 + 㗝 + 㗞 + 㗟 + 㗠 + 㗡 + 㗢 + 㗣 + 㗤 + 㗥 + 㗦 + 㗧 + 㗨 + 㗩 + 㗪 + 㗫 + 㗬 + 㗭 + 㗮 + 㗯 + 㗰 + 㗱 + 㗲 + 㗳 + 㗴 + 㗵 + 㗶 + 㗷 + 㗸 + 㗹 + 㗺 + 㗻 + 㗼 + 㗽 + 㗾 + 㗿 + 㘀 + 㘁 + 㘂 + 㘃 + 㘄 + 㘅 + 㘆 + 㘇 + 㘈 + 㘉 + 㘊 + 㘋 + 㘌 + 㘍 + 㘎 + 㘏 + 㘐 + 㘑 + 㘒 + 㘓 + 㘔 + 㘕 + 㘖 + 㘗 + 㘘 + 㘙 + 㘚 + 㘛 + 㘜 + 㘝 + 㘞 + 㘟 + 㘠 + 㘡 + 㘢 + 㘣 + 㘤 + 㘥 + 㘦 + 㘧 + 㘨 + 㘩 + 㘪 + 㘫 + 㘬 + 㘭 + 㘮 + 㘯 + 㘰 + 㘱 + 㘲 + 㘳 + 㘴 + 㘵 + 㘶 + 㘷 + 㘸 + 㘹 + 㘺 + 㘻 + 㘼 + 㘽 + 㘾 + 㘿 + 㙀 + 㙁 + 㙂 + 㙃 + 㙄 + 㙅 + 㙆 + 㙇 + 㙈 + 㙉 + 㙊 + 㙋 + 㙌 + 㙍 + 㙎 + 㙏 + 㙐 + 㙑 + 㙒 + 㙓 + 㙔 + 㙕 + 㙖 + 㙗 + 㙘 + 㙙 + 㙚 + 㙛 + 㙜 + 㙝 + 㙞 + 㙟 + 㙠 + 㙡 + 㙢 + 㙣 + 㙤 + 㙥 + 㙦 + 㙧 + 㙨 + 㙩 + 㙪 + 㙫 + 㙬 + 㙭 + 㙮 + 㙯 + 㙰 + 㙱 + 㙲 + 㙳 + 㙴 + 㙵 + 㙶 + 㙷 + 㙸 + 㙹 + 㙺 + 㙻 + 㙼 + 㙽 + 㙾 + 㙿 + 㚀 + 㚁 + 㚂 + 㚃 + 㚄 + 㚅 + 㚆 + 㚇 + 㚈 + 㚉 + 㚊 + 㚋 + 㚌 + 㚍 + 㚎 + 㚏 + 㚐 + 㚑 + 㚒 + 㚓 + 㚔 + 㚕 + 㚖 + 㚗 + 㚘 + 㚙 + 㚚 + 㚛 + 㚜 + 㚝 + 㚞 + 㚟 + 㚠 + 㚡 + 㚢 + 㚣 + 㚤 + 㚥 + 㚦 + 㚧 + 㚨 + 㚩 + 㚪 + 㚫 + 㚬 + 㚭 + 㚮 + 㚯 + 㚰 + 㚱 + 㚲 + 㚳 + 㚴 + 㚵 + 㚶 + 㚷 + 㚸 + 㚹 + 㚺 + 㚻 + 㚼 + 㚽 + 㚾 + 㚿 + 㜀 + 㜁 + 㜂 + 㜃 + 㜄 + 㜅 + 㜆 + 㜇 + 㜈 + 㜉 + 㜊 + 㜋 + 㜌 + 㜍 + 㜎 + 㜏 + 㜐 + 㜑 + 㜒 + 㜓 + 㜔 + 㜕 + 㜖 + 㜗 + 㜘 + 㜙 + 㜚 + 㜛 + 㜜 + 㜝 + 㜞 + 㜟 + 㜠 + 㜡 + 㜢 + 㜣 + 㜤 + 㜥 + 㜦 + 㜧 + 㜨 + 㜩 + 㜪 + 㜫 + 㜬 + 㜭 + 㜮 + 㜯 + 㜰 + 㜱 + 㜲 + 㜳 + 㜴 + 㜵 + 㜶 + 㜷 + 㜸 + 㜹 + 㜺 + 㜻 + 㜼 + 㜽 + 㜾 + 㜿 + 㝀 + 㝁 + 㝂 + 㝃 + 㝄 + 㝅 + 㝆 + 㝇 + 㝈 + 㝉 + 㝊 + 㝋 + 㝌 + 㝍 + 㝎 + 㝏 + 㝐 + 㝑 + 㝒 + 㝓 + 㝔 + 㝕 + 㝖 + 㝗 + 㝘 + 㝙 + 㝚 + 㝛 + 㝜 + 㝝 + 㝞 + 㝟 + 㝠 + 㝡 + 㝢 + 㝣 + 㝤 + 㝥 + 㝦 + 㝧 + 㝨 + 㝩 + 㝪 + 㝫 + 㝬 + 㝭 + 㝮 + 㝯 + 㝰 + 㝱 + 㝲 + 㝳 + 㝴 + 㝵 + 㝶 + 㝷 + 㝸 + 㝹 + 㝺 + 㝻 + 㝼 + 㝽 + 㝾 + 㝿 + 㞀 + 㞁 + 㞂 + 㞃 + 㞄 + 㞅 + 㞆 + 㞇 + 㞈 + 㞉 + 㞊 + 㞋 + 㞌 + 㞍 + 㞎 + 㞏 + 㞐 + 㞑 + 㞒 + 㞓 + 㞔 + 㞕 + 㞖 + 㞗 + 㞘 + 㞙 + 㞚 + 㞛 + 㞜 + 㞝 + 㞞 + 㞟 + 㞠 + 㞡 + 㞢 + 㞣 + 㞤 + 㞥 + 㞦 + 㞧 + 㞨 + 㞩 + 㞪 + 㞫 + 㞬 + 㞭 + 㞮 + 㞯 + 㞰 + 㞱 + 㞲 + 㞳 + 㞴 + 㞵 + 㞶 + 㞷 + 㞸 + 㞹 + 㞺 + 㞻 + 㞼 + 㞽 + 㞾 + 㞿 + 㟀 + 㟁 + 㟂 + 㟃 + 㟄 + 㟅 + 㟆 + 㟇 + 㟈 + 㟉 + 㟊 + 㟋 + 㟌 + 㟍 + 㟎 + 㟏 + 㟐 + 㟑 + 㟒 + 㟓 + 㟔 + 㟕 + 㟖 + 㟗 + 㟘 + 㟙 + 㟚 + 㟛 + 㟜 + 㟝 + 㟞 + 㟟 + 㟠 + 㟡 + 㟢 + 㟣 + 㟤 + 㟥 + 㟦 + 㟧 + 㟨 + 㟩 + 㟪 + 㟫 + 㟬 + 㟭 + 㟮 + 㟯 + 㟰 + 㟱 + 㟲 + 㟳 + 㟴 + 㟵 + 㟶 + 㟷 + 㟸 + 㟹 + 㟺 + 㟻 + 㟼 + 㟽 + 㟾 + 㟿 + 㠀 + 㠁 + 㠂 + 㠃 + 㠄 + 㠅 + 㠆 + 㠇 + 㠈 + 㠉 + 㠊 + 㠋 + 㠌 + 㠍 + 㠎 + 㠏 + 㠐 + 㠑 + 㠒 + 㠓 + 㠔 + 㠕 + 㠖 + 㠗 + 㠘 + 㠙 + 㠚 + 㠛 + 㠜 + 㠝 + 㠞 + 㠟 + 㠠 + 㠡 + 㠢 + 㠣 + 㠤 + 㠥 + 㠦 + 㠧 + 㠨 + 㠩 + 㠪 + 㠫 + 㠬 + 㠭 + 㠮 + 㠯 + 㠰 + 㠱 + 㠲 + 㠳 + 㠴 + 㠵 + 㠶 + 㠷 + 㠸 + 㠹 + 㠺 + 㠻 + 㠼 + 㠽 + 㠾 + 㠿 + 㡀 + 㡁 + 㡂 + 㡃 + 㡄 + 㡅 + 㡆 + 㡇 + 㡈 + 㡉 + 㡊 + 㡋 + 㡌 + 㡍 + 㡎 + 㡏 + 㡐 + 㡑 + 㡒 + 㡓 + 㡔 + 㡕 + 㡖 + 㡗 + 㡘 + 㡙 + 㡚 + 㡛 + 㡜 + 㡝 + 㡞 + 㡟 + 㡠 + 㡡 + 㡢 + 㡣 + 㡤 + 㡥 + 㡦 + 㡧 + 㡨 + 㡩 + 㡪 + 㡫 + 㡬 + 㡭 + 㡮 + 㡯 + 㡰 + 㡱 + 㡲 + 㡳 + 㡴 + 㡵 + 㡶 + 㡷 + 㡸 + 㡹 + 㡺 + 㡻 + 㡼 + 㡽 + 㡾 + 㡿 + 㢀 + 㢁 + 㢂 + 㢃 + 㢄 + 㢅 + 㢆 + 㢇 + 㢈 + 㢉 + 㢊 + 㢋 + 㢌 + 㢍 + 㢎 + 㢏 + 㢐 + 㢑 + 㢒 + 㢓 + 㢔 + 㢕 + 㢖 + 㢗 + 㢘 + 㢙 + 㢚 + 㢛 + 㢜 + 㢝 + 㢞 + 㢟 + 㢠 + 㢡 + 㢢 + 㢣 + 㢤 + 㢥 + 㢦 + 㢧 + 㢨 + 㢩 + 㢪 + 㢫 + 㢬 + 㢭 + 㢮 + 㢯 + 㢰 + 㢱 + 㢲 + 㢳 + 㢴 + 㢵 + 㢶 + 㢷 + 㢸 + 㢹 + 㢺 + 㢻 + 㢼 + 㢽 + 㢾 + 㢿 + 㣀 + 㣁 + 㣂 + 㣃 + 㣄 + 㣅 + 㣆 + 㣇 + 㣈 + 㣉 + 㣊 + 㣋 + 㣌 + 㣍 + 㣎 + 㣏 + 㣐 + 㣑 + 㣒 + 㣓 + 㣔 + 㣕 + 㣖 + 㣗 + 㣘 + 㣙 + 㣚 + 㣛 + 㣜 + 㣝 + 㣞 + 㣟 + 㣠 + 㣡 + 㣢 + 㣣 + 㣤 + 㣥 + 㣦 + 㣧 + 㣨 + 㣩 + 㣪 + 㣫 + 㣬 + 㣭 + 㣮 + 㣯 + 㣰 + 㣱 + 㣲 + 㣳 + 㣴 + 㣵 + 㣶 + 㣷 + 㣸 + 㣹 + 㣺 + 㣻 + 㣼 + 㣽 + 㣾 + 㣿 + 㤀 + 㤁 + 㤂 + 㤃 + 㤄 + 㤅 + 㤆 + 㤇 + 㤈 + 㤉 + 㤊 + 㤋 + 㤌 + 㤍 + 㤎 + 㤏 + 㤐 + 㤑 + 㤒 + 㤓 + 㤔 + 㤕 + 㤖 + 㤗 + 㤘 + 㤙 + 㤚 + 㤛 + 㤜 + 㤝 + 㤞 + 㤟 + 㤠 + 㤡 + 㤢 + 㤣 + 㤤 + 㤥 + 㤦 + 㤧 + 㤨 + 㤩 + 㤪 + 㤫 + 㤬 + 㤭 + 㤮 + 㤯 + 㤰 + 㤱 + 㤲 + 㤳 + 㤴 + 㤵 + 㤶 + 㤷 + 㤸 + 㤹 + 㤺 + 㤻 + 㤼 + 㤽 + 㤾 + 㤿 + 㥀 + 㥁 + 㥂 + 㥃 + 㥄 + 㥅 + 㥆 + 㥇 + 㥈 + 㥉 + 㥊 + 㥋 + 㥌 + 㥍 + 㥎 + 㥏 + 㥐 + 㥑 + 㥒 + 㥓 + 㥔 + 㥕 + 㥖 + 㥗 + 㥘 + 㥙 + 㥚 + 㥛 + 㥜 + 㥝 + 㥞 + 㥟 + 㥠 + 㥡 + 㥢 + 㥣 + 㥤 + 㥥 + 㥦 + 㥧 + 㥨 + 㥩 + 㥪 + 㥫 + 㥬 + 㥭 + 㥮 + 㥯 + 㥰 + 㥱 + 㥲 + 㥳 + 㥴 + 㥵 + 㥶 + 㥷 + 㥸 + 㥹 + 㥺 + 㥻 + 㥼 + 㥽 + 㥾 + 㥿 + 㦀 + 㦁 + 㦂 + 㦃 + 㦄 + 㦅 + 㦆 + 㦇 + 㦈 + 㦉 + 㦊 + 㦋 + 㦌 + 㦍 + 㦎 + 㦏 + 㦐 + 㦑 + 㦒 + 㦓 + 㦔 + 㦕 + 㦖 + 㦗 + 㦘 + 㦙 + 㦚 + 㦛 + 㦜 + 㦝 + 㦞 + 㦟 + 㦠 + 㦡 + 㦢 + 㦣 + 㦤 + 㦥 + 㦦 + 㦧 + 㦨 + 㦩 + 㦪 + 㦫 + 㦬 + 㦭 + 㦮 + 㦯 + 㦰 + 㦱 + 㦲 + 㦳 + 㦴 + 㦵 + 㦶 + 㦷 + 㦸 + 㦹 + 㦺 + 㦻 + 㦼 + 㦽 + 㦾 + 㦿 + 㧀 + 㧁 + 㧂 + 㧃 + 㧄 + 㧅 + 㧆 + 㧇 + 㧈 + 㧉 + 㧊 + 㧋 + 㧌 + 㧍 + 㧎 + 㧏 + 㧐 + 㧑 + 㧒 + 㧓 + 㧔 + 㧕 + 㧖 + 㧗 + 㧘 + 㧙 + 㧚 + 㧛 + 㧜 + 㧝 + 㧞 + 㧟 + 㧠 + 㧡 + 㧢 + 㧣 + 㧤 + 㧥 + 㧦 + 㧧 + 㧨 + 㧩 + 㧪 + 㧫 + 㧬 + 㧭 + 㧮 + 㧯 + 㧰 + 㧱 + 㧲 + 㧳 + 㧴 + 㧵 + 㧶 + 㧷 + 㧸 + 㧹 + 㧺 + 㧻 + 㧼 + 㧽 + 㧾 + 㧿 + 㨀 + 㨁 + 㨂 + 㨃 + 㨄 + 㨅 + 㨆 + 㨇 + 㨈 + 㨉 + 㨊 + 㨋 + 㨌 + 㨍 + 㨎 + 㨏 + 㨐 + 㨑 + 㨒 + 㨓 + 㨔 + 㨕 + 㨖 + 㨗 + 㨘 + 㨙 + 㨚 + 㨛 + 㨜 + 㨝 + 㨞 + 㨟 + 㨠 + 㨡 + 㨢 + 㨣 + 㨤 + 㨥 + 㨦 + 㨧 + 㨨 + 㨩 + 㨪 + 㨫 + 㨬 + 㨭 + 㨮 + 㨯 + 㨰 + 㨱 + 㨲 + 㨳 + 㨴 + 㨵 + 㨶 + 㨷 + 㨸 + 㨹 + 㨺 + 㨻 + 㨼 + 㨽 + 㨾 + 㨿 + 㩀 + 㩁 + 㩂 + 㩃 + 㩄 + 㩅 + 㩆 + 㩇 + 㩈 + 㩉 + 㩊 + 㩋 + 㩌 + 㩍 + 㩎 + 㩏 + 㩐 + 㩑 + 㩒 + 㩓 + 㩔 + 㩕 + 㩖 + 㩗 + 㩘 + 㩙 + 㩚 + 㩛 + 㩜 + 㩝 + 㩞 + 㩟 + 㩠 + 㩡 + 㩢 + 㩣 + 㩤 + 㩥 + 㩦 + 㩧 + 㩨 + 㩩 + 㩪 + 㩫 + 㩬 + 㩭 + 㩮 + 㩯 + 㩰 + 㩱 + 㩲 + 㩳 + 㩴 + 㩵 + 㩶 + 㩷 + 㩸 + 㩹 + 㩺 + 㩻 + 㩼 + 㩽 + 㩾 + 㩿 + 㪀 + 㪁 + 㪂 + 㪃 + 㪄 + 㪅 + 㪆 + 㪇 + 㪈 + 㪉 + 㪊 + 㪋 + 㪌 + 㪍 + 㪎 + 㪏 + 㪐 + 㪑 + 㪒 + 㪓 + 㪔 + 㪕 + 㪖 + 㪗 + 㪘 + 㪙 + 㪚 + 㪛 + 㪜 + 㪝 + 㪞 + 㪟 + 㪠 + 㪡 + 㪢 + 㪣 + 㪤 + 㪥 + 㪦 + 㪧 + 㪨 + 㪩 + 㪪 + 㪫 + 㪬 + 㪭 + 㪮 + 㪯 + 㪰 + 㪱 + 㪲 + 㪳 + 㪴 + 㪵 + 㪶 + 㪷 + 㪸 + 㪹 + 㪺 + 㪻 + 㪼 + 㪽 + 㪾 + 㪿 + 㫀 + 㫁 + 㫂 + 㫃 + 㫄 + 㫅 + 㫆 + 㫇 + 㫈 + 㫉 + 㫊 + 㫋 + 㫌 + 㫍 + 㫎 + 㫏 + 㫐 + 㫑 + 㫒 + 㫓 + 㫔 + 㫕 + 㫖 + 㫗 + 㫘 + 㫙 + 㫚 + 㫛 + 㫜 + 㫝 + 㫞 + 㫟 + 㫠 + 㫡 + 㫢 + 㫣 + 㫤 + 㫥 + 㫦 + 㫧 + 㫨 + 㫩 + 㫪 + 㫫 + 㫬 + 㫭 + 㫮 + 㫯 + 㫰 + 㫱 + 㫲 + 㫳 + 㫴 + 㫵 + 㫶 + 㫷 + 㫸 + 㫹 + 㫺 + 㫻 + 㫼 + 㫽 + 㫾 + 㫿 + 㬀 + 㬁 + 㬂 + 㬃 + 㬄 + 㬅 + 㬆 + 㬇 + 㬈 + 㬉 + 㬊 + 㬋 + 㬌 + 㬍 + 㬎 + 㬏 + 㬐 + 㬑 + 㬒 + 㬓 + 㬔 + 㬕 + 㬖 + 㬗 + 㬘 + 㬙 + 㬚 + 㬛 + 㬜 + 㬝 + 㬞 + 㬟 + 㬠 + 㬡 + 㬢 + 㬣 + 㬤 + 㬥 + 㬦 + 㬧 + 㬨 + 㬩 + 㬪

調査項目	チェック欄	知事又は発注者の措置内容	点数	数
7. 法令遵守等		表-1		
		表-1 指名停止9か月以上	-20点	
		表-1 指名停止6か月以上9か月未満	-15点	
		表-1 指名停止3か月以上6か月未満	-13点	
		表-1 指名停止6週間以上3か月未満	-10点	
		表-1 文書注意	-8点	
		表-1 口頭注意	-5点	
		表-1 工事関係者事故又は公害災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(不問で処分しない。)	-3点	
		表-1で評価する事例は、当該工事の施工に当たり、工事関係者が下記の対応事例で上乗の措置があった場合に適用する。 ① 当該工事の施工に当たり、労働関係者等が下記の対応事例で上乗の措置があった場合に適用する。 ② 「当該工事関係者」とは、②を履行する者に限定する。 ③ 「工事関係者」とは、②を履行する者に限定する。 ④ 表-1の評価で複数項目に該当する場合は、減点の一番大きい項目を選定し「1」を入力のこと。(「1」の入力は一箇所のみとする。)		

**総合評価落札方式による工事**

表-2	総合評価に係る評価項目	履行結果	点数	数
【高度型】	【標準型】			
表-2 高度技術、社会性等で加減評価した技術提案が履行されなかった場合	表-2 高度技術、社会性等で加減評価した技術提案が履行されたが、履行率が80%未満		-10点	
表-2 高度技術、社会性等で加減評価した技術提案が履行されたが、履行率が90%未満	表-2 高度技術、社会性等で加減評価した技術提案が履行されたが、履行率が90%未満		-8点	
表-2 高度技術、社会性等で加減評価した技術提案が履行されたが、履行率が90%未満	表-2 高度技術、社会性等で加減評価した技術提案が履行されたが、履行率が90%未満		-5点	
表-2 高度技術、社会性等で加減評価した技術提案が履行されたが、履行率が90%未満	表-2 高度技術、社会性等で加減評価した技術提案が履行されたが、履行率が90%未満		-3点	
表-2 履行率が50%未満	表-2 履行率が50%未満		-10点	
表-2 履行率が50%以上70%未満	表-2 履行率が50%以上70%未満		-8点	
表-2 履行率が70%以上80%未満	表-2 履行率が70%以上80%未満		-5点	
表-2 履行率が80%以上100%未満	表-2 履行率が80%以上100%未満		-3点	

①総合評価落札方式(専従、標準、簡易型)により契約した工事に適用する。  
②履行率は、総合評価落札方式の価格以外の評価項目について、工事完成時の履行結果に基づき再計算した時点と当初契約時の時点の割合とする。  
③知事又は発注者の措置があった場合は「表-1 知事又は発注者の措置内容」に基づく減点も合わせて行うものとする。

**【共通】**

表-16.上表1～7までの知事又は発注者の措置はなかった。また、8～15の総合評価に係る評価項目の履行結果に基づき減点はなかった。

【知事又は発注者が表-1の1～7のいずれかを措置した場合の対応事例】(該当する事例の左の入力欄に「1」を入力する)

1. 入力前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。  
2. 承継なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。  
3. 借入金等に関する労働条件に問題があり、送検等された。  
4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。  
5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕又は公訴された。  
6. 建設業法に違反する事実が判明した。  
7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。  
8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。  
9. 監督又は検査の実施に当たり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。  
10. 下請代金運送防止法第4条に規定する下請代金の支払を期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減らした。あるいはそれに類する行為があった。  
11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。  
12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは暴力団対策法第9条に記載されている、砂利、砂、防雪シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やカッターマンの受入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。  
13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。  
14. 安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公害災害を起した。  
15. 施工体制不備、施工体系図又は工事元請下請関係者一覧表が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わず、あるいは改善に時間を要した。  
16. その他(理由)

【総合評価に係る履行結果が表-2のいずれかに該当した場合の対応事例】(17.の左の入力欄に「1」を入力する)

17. 総合評価落札方式における価格以外の評価項目について請負者の責による不履行があった。

**【検査結果の修正に係る対応事例】**

表-18.上記1～16の対応事例に該当する事実が確認されたが、完成検査成績調書作成時に知事又は発注者の処分が決定されていなかった場合。  
A. 上記1～16の対応事例に該当する事実が工事目的検引基準を超過しなかった後に判明し、請負者が表-1の知事又は発注者の措置内容の処分を受けた場合。  
B. 表-1の知事又は発注者の措置内容により完成検査成績調書作成時に減点された後に、前項Aに該当し知事又は発注者の措置内容の処分が大きくなった場合。  
C. 工事目的物の引き渡しを受けた後、発注者が工事請負契約書に規定する瑕疵の修補を請求し、又は修補に代え若しくは修補とともに調書の賠償を請求し、その結果請負者が表-1の知事又は発注者の措置内容の処分を受けた場合。

総合評価落札方式の価格以外の評価項目が請負者の責により実施されなかった場合、その履行割合に基づき減点する。

総合評価に係る対応事例に「1」を入力



## 5 中立かつ公正な審査・評価の確保（学識経験者）

### 5-1 学識経験者の意見聴取

#### (1) 学識経験者の意見聴取

総合評価落札方式の適用により技術提案の審査・評価を行うに当たっては、発注者の恣意を排除し、中立かつ公正な審査・評価を行う。

〔参考：地方公共団体における学識経験者の意見聴取〕

地方公共団体において総合評価方式を行おうとするときは、2人以上の学識経験者の意見を聴くこととされている。この場合、発注関係事務の量が増えることが考えられるが、以下のような運用面での工夫を行うことが可能である旨が基本方針第2の4に定められている。

なお、学識経験者には、意見を聴く発注者とは別の公共調達の発注者の立場での実務経験を有している者等も含まれる。

- ① 各発注者ごとに、又は各発注者が連携し都道府県等の単位で学識経験者の意見を聴く場を設ける。
- ② 既存の審査の場に学識経験者を加える。
- ③ 個別に学識経験者の意見を聴く。

#### (2) 学識経験を有する者の選定

学識経験者は、当該工事を担当する部局とは別の部局の者とし、相応の経験と技術力を有している者を充てるものとする。

##### 1) (簡易型・標準型（施工計画型）選定例)

発注部局別	土木部		農林水産部・企業局・総務部・環境生活部	
	本庁	事務所	本庁	事務所
学識経験者	農林水産部各主務課 課長 部技術副参事 専門監 技術補佐(総括担当) 出納局契約課 技術補佐(技術担当) 出納局検査課 上席専門検査員 企業局水道経営管理室 技術副参事(総括担当) 技術補佐 総務部管財課 技術補佐(総括担当) 技術補佐 教育庁施設整備課 技術補佐	地方振興事務所 副所長(技術担当) 農業農村整備部長 林業振興部長 農林振興部長 水産漁港部長 南三陸支所長 専門監 次長(総括担当) 次長(調整・指導担当) 王城寺原補償工事 事務所長 企業局 所長 技術次長(総括担当)	土木部各主務課 課長 部技術副参事 専門監 技術補佐(総括担当)	土木事務所 所長 副所長(技術担当) 河川部長 道路部長 次長(総括担当) 技術次長(検査指導担当) 技術次長(企画担当)

\*組織改編等により部局名称等が変更となった場合は、当該職の後継職の者を当てる。

## 2) (標準型 (技術提案型) 選定例)

学 識 経 験 者	本 庁	事 務 所
	主に国の機関等公共機関の有識者	

### (3) 意見聴取方法

第2章実施手順の「総合評価方式（簡易型・標準型）実施手順」フロー図による各段階の「学識経験者への意見聴取」においては、直接訪問による意見聴取を基本とし、場合によっては郵送により、意見聴取を実施する。（OutlookExpress等のメールソフトによる電子メールは、情報の漏えい防止の観点から使用しないものとする。）

### (4) 個別工事における意見聴取

学識経験者からの意見聴取は各発注機関において行うものとし、別紙様式により実施する。

#### ①適用工事についての意見聴取の場合

- イ（様式第1号）建設工事総合評価落札方式の適用業務について
- ロ（様式第5号）建設工事総合評価落札方式に関する意見調書一覧表
- ハ（様式第3号）建設工事総合評価落札方式に関する意見調書（1）
- ニ（様式－簡1）価格以外の評価項目及び評価基準

#### ②建設工事総合評価落札方式による落札者を決定する場合

（落札者決定基準を定めようとするときの意見聴取で、落札者を決定しようとするときに改めて意見を聴く必要があるとされた場合）

- ホ（様式第2号）建設工事総合評価落札方式による落札者決定について
- へ（様式第5号）建設工事総合評価落札方式に関する意見調書一覧表
- ト（様式第4号）建設工事総合評価落札方式に関する意見調書（2）
- チ 建設工事総合評価結果表
- リ 全ての入札者の総合評価技術資料及び落札候補者の記載内容を証明する資料

## 6 技術提案に関する秘密の保持

### 6-1 技術提案に関する秘密の保持について

民間の技術提案自体が提案者の知的財産であることに鑑み、提案内容に関する事項が他者に知られることのないようにすること、提案者の了承を得ることなく提案の一部のみを採用することの無いよう等、その取り扱いに十分注意すること。

## 7 入札及び契約の過程に関する苦情処理

### 7-1 入札及び契約の過程に関する苦情処理について

品確法基本方針第2の4においては、「入札及び契約の過程に関する苦情については、各発注者がその苦情を受け付け、適切に説明を行うとともに、さらに不服のある場合には、第三者機関の活用等により、中立かつ公正に処理する仕組みを整備するものとする」とされている。

総合評価の審査結果については、入札者の苦情等に適切に対応できるように評価項目ごとに評価の結果及びその理由を記録しておく。

#### (1) 第三者機関

平成13年10月に条例で設置された「公共工事等入札・契約適正化委員会」が対応する。

条例では、同委員会の『苦情調査部会』が調査審議し、部会の議決をもって委員会の議決とすることができる。

苦情調査部会の調査審議事項：公共工事及び特定調達の入札及び契約の過程に係る苦情に関すること。

#### (2) 苦情処理手続き

「政府調達に係る苦情の処理手続き要領(WTO 案件)」、「公共工事等に係る苦情対応要領(非WTO 案件)」が既に定められている。

「公共工事等に係る苦情対応要領(非WTO 案件)」では、対象となる苦情を“予定価格(税込)が250万円以上である公共工事等の入札・契約の過程に係るもの”と規定しており、総合評価落札方式における苦情にも対応できる。

※参考：苦情対応フローを添付



## 8 評価結果等の公表

### 8-1 評価結果等の公表について

#### (1) 入札結果の公表について

一般競争入札（ダイレクト型）の場合	総合評価落札方式(簡易型・標準型)の場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札参加条件設定調書</li> <li>・ 積算内訳書</li> <li>・ 入札調書</li> <li>・ 競争入札委員会復命書 (調査基準価格を下回る入札があった場合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①総合評価落札方式(簡易型・標準型)を行う理由</li> <li>②入札参加条件設定調書</li> <li>③積算内訳書</li> <li>④入札調書</li> <li>⑤価格点, 価格以外の評価点, 総合評価点</li> <li>⑥競争入札委員会復命書 (調査基準価格を下回る入札があった場合)</li> <li>⑦落札者とした理由</li> <li>⑧落札者の社会的責任等 (CSR) 実績説明書 (実績として評価したもののみ)</li> </ul>

#### (2) 総合評価落札方式(簡易型・標準型) による公表資料

公表内容	公表資料
①総合評価落札方式(簡易型・標準型)を行う理由	総合評価結果一覧表
⑤価格点, 価格以外の評価点, 総合評価点	総合評価結果一覧表
⑦落札者とした理由	総合評価結果一覧表
⑧落札者の企業の社会的責任等の内容	落札者の社会的責任等 (CSR) 実績説明書 (実績として評価したもののみ)

公表資料－総合評価結果一覧表

総合評価結果一覧表（一般土木工用）

簡易型

課名又は公所名	〇〇事務所					
工事番号	〇〇簡易(施工計画)-001号					
工事名	〇〇工事					
予定価格	70,000,000円					
評価分類	評価項目	AAA建設株式会社04-111111	DDD建設株式会社04-444444	CCO建設株式会社04-333333	BBB建設株式会社04-222222	EEE建設株式会社04-555555
	満点	16	4	9	9	-
	技術力(企業)	20	6.5	8.5	8.5	-
	技術力(技術者)	22	12	20	20	-
	労働福祉	14	7	9	13	-
	地域・貢献	10	1	2	4	-
	施工計画等	0	0	0	0	0
	不誠実な行為の有無	82	30.5	48.5	54.5	-
	合計	3.00	0.75	1.69	1.69	-
	技術力(企業)	5.00	1.63	2.13	2.13	-
	技術力(技術者)	2.00	1.09	1.82	1.82	-
	労働福祉	5.00	2.50	3.21	4.64	-
	地域・貢献	5.00	0.50	1.00	2.00	-
	施工計画等	20.00	6.47	9.85	12.28	0.00
	不誠実な行為の有無	<b>価格以外の評価点 (A)</b>				
価格に関する評価	入札価格(円)	68,000,000	67,000,000	67,500,000	67,800,000	-
	応札価格評価点 (B)	41.21	49.49	45.62	43.05	-

■総合評価を適用する理由  
000000.....

<p><b>総合評価</b></p> <p>本総合評価落札方式では、入札者の申告を示しに算定した総合評価点の最上位者より裏付け資料の提出を受け、その内容が確認されれば次点以下の確認審査を省略し落札者を決定しています。そのため、落札者を除く入札者の総合評価点は確定値ではありません。</p>	総合評価点 (A+B)	60.71	55.96	55.47	55.33	-
	総合評価点ランク	1	2	3	4	-
	落札者	落札者				
	理由	(総合評価算定基準に基づき最高総合評価点獲得者)				

# 公表資料－落札者の社会的責任等（CSR）実績説明書

（参考資料－3）

## 企業の社会的責任（CSR）の実績説明書

工事名：〇〇改良工事  
 会社名：AAA建設株式会社

地域貢献の名称		〇〇〇クリーンキャンペーン
地域貢献の日時(年月日時間帯)		自 平成 〇 年 〇 月 〇 日 〇 時 〇 分 から 至 平成 〇 年 〇 月 〇 日 〇 時 〇 分 まで
地域貢献の場所		〇〇川〇〇市〇〇
地域貢献 を行った団 体名、代表 者	団体名	〇〇〇NPO
	代表者名	〇〇 〇〇
	団体・代表者連絡先	〇〇市〇〇 〇丁目〇-〇 TEL〇〇〇-〇〇〇
地域貢献の具体的な内容		〇..... .....
実績資料の種別※1 (落札候補者となった時点で提出)		覚書、新聞記事

※1 活動に関する覚書、協定書又は活動要領のほか、活動の実施報告書、証明書、感謝状、御礼状又は新聞記事もしくは活動状況写真等

※①総合評価落札方式(簡易型)を行う理由について

「地方自治法施行令」及び「公共工事の品質確保の促進に関する法律」等の主旨に沿った理由である必要があります。

【例】 本工事の品質を確保するためには、主要部分を占める〇〇〇工の品質が重要であり、施工業者の技術的能力に負うところが大きいことから、応札者の技術的能力を考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約を締結する必要がある。

#### 地方自治法施行令 第六十七条の十の二

普通地方公共団体の長は、一般競争入札により当該普通地方公共団体の支出の原因となる契約を締結しようとする場合において、当該契約がその性質又は目的から地方自治法第二百三十四条第三項本文(最低(最高)価格自動落札)又は前条の規定(調査基準価格制度・最低制限価格制度)により難しいものであるときは、これらの規定にかかわらず、予定価格の制限の範囲内の価格をもつて申込みをした者のうち、価格その他の条件が当該普通地方公共団体にとつて最も有利なものをもつて申込みをした者を落札者とすることができる。

(総合評価一般競争入札)

#### 公共工事の品質確保の促進に関する法律

(基本理念)

第3条 公共工事の品質は、公共工事が現在及び将来における国民生活及び経済活動の基盤となる社会資本を整備するものとして社会経済上重要な意義を有することにかんがみ、国及び地方公共団体並びに公共工事の発注者及び受注者がそれぞれの役割を果たすことにより、現在及び将来の国民のために確保されなければならない。

2 公共工事の品質は、建設工事が、目的物が使用されて初めてその品質を確認できること、その品質が受注者の技術的能力に負うところが大きいこと、個別の工事により条件が異なること等の特性を有することにかんがみ、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることにより、確保されなければならない。

—中略—

(競争参加者の技術的能力の審査)

第11条 発注者は、その発注に係る公共工事の契約につき競争に付するときは、競争に参加しようとする者について、工事の経験、施工状況の評価、当該公共工事に配置が予定される技術者の経験その他競争に参加しようとする者の技術的能力に関する事項を審査しなければならない。

(競争参加者の技術提案)

第12条 発注者は、競争に参加する者(競争に参加しようとする者を含む。以下同じ。)に対し、技術提案を求めるよう努めなければならない。ただし、発注者が、当該公共工事の内容に照らし、その必要がないと認めるときは、この限りではない。

### (3) 情報管理について

総合評価落札方式の実施にあたり、新たに情報管理する必要のある入札・契約関連情報として考えられるものは以下のとおり。

全ての情報とも、落札決定前においては「入札・契約情報管理マニュアル」のAランク情報、落札決定後においては同マニュアルのBランク情報として扱うこととする。

- 1) 学識経験者の氏名等
- 2) 学識経験者の意見
  - イ 総合評価落札方式を行おうとするときの意見
  - ロ 落札者決定基準を定めようとするときの意見
  - ハ 落札者を決定しようとするときの意見

【備考】

入札・契約情報管理マニュアルは、庁内リンク集の入札・契約関連規則等( URL : <http://zao.intra.pref.miyagi.jp/keiyaku/>)を参照

Aランク情報： 非開示情報で、特定の者以外の取扱いを禁止

Bランク情報： 開示または一部開示情報で、外部提供する場合は所定の内部手続きを必要とする。

参考資料

(建設労働者；常用、有期雇用型)

労働条件通知書

年 月 日	
( 労働者名 ) 殿 事業主の氏名又は名称 事業場名称・所在地 [建設業許可番号 ] 使用者職氏名 雇用管理責任者職氏名	
あなたを次の条件で雇い入れます。	
契約期間	期間の定めなし、期間の定めあり ( 年 月 日～ 年 月 日)
就業の場所	
従事すべき業務の内容	
始業、終業の時刻、休憩時間、就業時転換 (1)～(3)のうち該当するもの一つに○を付けること。)、所定時間外労働の有無に関する事項	1 始業・終業の時刻等 (1) 始業 ( 時 分) 終業 ( 時 分) 【以下のような制度が労働者に適用される場合】 (2) 変形労働時間制等；( ) 単位の変形労働時間制・交替制として、次の勤務時間の組み合わせによる。 [ 始業 ( 時 分) 終業 ( 時 分) (適用日 ) [ 始業 ( 時 分) 終業 ( 時 分) (適用日 ) [ 始業 ( 時 分) 終業 ( 時 分) (適用日 ) (3) フレックスタイム制；始業及び終業の時刻は労働者の決定に委ねる。 (ただし、フレックスタイム (始業) 時 分から 時 分、(終業) 時 分から 時 分、コアタイム 時 分から 時 分) ○詳細は、就業規則第 条～第 条、第 条～第 条 2 休憩時間 ( 分) 3 所定時間外労働の有無 ( 有 , 無 )
休日	・ 定例日；毎週 曜日、国民の祝日、その他 ( ) ・ 非定例日；週・月当たり 日、その他 ( ) ・ 1年単位の変形労働時間制の場合一年間 日 ○詳細は、就業規則第 条～第 条、第 条～第 条
休暇	1 年次有給休暇 6か月継続勤務した場合→ 日 継続勤務6か月以内の年次有給休暇 (有・無) → か月経過で 日 2 その他の休暇 有給 ( ) 無給 ( ) ○詳細は、就業規則第 条～第 条、第 条～第 条

(次頁に続く)



## 【記載要領】

1. 労働条件通知書は、当該労働者の労働条件の決定について権限をもつ者が作成し、本人に交付すること。
2. 各欄において複数項目の一を選択する場合には、該当項目に○をつけること。
3. **破線内及び二重線内の事項以外の事項は、書面の交付により明示することが労働基準法により義務付けられている事項であること。また、退職金に関する事項、臨時に支払われる賃金等に関する事項、労働者に負担させるべきものに関する事項、安全及び衛生に関する事項、職業訓練に関する事項、災害補償及び業務外の傷病扶助に関する事項、表彰及び制裁に関する事項、休職に関する事項については、当該事項を制度として設けている場合には口頭又は書面により明示する義務があること。**
4. 労働契約期間については、労働基準法に定める範囲内とすること。
5. 「就業の場所」及び「従事すべき業務の内容」の欄については、具体的かつ詳細に記載すること。なお、これらの欄については雇入れ直後のものを記載することで足りるが、将来の就業場所や従事させる業務を併せ網羅的に明示することは差し支えないこと。
6. 「始業・終業の時刻、休憩時間、就業時転換、所定時間外労働の有無に関する事項」の欄については、当該労働者に適用される具体的な条件を明示すること。また、変形労働時間制、フレックスタイム制等の適用がある場合には、次に留意して記載すること。
  - ・変形労働時間制：適用する変形労働時間制の種類（1年単位、1か月単位等）を記載すること。その際、交替制でない場合、「・交替制」を＝で抹消しておくこと。
  - ・フレックスタイム制：コアタイム又はフレキシブルタイムがある場合はその時間帯の開始及び終了の時刻を記載すること。コアタイム及びフレキシブルタイムがない場合、かっこ書きを＝で抹消しておくこと。
  - ・交替制：シフト毎の始業・終業の時刻を記載すること。また、変形労働時間制でない場合、「（ ）単位の変形労働時間制・」を＝で抹消しておくこと。
7. 「休日」の欄については、所定休日について、曜日又は日を特定して記載すること。
8. 「休暇」の欄については、年次有給休暇は6か月間勤続勤務し、その間の出勤率が8割以上であるときに与えるものであり、法定基準を上回る日数を与える場合には、その付与日数を記載すること。

また、その他の休暇については、制度がある場合に有給、無給別に休暇の種類、日数（期間等）を記載すること。
9. 前記6、7及び8については、明示すべき事項の内容が膨大なものとなる場合においては、所定時間外労働の有無以外の事項については、勤務の種類ごとの始業及び終業の時刻、休日等に関する考え方を示した上、当該労働者に適用される就業規則上の関係条項名を網羅的に示すことで足りるものであること。
10. 「賃金」の欄については、基本給等について具体的な額を明記すること。ただし、就業規則に規定されている賃金等級等により賃金額を確定し得る場合、当該等級等を明確に示すことで足りるものであること。
  - ・法定超えとなる所定時間外労働については2割5分、法定休日労働については3割5分、深夜労働については2割5分、法定超えとなる所定時間外労働が深夜労働となる場合については5割、法定休日労働が深夜労働となる場合については6割を超える割増率とすること。
  - ・破線内の事項は、制度として設けている場合に記入することが望ましいこと。
11. 「退職に関する事項」の欄については、退職の事由及び手続、解雇の事由等を具体的に記載すること。この場合、明示すべき事項の内容が膨大なものとなる場合においては、当該労働者に適用される就業規則上の関係条項名を網羅的に示すことで足りるものであること。

なお、定年制を設ける場合は、60歳を下回ってはならないこと。
12. 「その他」の欄については、当該労働者についての社会保険、中小企業退職金共済制度等の加入状況及び雇用保険の適用の有無のほか、労働者に負担させるべきものに関する事項、安全及び衛生に関する事項、職業訓練に関する事項、災害補償及び業務外の傷病扶助に関する事項、表彰及び制裁に関する事項、休職に関する事項等を制度として設けている場合に記入することが望ましいこと。
13. **各事項について、就業規則を示し当該労働者に適用する部分を明確にした上で就業規則を交付する方法によることとした場合、具体的に記入することを要しないこと。**

\* この通知書はモデル様式であり、労働条件の定め方によっては、この様式どおりとする必要はないこと。

(建設労働者；日雇型)

労働条件通知書

年 月 日	
（労働者名） 殿	
事業主の氏名又は名称 事業場名称・所在地 [建設業許可番号]	
使用者職氏名 雇用管理責任者職氏名	
あなたを次の条件で雇い入れます。	
就労日	年 月 日
就業の場所	
従事すべき業務の内容	
始業、終業の時刻、休憩時間、所定時間外労働の有無に関する事項	・始業（時 分）終業（時 分） 休憩時間（ ）分 ・所定時間外労働の有無（有 ， 無 ）
賃 金	1 基本賃金 イ 時間給（ ）円、ロ 日給（ ）円 ハ 出来高給（基本単価 ）円、保障給（ ）円 ニ その他（ ）円 2 諸手当の額及び計算方法 イ（ ）手当（ ）円 / 計算方法：（ ） ロ（ ）手当（ ）円 / 計算方法：（ ） 3 所定時間外又は深夜労働に対して支払われる割増賃金率 イ 所定時間外 法定超（ ）%、所定超（ ）%、 ロ 深夜（ ）% 4 賃金支払日（ ） - （就業当日・その他（ ）） （ ） - （就業当日・その他（ ）） 5 労使協定に基づく賃金支払時の控除（無・有（ ））
その他	・社会保険の加入状況（健康保険 その他（ ）） ・雇用保険の適用（有 ， 無） ・中小企業退職金共済制度（建設退職金共済制度を含む。） （加入している ， 加入していない） ・食費（1日（ ）円） ・寝具貸与（有（ ）円）・無料 ・ 無（ ） ・その他（ ）

- ※ 以上のほかは、当社就業規則による。
- ※ ここに明示された労働条件が、入職後事実と相違することが判明した場合には、あなたが本契約を解除し、14日以内に帰郷するときは、必要な旅費を支給する。
- ※ 本通知書の交付は、労働基準法第15条に基づく労働条件の明示及び建設労働者の雇用の改善等に関する法律第7条に基づく雇用に関する文書の交付を兼ねるものである。

## 【記載要領】

1. 労働条件通知書は、当該労働者の労働条件の決定について権限をもつ者が作成し、本人に交付すること。
2. 各欄において複数項目の一を選択する場合には、該当項目に○をつけること。
3. **破線内及び二重線内の事項以外の事項は、書面の交付により明示することが労働基準法により義務付けられている事項であること。また、労働者に負担させるべきものに関する事項、安全及び衛生に関する事項、災害補償及び業務外の傷病扶助に関する事項、表彰及び制裁に関する事項等については、当該事項を制度として設けている場合には口頭又は書面により明示する義務があること。**
4. 「就業の場所」及び「従事すべき業務の内容」の欄については、具体的かつ詳細に記載すること。
5. 「賃金」の欄については、基本給等について具体的な金額を明記すること。
  - ・ 法定超えとなる所定時間外労働については2割5分、深夜労働については2割5分、法定超えとなる所定時間外労働が深夜労働となる場合については5割を超える割増率とすること。
  - ・ 破線内の事項については、制度として設けている場合に記入することが望ましいこと。
6. 「その他」の欄については、当該労働者についての社会保険、中小企業退職金共済制度等の加入状況及び雇用保険の適用の有無のほか、労働者に負担させるべきものに関する事項、安全及び衛生に関する事項、職業訓練に関する事項、災害補償及び業務外の傷病扶助に関する事項、表彰及び制裁に関する事項、休職に関する事項等を制度として設けている場合に記入することが望ましいこと。
7. **各事項について、就業規則を示し当該労働者に適用する部分を明確にした上で就業規則を交付する方法によることとした場合、具体的に記入することを要しないこと。**

\* この通知書はモデル様式であり、労働条件の定め方によっては、この様式どおりとする必要はないこと。

特殊法人等の範囲（平成20年3月31日現在）

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令  
（平成十三年二月十五日政令第三十四号）

最終改正：平成二〇年三月三十一日政令第一二七号

内閣は、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成十二年法律第百二十七号）第二条第一項、第四条、第五条、第七条及び第八条の規定に基づき、この政令を制定する。

（特殊法人等の範囲）

第一条 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（以下「法」という。）  
第二条第一項の政令で定める法人は、次のとおりとする。

一 関西国際空港株式会社、首都高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、成田国際空港株式会社、西日本高速道路株式会社、日本環境安全事業株式会社、阪神高速道路株式会社、東日本高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社及び日本中央競馬会

二 削除

三 独立行政法人宇宙航空研究開発機構、独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構、独立行政法人科学技術振興機構、独立行政法人空港周辺整備機構、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構、独立行政法人国際協力機構、独立行政法人国立科学博物館、独立行政法人国立高等専門学校機構、独立行政法人国立女性教育会館、独立行政法人国立青少年教育振興機構、独立行政法人国立美術館、独立行政法人国立文化財機構、独立行政法人雇用・能力開発機構、独立行政法人自動車事故対策機構、独立行政法人情報通信研究機構、独立行政法人中小企業基盤整備機構、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、独立行政法人都市再生機構、独立行政法人日本学生支援機構、独立行政法人日本芸術文化振興会、独立行政法人日本原子力研究開発機構、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構、独立行政法人日本スポーツ振興センター、独立行政法人日本万国博覧会記念機構、独立行政法人水資源機構及び独立行政法人労働者健康福祉機構